資料19

秋田公立美術大学（仮称）設置申請準備に関する

コンサルティング業務

「学生確保の見通しに関する調査（高校生の進学需要調査）」報告書

平成２４年１月

財団法人日本開発構想研究所

目次

◆ 調査の概要（ｐ１）

◆ 調査対象高校一覧（ｐ２～）

◆ アンケート調査票（ｐ５～）

◆ アンケート調査結果（ｐ９～）

- 道県ごとの回答者数（p10）
- 問１　性別（p11）
- 問２　高校卒業後の進路（p12）
- 問３　進学したい分野（p13～15）
- 問４　進学先を決定する際に重視すること（複数回答）（p16～17）
- 問５（仮称）秋田公立美術大学への進学希望（p18）
- 問６　各専攻に対する興味（各専攻ごとに回答）（p19～22）
- 問７　各専攻に対する興味（第１希望・第２希望を選択）（p24～28）
- 問８（仮称）秋田公立美術大学についての自由回答（p29～42）

■ 調査の概要

⑴ 調査目的

秋田市では、秋田公立美術工芸短期大学を４年制大学に移行し、平成２５年４月の秋田公立美術大学（仮称）の開学に向けて、平成２４年３月末に文部科学省への設置申請を行うこととしている。その設置申請に先立って行う文部科学省および総務省との事前協議において、新大学としての学生確保の見通しが問われるものである。よって、秋田県を中心とする東北地方および北海道の高校生を対象にアンケート調査を実施し、志願者数および入学者数の見通しについて把握することを目的とする。

⑵ 調査対象

北海道及び東北地方（青森県、秋田県、岩手県、宮城県、山形県、福島県）の高等学校に通う高校生２年生の男女を対象とした。

⑶ 実施時期

平成 23 年 11 月～12 月

⑷ 回収状況

118 校に配付し、111 校から回収した。回収率 94.1%。有効回答数 8,294。

■ 調査対象高校一覧

県No.	所在地	高校No.	公私の別	共学の別	高校名	回収数
1	北海道	1	市		北海道札幌旭丘高等学校	76
		2			北海道札幌白石高等学校	76
		3	市		北海道札幌平岸高等学校	67
		4			北海道函館中部高等学校	76
		5	市		市立函館高等学校	77
		6			北海道旭川西高等学校	73
		7			北海道帯広三条高等学校	76
		8			北海道苫小牧南高等学校	78
		9			北海道名寄高等学校	74
2	青森県	10			青森県立青森南高等学校	62
		11			青森県立青森北高等学校	78
		12			青森県立青森戸山高等学校	226
		13			青森県立青森東高等学校	78
		14			青森県立青森西高等学校	79
		15			青森県立青森商業高等学校	78
		16			青森県立弘前工業高等学校	68
		17			青森県立弘前中央高等学校	70
		18	私		弘前学院聖愛高等学校	88
		19			青森県立弘前実業高等学校	77
		20			青森県立弘前南高等学校	82
		21			青森県立八戸東高等学校	58
		22			青森県立八戸西高等学校	85
		23			青森県立黒石高等学校	79
		24			青森県立五所川原高等学校	84
		25			青森県立三本木高等学校	85
		26			青森県立三沢高等学校	79
		27			青森県立木造高等学校	80
3	秋田県	28			秋田県立秋田工業高等学校	79
		29			秋田県立秋田高等学校	61
		30			秋田県立新屋高等学校	70
		31	私		明桜高等学校	76
		32			秋田県立金足農業高等学校	78
		33	私		国学館高等学校	63
		34	私	女	秋田和洋女子高等学校	61
		35			秋田県立秋田北高等学校	74
		36			秋田県立秋田明徳館高等学校	58
		37	私	女	聖霊女子短期大学付属高等学校	68
		38			秋田県立秋田中央高等学校	75
		39			秋田県立秋田南高等学校	74

県No.	所在地	高校No.	公私の別	共学の別	高校名	回収数
		40	市		秋田市立秋田商業高等学校	76
		41	市		秋田市立御所野学院高等学校	70
		42			秋田県立能代工業高等学校	89
		43			秋田県立能代西高等学校	94
		44	市		能代市立能代商業高等学校	80
		45		女	秋田県立能代北高等学校	94
		46			秋田県立能代高等学校	
		47			秋田県立二ツ井高等学校	68
		48			秋田県立横手高等学校	89
		49			秋田県立横手城南高等学校	112
		50			秋田県立横手清陵学院高等学校	90
		51			秋田県立増田高等学校	81
		52			秋田県立平成高等学校	79
		53			秋田県立雄物川高等学校	42
		54		女	秋田県立大館桂高等学校	73
		55			秋田県立大館国際情報学院高等学校	77
		56			秋田県立大館工業高等学校	87
		57			秋田県立大館高等学校	76
		58			秋田県立大館鳳鳴高等学校	73
		59			秋田県立男鹿工業高等学校	76
		60			秋田県立男鹿海洋高等学校	64
		61			秋田県立湯沢高等学校	67
		62			秋田県立湯沢翔北高等学校	69
		63			秋田県立雄勝高等学校	66
		64			秋田県立十和田高等学校	69
		65			秋田県立花輪高等学校	78
		66			秋田県立本荘高等学校	78
		67			秋田県立由利工業高等学校	67
		68			秋田県立由利高等学校	74
		69			秋田県立矢島高等学校	75
		70			秋田県立西目高等学校	77
		71			秋田県立秋田西高等学校	74
		72	私		秋田修英高等学校	18
		73			秋田県立大曲高等学校	
		74			秋田県立大曲工業高等学校	65
		75			秋田県立大曲農業高等学校	80
		76			秋田県立西仙北高等学校	56
		77			秋田県立秋田北鷹高等学校	73
		78			秋田県立仁賀保高等学校	70
		79		女	秋田県立角館南高等学校	86

県No.	所在地	高校No.	公私の別	共学の別	高校名	回収数
		80			秋田県立角館高等学校	73
		81			秋田県立六郷高等学校	
		82			秋田県立小坂高等学校	68
		83			秋田県立五城目高等学校	37
		84			秋田県立羽後高等学校	68
4	岩手県	85			盛岡市立高等学校	55
		86		女	岩手県立盛岡第二高等学校	76
		87			岩手県立盛岡第三高等学校	
		88			岩手県立盛岡第四高等学校	74
		89			岩手県立盛岡南高等学校	104
		90			岩手県立宮古商業高等学校	71
		91			岩手県立宮古高等学校	77
		92			岩手県立大船渡高等学校	89
		93			岩手県立水沢高等学校	74
		94			岩手県立北上翔南高等学校	
		95			岩手県立黒沢尻北高等学校	77
		96			岩手県立一関第一高等学校	71
		97			岩手県立釜石高等学校	73
		98			岩手県立不来方高等学校	68
		99			岩手県立金ヶ崎高等学校	85
5	宮城県	100			宮城県宮城野高等学校	62
		101	私	男	東北学院高等学校	123
		102			宮城県仙台南高等学校	
		103			宮城県泉松陵高等学校	78
		104			宮城県石巻高等学校	78
		105			宮城県佐沼高等学校	75
		106			宮城県利府高等学校	72
6	山形県	107			山形県立山形北高等学校	73
		108			山形県立米沢東高等学校	73
		109		女	山形県立鶴岡北高等学校	21
		110			山形県立鶴岡中央高等学校	
		111			山形県立酒田東高等学校	81
		112			山形県立新庄南高等学校	79
		113			山形県立寒河江高等学校	80
		114			山形県立東根工業高等学校	48
		115			山形県立南陽高等学校	76
7	福島県	116			福島県立あさか開成高等学校	
		117			福島県立磐城桜が丘高等学校	83
		118			福島県立須賀川桐陽高等学校	74
					合計	8,294

アンケート調査票

（仮称）秋田公立美術大学美術学部美術学科に関するアンケート調査票

秋田市では、地域の伝統・文化をいかし、秋田から世界へ発信するグローバルな人材を育成すること等を目的に、秋田公立美術工芸短期大学を改組し、新たに（仮称）秋田公立美術大学を設置する計画を進めております。このアンケート調査はその一環として、高校生の皆さんの高校卒業後の進路等についてお聞きし、新大学設置の基礎資料とするものです。皆さんのご協力をお願い致します。

なお、このアンケートの結果はコンピュータにより処理され、統計資料としてのみ用います。個別の調査票を外部の人に見せたりすることはありません。

回答は設問の順に、該当する番号等を回答欄に直接記入してください。

■設置予定学部：美術学部美術学科　入学定員 100～120 人（予定）
■キャンパスの所在地(予定)：〒010-1632　秋田市新屋大川町 12-3（現秋田公立美術工芸短期大学）
■設置予定時期：平成 25 年 4 月

※上記の構想は現在検討中であり、決まったものではありません。

問１　あなたの性別についておたずねします。　　**【回答欄】**

1　男性
2　女性

□

問２　あなたの進路についておたずねします。

あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を**１つだけ**選んでください。

1　大学進学　　3　専門学校進学　　5　その他
2　短期大学進学　　4　就　職　　（具体的に　　）

□

問３　問２で「1 大学進学」「2 短期大学進学」「3 専門学校進学」のいずれかを選択した方にお尋ねします。それ以外の方は問８にお進み下さい。

あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から**第２希望まで**選んでください。

1　文学・外国語関係（史学・哲学含む）
2　心理学関係
3　法学・政治学関係
4　教育学・保育学関係
5　商学・経済学・経営学関係
6　社会学・福祉学関係
7　芸術学関係
8　食物学・栄養学関係
9　家政学関係（被服・住居）
10　コンピュータ・情報学関係
11　理学関係
12　工学関係
13　農学関係
14　医学・歯学・薬学関係
15　看護学関係
16　医療技術学関係（理学療法、作業療法等）
17　体育学・スポーツ関係
18　その他（具体的に　　）

第１希望 □

第２希望 □

【次頁へ続く】

問４　あなたが進学先を決定する際に重視することはどれですか。次の中から**３つまで**選んでください。

1　学部・学科の専攻分野
2　学校の所在地
3　資格の取得
4　就職実績
5　設置形態（国・公・私立）
6　校舎・施設の充実度
7　学費（入学金・授業料）
8　学校の伝統・知名度
9　教員の充実度
10　入試難易度・入試科目
11　担任や進路指導教員の意見
12　家族（親や兄弟）の意見
13　在学生や卒業生等の意見
14　特色ある教育研究
15　クラブ活動・学生生活の充実度
16　その他（具体的に　　）

問５　（仮称）秋田公立美術大学美術学部美術学科の概要について（別紙）をご覧ください。あなたは本大学に進学したいと思いますか。次の中から**１つだけ**選んでください。

1　進学を希望する
2　一応進学を考える
3　受験先の候補の一つとして考える
4　全く進学を希望しない
5　わからない
6　その他（具体的に　　）

問６　美術学部美術学科は、以下の５つの専攻で構成する計画です。各専攻の概要は別紙をご覧ください。あなたは下記の各専攻に興味を持ちましたか。下記の選択肢１～５より**専攻ごとに１つだけ**選んでください。

（1）アート&ルーツ専攻について　（1）
（2）ビジュアルアーツ専攻について　（2）
（3）ものづくりデザイン専攻について　（3）
（4）コミュニケーションデザイン専攻について　（4）
（5）地域文化計画専攻について　（5）

1　大変興味を感じた
2　興味を感じた
3　少し興味を感じた
4　あまり興味を感じなかった
5　わからない

問７　美術学部美術学科の５つの専攻のうち、興味を感じたものを次の中から**第２希望まで**選んでください。

1　アート&ルーツ専攻
2　ビジュアルアーツ専攻
3　ものづくりデザイン専攻
4　コミュニケーションデザイン専攻
5　地域文化計画専攻

第１希望
第２希望

問８　（仮称）秋田公立美術大学について、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。

＊＊＊　これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。　＊＊＊

アンケート調査結果

■ 道県ごとの回答者数

道県ごとの回答者数は多いほうから順に

① 秋田県　47.2%（3,915 件）

② 青森県　18.5%（1,536 件）

③ 岩手県　12.0%（994 件）

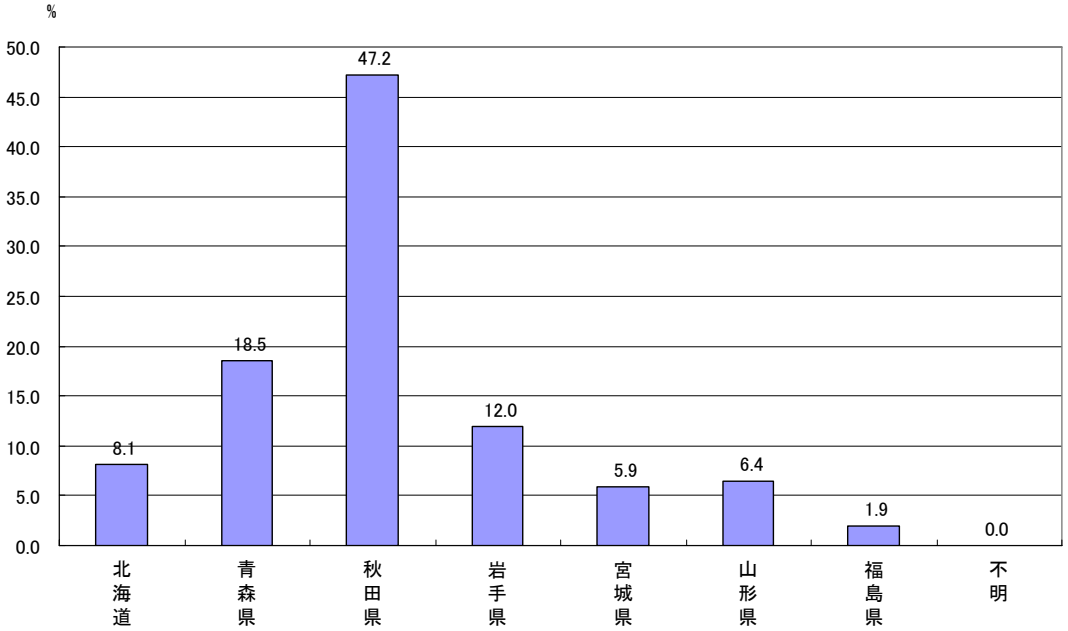
④ 北海道　 8.1%（673 件）

⑤ 山形県　 6.4%（531 件）

⑥ 宮城県　 5.9%（488 件）

⑦ 福島県　 1.9%（157 件）となっている。

【道県ごとの回答者数（全体集計）】



（単位　　上段：人　下段：%）

	合計	北海道	青森県	秋田県	岩手県	宮城県	山形県	福島県	不明
全体	8294	673	1536	3915	994	488	531	157	0
	100.0	8.1	18.5	47.2	12.0	5.9	6.4	1.9	0.0
男性	3586	291	636	1752	399	280	172	56	0
	100.0	8.1	17.7	48.9	11.1	7.8	4.8	1.6	0.0
女性	4708	382	900	2163	595	208	359	101	0
	100.0	8.1	19.1	45.9	12.6	4.4	7.6	2.1	0.0

■　問１　性別

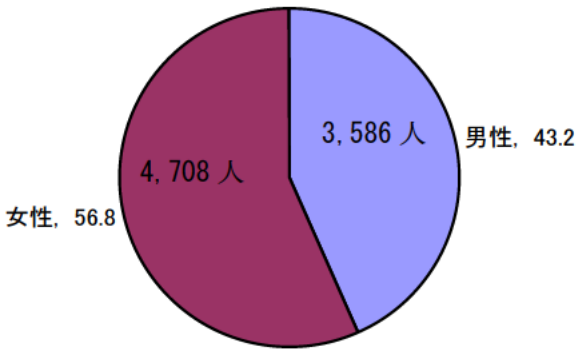
問１　あなたの性別についておたずねします。

回答者（8,294 人）の性別は

・男性　　43.2%（3,586 人）

・女性　　56.8%（4,708 人）となっている。

【性別】



■　問２　高校卒業後の進路

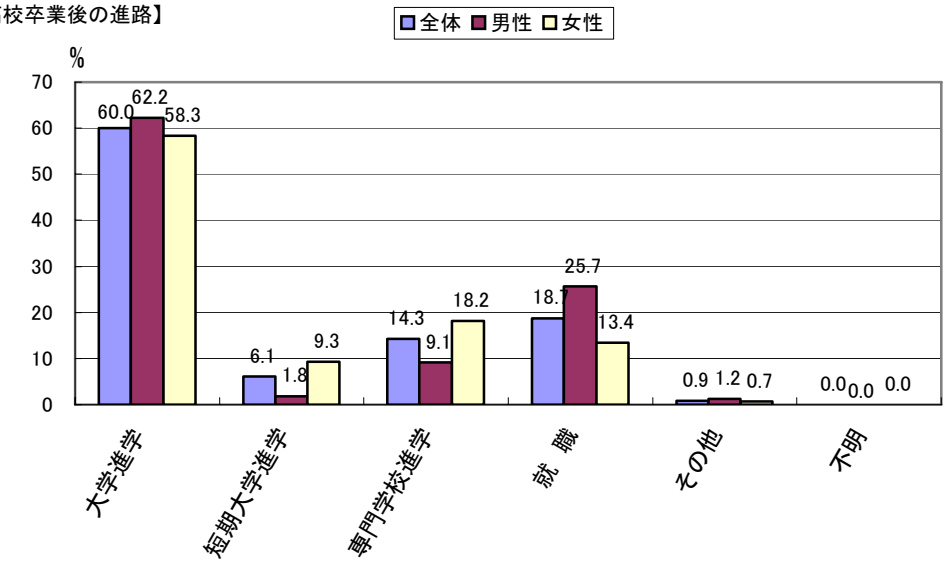
問２　あなたの進路についておたずねします。
あなたは高校卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を**１つだけ**選んでください。

回答者（8,294 人）の高校卒業後の希望進路は、

- 「大学進学」　60.0%（4,976 人）
- 「短期大学進学」　6.1%（　502 人）
- 「専門学校進学」　14.3%（1,187 人）
- 「就　職」　18.7%（1,551 人）
- 「その他」　0.9%（　78 人）となっている。

「大学進学」「短期大学進学」「専門学校進学」を合計すると、回答者（8,294 人）の 80.4%（6,665 人）が進学を希望している。

【高校卒業後の進路】



（単位　　上段：人　下段：%）

	合計	大学進学	短期大学進学	専門学校進学	就　職	その他	不明
全体	8294	4976	502	1187	1551	78	0
	100.0	60.0	6.1	14.3	18.7	0.9	0.0
男性	3586	2230	64	328	920	44	0
	100.0	62.2	1.8	9.1	25.7	1.2	0.0
女性	4708	2746	438	859	631	34	0
	100.0	58.3	9.3	18.2	13.4	0.7	0.0

■　問３　進学したい分野

問３　あなたが進学したいと考えている分野はどれですか。次の中から**第２希望まで**選んでください。
（問２で「大学進学」「短期大学進学」「専門学校進学」のいずれかを選択した者のみ回答。以下、問７まで同様)。

１　第１希望について

問２で「大学進学」「短期大学進学」「専門学校進学」を選択した者（6,665 人）に進学したい分野について尋ねた（次ページグラフ参照)。

回答者全体で見ると、回答率の高いほうから順に①「教育学・保育学関係」15.2%（1,016 人)、②「文学・外国語関係（史学・哲学含む)」13.4%（890 人)、③「看護学関係」8.7%（577 人）となっている。

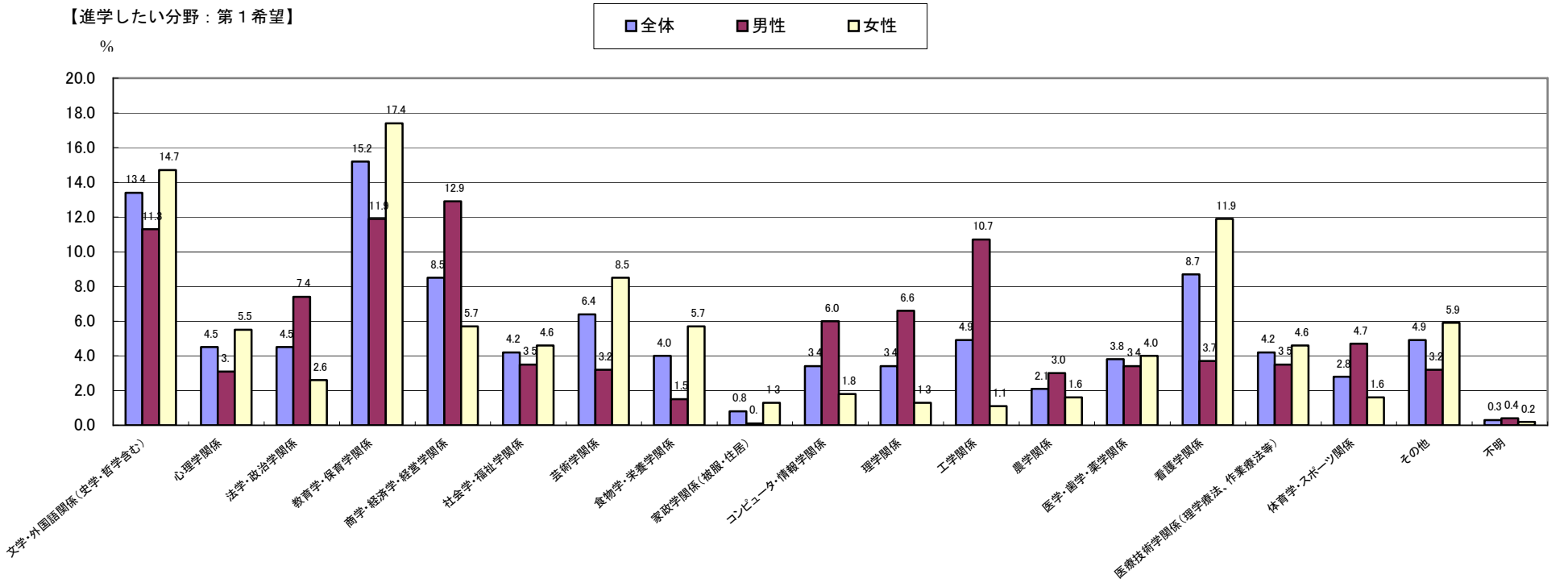
男女別に見ると、男性回答者においては「商学・経済学・経営学関係」（12.9%)、「工学関係」（10.7%）の選択率も高く、また「看護学関係」は特に女性回答者において選択率が高い（11.9%)。

なお、「芸術学関係」は 6.4%（429 人）となっている。「芸術学関係」は男性よりも女性の選択率が比較的高めである（男性：3.2%、女性：8.5%)。

２　第２希望について

15 ページグラフ参照。

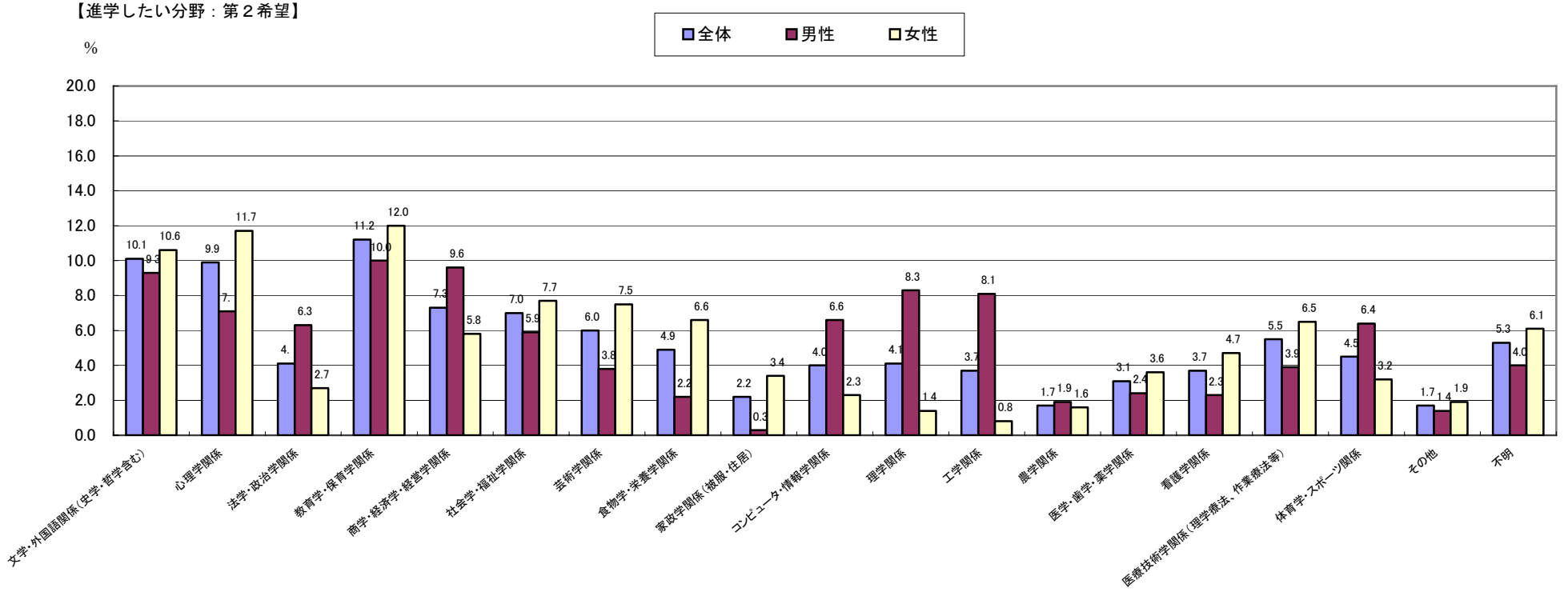
【進学したい分野：第１希望】



（単位　　上段：人　下段：%）

	合計	文学・外国語関係（史学・哲学含む）	心理学関係	法学・政治学関係	教育学・保育学関係	商学・経済学・経営学関係	社会学・福祉学関係	芸術学関係	食物学・栄養学関係	家政学関係（被服・住居）	コンピュータ・情報学関係	理学関係	工学関係	農学関係	医学・歯学・薬学関係	看護学関係	医療技術学関係（理学療法、作業療法等）	体育学・スポーツ関係	その他	不明
全体	6665	890	301	302	1016	568	278	429	268	54	229	224	327	142	250	577	279	186	325	20
	100.0	13.4	4.5	4.5	15.2	8.5	4.2	6.4	4.0	0.8	3.4	3.4	4.9	2.1	3.8	8.7	4.2	2.8	4.9	0.3
男性	2622	296	80	195	313	337	91	85	39	2	157	172	281	78	90	96	93	122	85	10
	100.0	11.3	3.1	7.4	11.9	12.9	3.5	3.2	1.5	0.1	6.0	6.6	10.7	3.0	3.4	3.7	3.5	4.7	3.2	0.4
女性	4043	594	221	107	703	231	187	344	229	52	72	52	46	64	160	481	186	64	240	10
	100.0	14.7	5.5	2.6	17.4	5.7	4.6	8.5	5.7	1.3	1.8	1.3	1.1	1.6	4.0	11.9	4.6	1.6	5.9	0.2

【進学したい分野：第２希望】



（単位　　上段：人　下段：%）

	合計	文学・外国語関係（史学・哲学含む）	心理学関係	法学・政治学関係	教育学・保育学関係	商学・経済学・経営学関係	社会学・福祉学関係	芸術学関係	食物学・栄養学関係	家政学関係（被服・住居）	コンピュータ・情報学関係	理学関係	工学関係	農学関係	医学・歯学・薬学関係	看護学関係	医療技術学関係（理学療法、作業療法等）	体育学・スポーツ関係	その他	不明
全体	6665	674	659	276	749	484	467	402	326	145	266	275	245	113	208	249	366	297	111	353
	100.0	10.1	9.9	4.1	11.2	7.3	7.0	6.0	4.9	2.2	4.0	4.1	3.7	1.7	3.1	3.7	5.5	4.5	1.7	5.3
男性	2622	245	186	166	262	251	156	100	58	9	172	218	213	50	64	59	103	169	36	105
	100.0	9.3	7.1	6.3	10.0	9.6	5.9	3.8	2.2	0.3	6.6	8.3	8.1	1.9	2.4	2.3	3.9	6.4	1.4	4.0
女性	4043	429	473	110	487	233	311	302	268	136	94	57	32	63	144	190	263	128	75	248
	100.0	10.6	11.7	2.7	12.0	5.8	7.7	7.5	6.6	3.4	2.3	1.4	0.8	1.6	3.6	4.7	6.5	3.2	1.9	6.1

■　問４　進学先を決定する際に重視すること（複数回答）

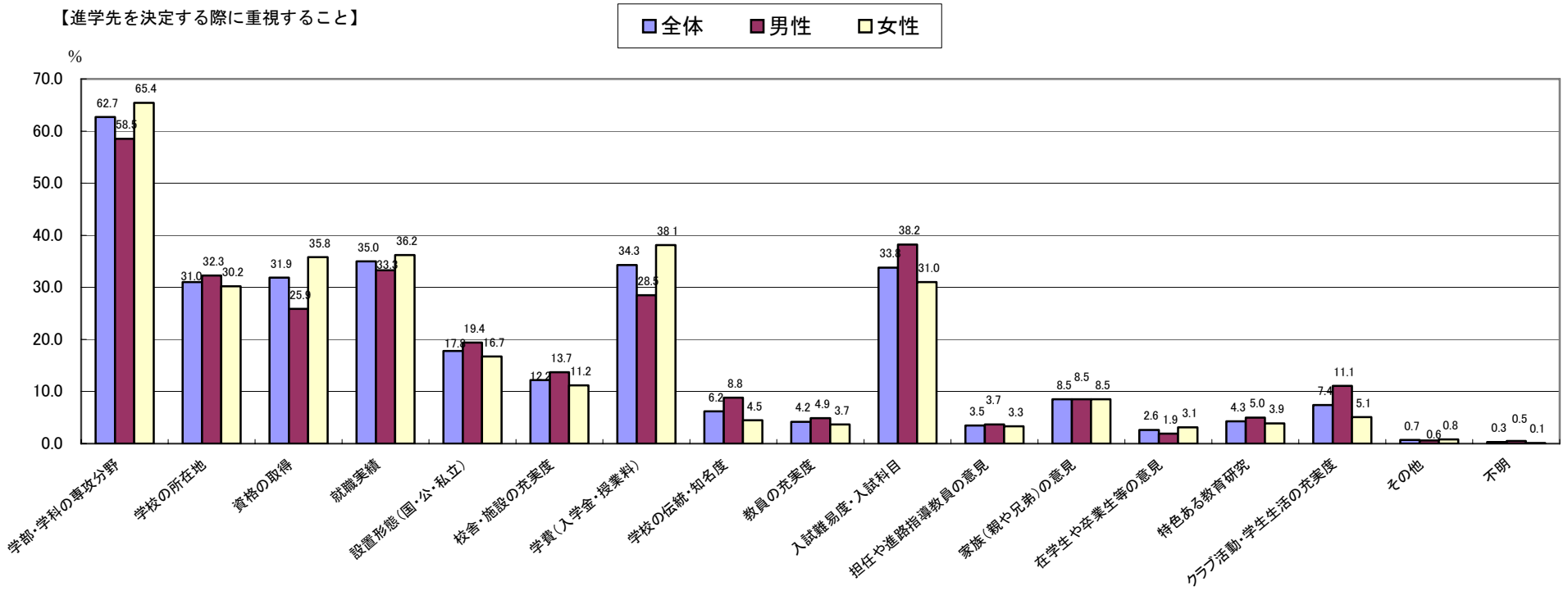
問４　あなたが進学先を決定する際に重視することはどれですか。
　　次の中から**３つまで**選んでください。

回答者（6,665 人）が進学先を決定する際に重視する事項について、回答率の高いほうから順に①「学部・学科の専攻分野」62.7%（4,179 人）、②「就職実績」35.0%（2,335 人）、③「学費（入学金・授業料）」34.3%（2,285 人）、④「入試難易度・入試科目」33.8%（2,255 人）、⑤「資格の取得」31.9%（2,124 人）、⑥「学校の所在地」31.0%（2,066 人）となっている。

「学部・学科の専攻分野」は回答者の 6 割強が選択している。その他に回答者は「就職実績」「資格の取得」といった卒業後に関する事項、「入試難易度・入試科目」という入学の可否に関する事項、及び「学費（入学金・授業料）」といった経済的な事項を重視していると言える。

男女別に見ると「入試難易度・入試科目」は男性のほうが女性よりも選択率が比較的高い（男性 38.2%、女性 31.0%）。他方、「学費（入学金・授業料）」「資格の取得」は女性のほうが男性よりも選択率が比較的高い（「学費（入学金・授業料）」男性 28.5%：女性 38.1%、「資格の取得」男性 25.9%：女性 35.8%）

【進学先を決定する際に重視すること】



（単位　　上段：人　下段：%）

	合計	学部・学科の専攻分野	学校の所在地	資格の取得	就職実績	設置形態（国・公・私立）	校舎・施設の充実度	学費（入学金・授業料）	学校の伝統・知名度	教員の充実度	入試難易度・入試科目	担任や進路指導教員の意見	家族（親や兄弟）の意見	在学生や卒業生等の意見	特色ある教育研究	クラブ活動・学生生活の充実度	その他	不明
全体	6665	4179	2066	2124	2335	1185	813	2285	414	278	2255	230	566	175	289	496	48	18
	100.0	62.7	31.0	31.9	35.0	17.8	12.2	34.3	6.2	4.2	33.8	3.5	8.5	2.6	4.3	7.4	0.7	0.3
男性	2622	1535	847	678	873	509	360	746	232	128	1001	97	224	51	131	290	17	13
	100.0	58.5	32.3	25.9	33.3	19.4	13.7	28.5	8.8	4.9	38.2	3.7	8.5	1.9	5.0	11.1	0.6	0.5
女性	4043	2644	1219	1446	1462	676	453	1539	182	150	1254	133	342	124	158	206	31	5
	100.0	65.4	30.2	35.8	36.2	16.7	11.2	38.1	4.5	3.7	31.0	3.3	8.5	3.1	3.9	5.1	0.8	0.1

■　問５（仮称）秋田公立美術大学への進学希望

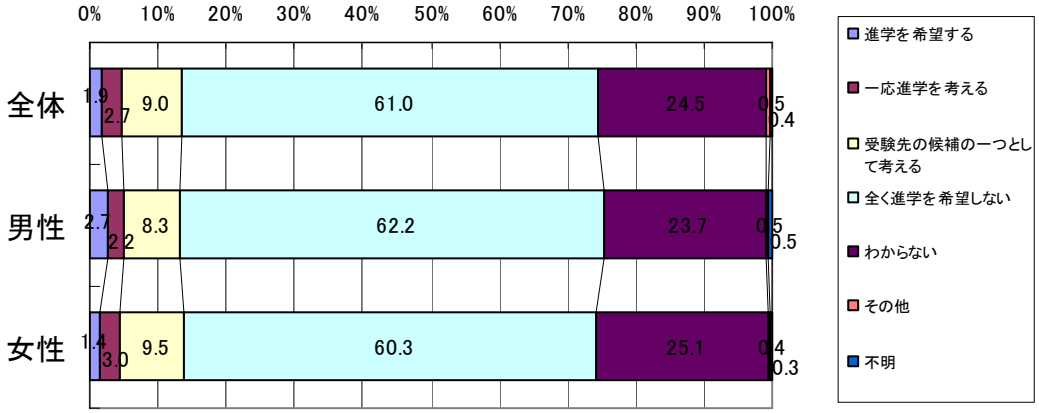
問５　あなたは本大学に進学したいと思いますか。

（仮称）秋田公立美術大学への進学希望について、回答者 6,665 人のうち「進学を希望する」1.9%（127 人）、「一応進学を考える」2.7%（180 人）、「受験先の候補の一つとして考える」9.0%（600 人）となっており、選択率としては低いものの、「進学を希望する」と回答した者のみで 100 名を超える結果となった。

また、「進学を希望する」「一応進学を考える」を合計すると 307 名の回答者が本学への進学を検討しているといえる。

男女別に見ると、男性のほうが女性よりも「進学を希望する」と回答した者が多い（男性 71 人、女性 56 人）。

【（仮称）秋田公立美術大学への進学希望】



（単位　　上段：人　下段：%）

	合計	進学を希望する	一応進学を考える	受験先の候補の一つとして考える	全く進学を希望しない	わからない	その他	不明
全体	6665	127	180	600	4068	1635	30	25
	100.0	1.9	2.7	9.0	61.0	24.5	0.5	0.4
男性	2622	71	58	217	1630	622	12	12
	100.0	2.7	2.2	8.3	62.2	23.7	0.5	0.5
女性	4043	56	122	383	2438	1013	18	13
	100.0	1.4	3.0	9.5	60.3	25.1	0.4	0.3

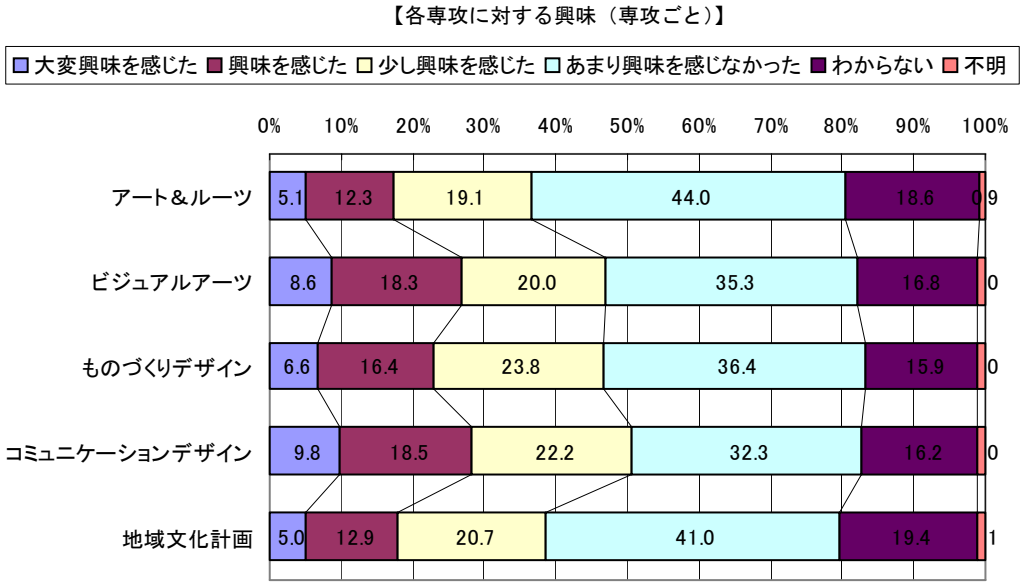
■　問６　各専攻に対する興味（各専攻ごとに回答）

問６　あなたは下記の各専攻に興味を持ちましたか。下記の選択肢１～５より**専攻ごとに１つだけ**選んでください。

１　大変興味を感じた　　２　興味を感じた　　３　少し興味を感じた
４　あまり興味を感じなかった　　５　わからない

１　全体集計

回答者 6,665 人の各専攻に対する興味の有無について、興味の高いものから順に①コミュニケーションデザイン専攻（「大変興味を感じた」9.8%、「興味を感じた」18.5%）、②ビジュアルアーツ専攻（「大変興味を感じた」8.6%、「興味を感じた」18.3%）、③ものづくりデザイン専攻（「大変興味を感じた」6.6%、「興味を感じた」16.4%）となっている。



（単位　　上段：人　下段：%）

	大変興味を感じた	興味を感じた	少し興味を感じた	あまり興味を感じなかった	わからない	不明	合計
アート＆ルーツ	338	820	1271	2932	1242	62	6665
	5.1	12.3	19.1	44.0	18.6	0.9	100.0
ビジュアルアーツ	576	1219	1330	2351	1123	66	6665
	8.6	18.3	20.0	35.3	16.8	1.0	100.0
ものづくりデザイン	438	1092	1584	2424	1063	64	6665
	6.6	16.4	23.8	36.4	15.9	1.0	100.0
コミュニケーションデザイン	656	1233	1478	2153	1081	64	6665
	9.8	18.5	22.2	32.3	16.2	1.0	100.0
地域文化計画	336	859	1377	2732	1291	70	6665
	5.0	12.9	20.7	41.0	19.4	1.1	100.0

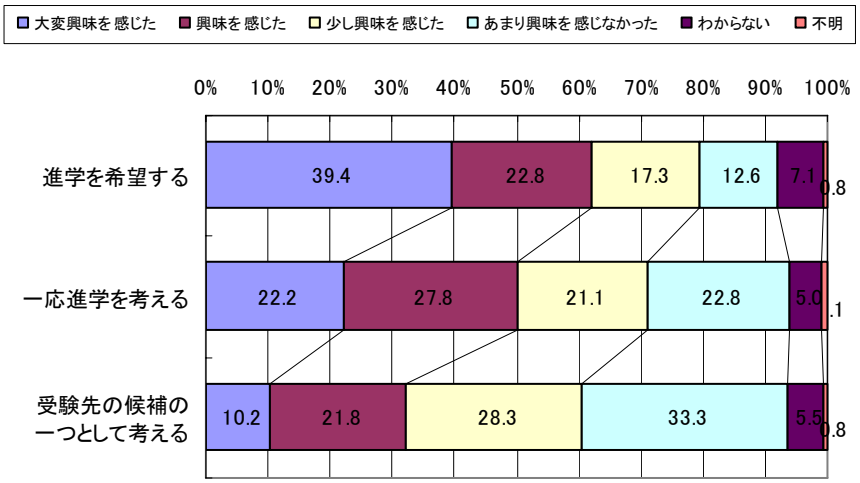
２　秋田公立美術大学進学希望者の各専攻への興味

問６は秋田公立美術大学への進学希望の有無に関わらず回答を求めたものであるため、全体集計では本学に関心のない回答者についても調査対象になっている。そこで、ここでは本大学への進学に関心を持っている回答者のみに限定して各専攻への興味について集計した。

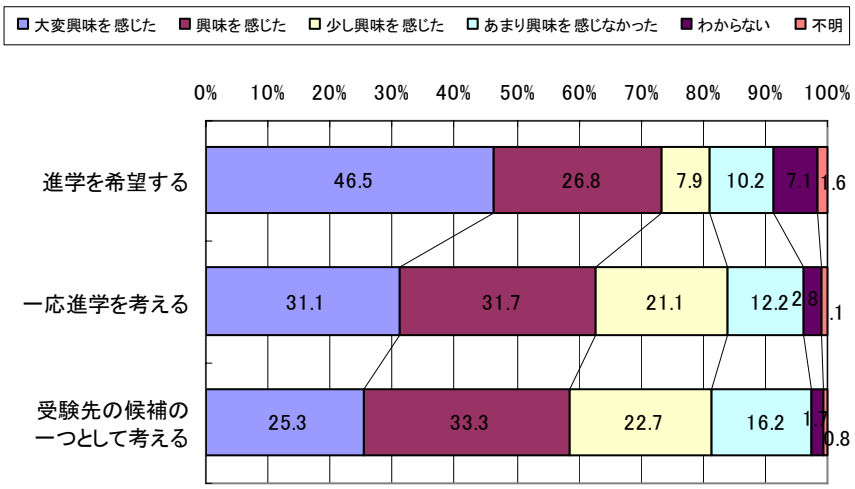
その結果、本学への「進学を希望する」学生（問５、127 人）が「大変興味を感じた」専攻を選択率の多いほうから順に並べると、①ビジュアルアーツ専攻（46.5%、59 人）、②コミュニケーションデザイン専攻（45.7%、58 人）、③アート＆ルーツ専攻（39.4%、50 人）、④ものづくりデザイン専攻（37.0%、47 人）、⑤地域文化計画専攻（33.9%、43 人）という結果となった。実数については 22 ページの表参照。

【秋田公立美術大学進学希望者の各専攻への興味】

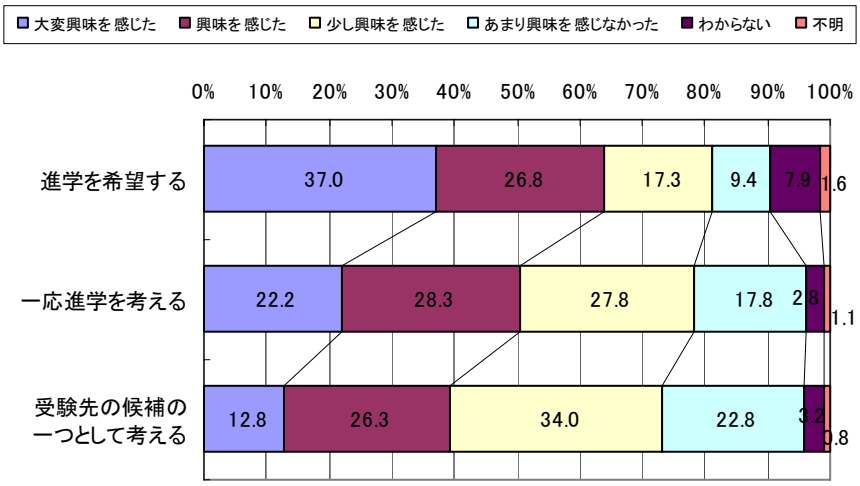
【アート
＆ルーツ】



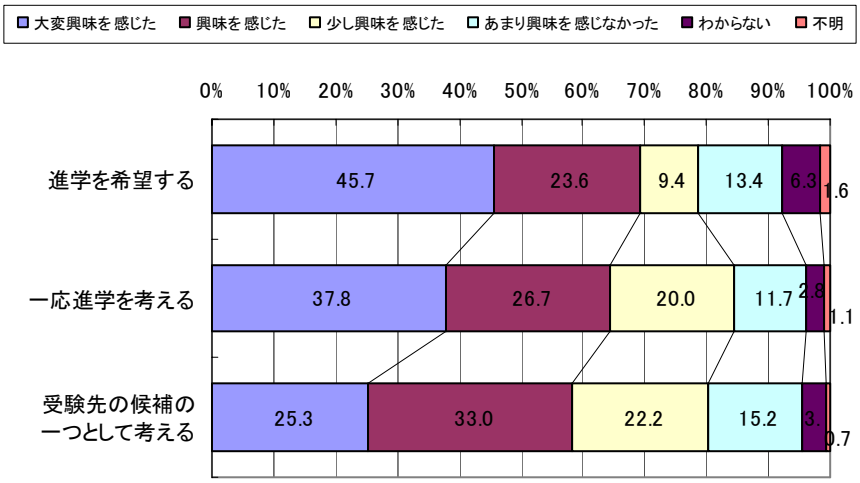
【ビジュアル
アーツ】



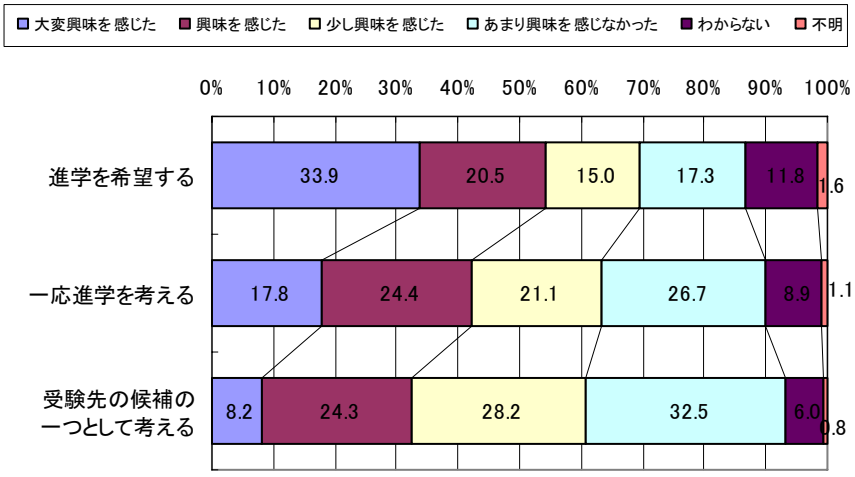
【ものづくり
デザイン】



【コミュニケー
ションデザイン】



【地域文化
計画】



【アート＆ルーツ専攻】　（単位　上段：人　下段：%）

	合計	大変興味を感じた	興味を感じた	少し興味を感じた	あまり興味を感じなかった	わからない	不明
進学を希望する	127	50	29	22	16	9	1
	100.0	39.4	22.8	17.3	12.6	7.1	0.8
一応進学を考える	180	40	50	38	41	9	2
	100.0	22.2	27.8	21.1	22.8	5.0	1.1
受験先の候補の一つとして考える	600	61	131	170	200	33	5
	100.0	10.2	21.8	28.3	33.3	5.5	0.8

【ビジュアルアーツ専攻】　（単位　上段：人　下段：%）

	合計	大変興味を感じた	興味を感じた	少し興味を感じた	あまり興味を感じなかった	わからない	不明
進学を希望する	127	59	34	10	13	9	2
	100.0	46.5	26.8	7.9	10.2	7.1	1.6
一応進学を考える	180	56	57	38	22	5	2
	100.0	31.1	31.7	21.1	12.2	2.8	1.1
受験先の候補の一つとして考える	600	152	200	136	97	10	5
	100.0	25.3	33.3	22.7	16.2	1.7	0.8

【ものづくりデザイン専攻】　（単位　上段:人　下段:%）

	合計	大変興味を感じた	興味を感じた	少し興味を感じた	あまり興味を感じなかった	わからない	不明
進学を希望する	127	47	34	22	12	10	2
	100.0	37.0	26.8	17.3	9.4	7.9	1.6
一応進学を考える	180	40	51	50	32	5	2
	100.0	22.2	28.3	27.8	17.8	2.8	1.1
受験先の候補の一つとして考える	600	77	158	204	137	19	5
	100.0	12.8	26.3	34.0	22.8	3.2	0.8

【コミュニケーションデザイン専攻】　（単位　上段：人　下段：%）

	合計	大変興味を感じた	興味を感じた	少し興味を感じた	あまり興味を感じなかった	わからない	不明
進学を希望する	127	58	30	12	17	8	2
	100.0	45.7	23.6	9.4	13.4	6.3	1.6
一応進学を考える	180	68	48	36	21	5	2
	100.0	37.8	26.7	20.0	11.7	2.8	1.1
受験先の候補の一つとして考える	600	152	198	133	91	22	4
	100.0	25.3	33.0	22.2	15.2	3.7	0.7

【地域文化計画専攻】　（単位　上段：人　下段：%）

	合計	大変興味を感じた	興味を感じた	少し興味を感じた	あまり興味を感じなかった	わからない	不明
進学を希望する	127	43	26	19	22	15	2
	100.0	33.9	20.5	15.0	17.3	11.8	1.6
一応進学を考える	180	32	44	38	48	16	2
	100.0	17.8	24.4	21.1	26.7	8.9	1.1
受験先の候補の一つとして考える	600	49	146	169	195	36	5
	100.0	8.2	24.3	28.2	32.5	6.0	0.8

■　問７　各専攻に対する興味（第１希望・第２希望）

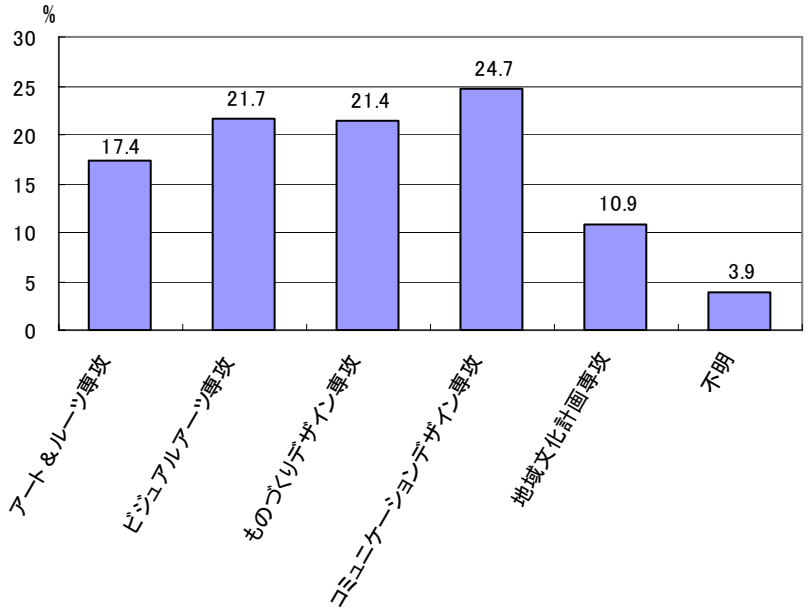
問７　美術学部美術学科の５つの専攻のうち、興味を感じたものを次の中から**第２希望まで**選んでください。

１　全体集計

（１）第１希望について

回答者 6,665 人のうち、第１希望の専攻として選択率の高いものから順に①コミュニケーションデザイン専攻（24.7%）、②ビジュアルアーツ専攻（21.7%）、③ものづくりデザイン専攻（21.4%）、④アート＆ルーツ専攻（17.4%）、⑤地域文化計画専攻（10.9%）となっている。

【各専攻に対する興味（第１希望）（全体集計）】



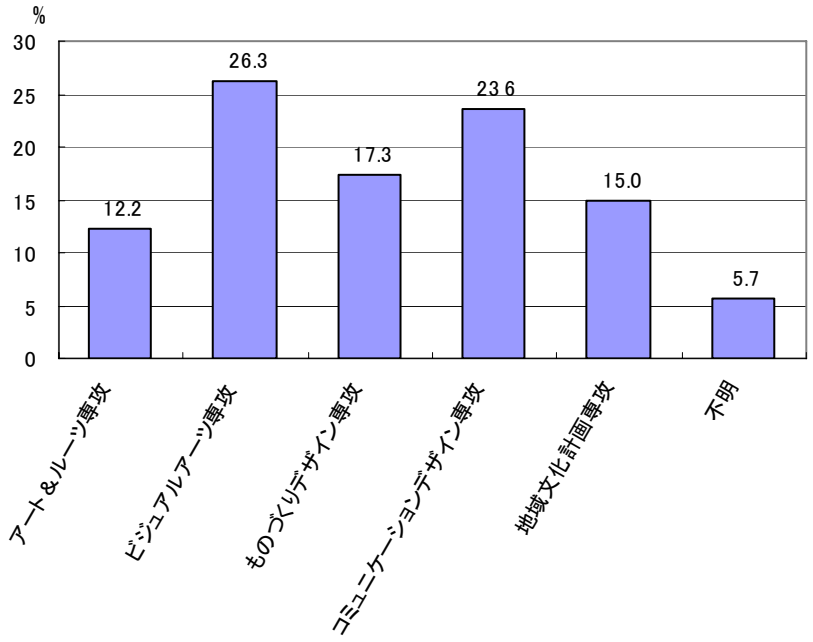
（単位　　上段：人　下段：%）

	合計	アート＆ルーツ専攻	ビジュアルアーツ専攻	ものづくりデザイン専攻	コミュニケーションデザイン専攻	地域文化計画専攻	不明
全体	6665	1161	1444	1429	1644	729	258
	100.0	17.4	21.7	21.4	24.7	10.9	3.9
男性	2622	504	449	621	564	355	129
	100.0	19.2	17.1	23.7	21.5	13.5	4.9
女性	4043	657	995	808	1080	374	129
	100.0	16.3	24.6	20.0	26.7	9.3	3.2

（２）第２希望について

回答者 6,665 人のうち、第２希望の専攻として選択率の高いものから順に①ビジュアルアーツ専攻（26.3%）、②コミュニケーションデザイン専攻（23.6%）、③ものづくりデザイン専攻（17.3%）、④地域文化計画専攻（15.0%）、⑤アート＆ルーツ専攻（12.2%）となっている。

【各専攻に対する興味（第２希望）（全体集計）】



（単位　　上段：人　下段：%）

	合計	アート＆ルーツ専攻	ビジュアルアーツ専攻	ものづくりデザイン専攻	コミュニケーションデザイン専攻	地域文化計画専攻	不明
全体	6665	812	1755	1151	1572	997	378
	100.0	12.2	26.3	17.3	23.6	15.0	5.7
男性	2622	346	690	450	552	392	192
	100.0	13.2	26.3	17.2	21.1	15.0	7.3
女性	4043	466	1065	701	1020	605	186
	100.0	11.5	26.3	17.3	25.2	15.0	4.6

２　秋田公立美術大学進学希望者の各専攻への興味（第１希望、第２希望）

問７は秋田公立美術大学への進学希望の有無に関わらず回答を求めたものであるため、全体集計では本学に関心のない回答者についても調査対象になっている。そこで、ここでは本大学への進学に関心を持っている回答者のみに限定して各専攻への興味（第１希望、第２希望）について集計した。

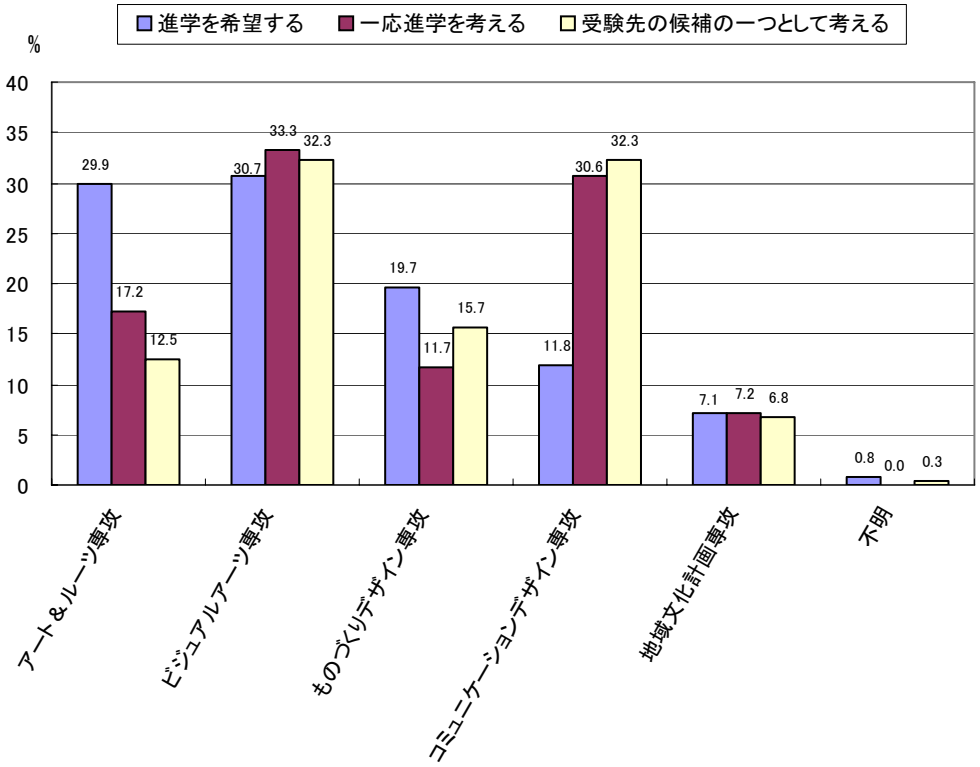
（１）第１希望について（次ページ表参照）

本学への「進学を希望する」学生（127 人）について、第１希望の専攻として最も選択率の高いものから順に①ビジュアルアーツ専攻（30.7%、39 人）、②アート＆ルーツ専攻（29.9%、38 人）、③ものづくりデザイン専攻（19.7%、25 人）、④コミュニケーションデザイン専攻（11.8%、15 人）、⑤地域文化計画専攻（7.1%、9 人）となった。

ビジュアルアーツ専攻は「進学を希望する」「一応進学を考える」「受験先の候補の一つとして考える」を選択した者のいずれにおいても選択率が高い。

アート＆ルーツ専攻については「進学を希望する」と回答した者の選択率が高いが、「一応進学を考える」「受験先の候補の一つとして考える」と回答した者の選択率は低めである。他方、コミュニケーションデザイン専攻については「進学を希望する」と回答した者の選択率は低めだが、「一応進学を考える」「受験先の候補の一つとして考える」と回答した者の選択率は高い。

【秋田公立美術大学進学希望者の各専攻への興味（第１希望）】



（単位　　上段：人　下段：%）

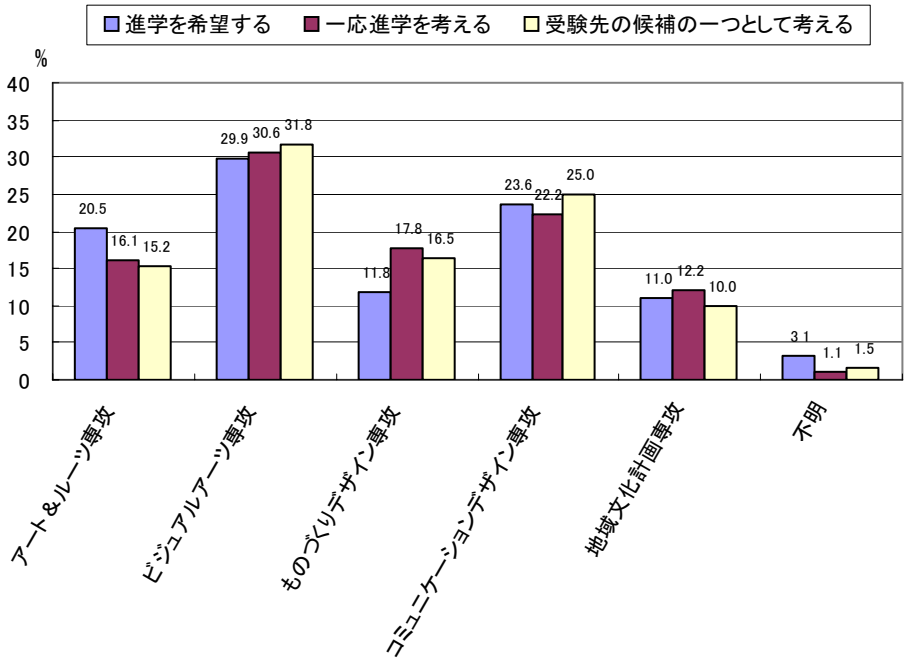
	合計	アート＆ルーツ専攻	ビジュアルアーツ専攻	ものづくりデザイン専攻	コミュニケーションデザイン専攻	地域文化計画専攻	不明
進学を希望する	127	38	39	25	15	9	1
	100.0	29.9	30.7	19.7	11.8	7.1	0.8
一応進学を考える	180	31	60	21	55	13	0
	100.0	17.2	33.3	11.7	30.6	7.2	0.0
受験先の候補の一つとして考える	600	75	194	94	194	41	2
	100.0	12.5	32.3	15.7	32.3	6.8	0.3

（２）第２希望について

本学への「進学を希望する」学生（127 人）について、第２希望の専攻として最も選択率の高いものから順に①ビジュアルアーツ専攻（29.9%、38 人）、②コミュニケーションデザイン専攻（23.6%、30 人）、③アート＆ルーツ専攻（20.5%、26 人）、④ものづくりデザイン専攻（11.8%、15 人）、⑤地域文化計画専攻（11.0%、14 人）となった。

ビジュアルアーツ専攻は第１希望の場合と同様、「進学を希望する」「一応進学を考える」「受験先の候補の一つとして考える」を選択した者のいずれにおいても選択率が高い。また、コミュニケーションデザイン専攻は第１希望の場合においては「進学を希望する」と回答した者の選択率は低かったが、第２希望においては「進学を希望する」と回答した者の選択率は比較的高めである。

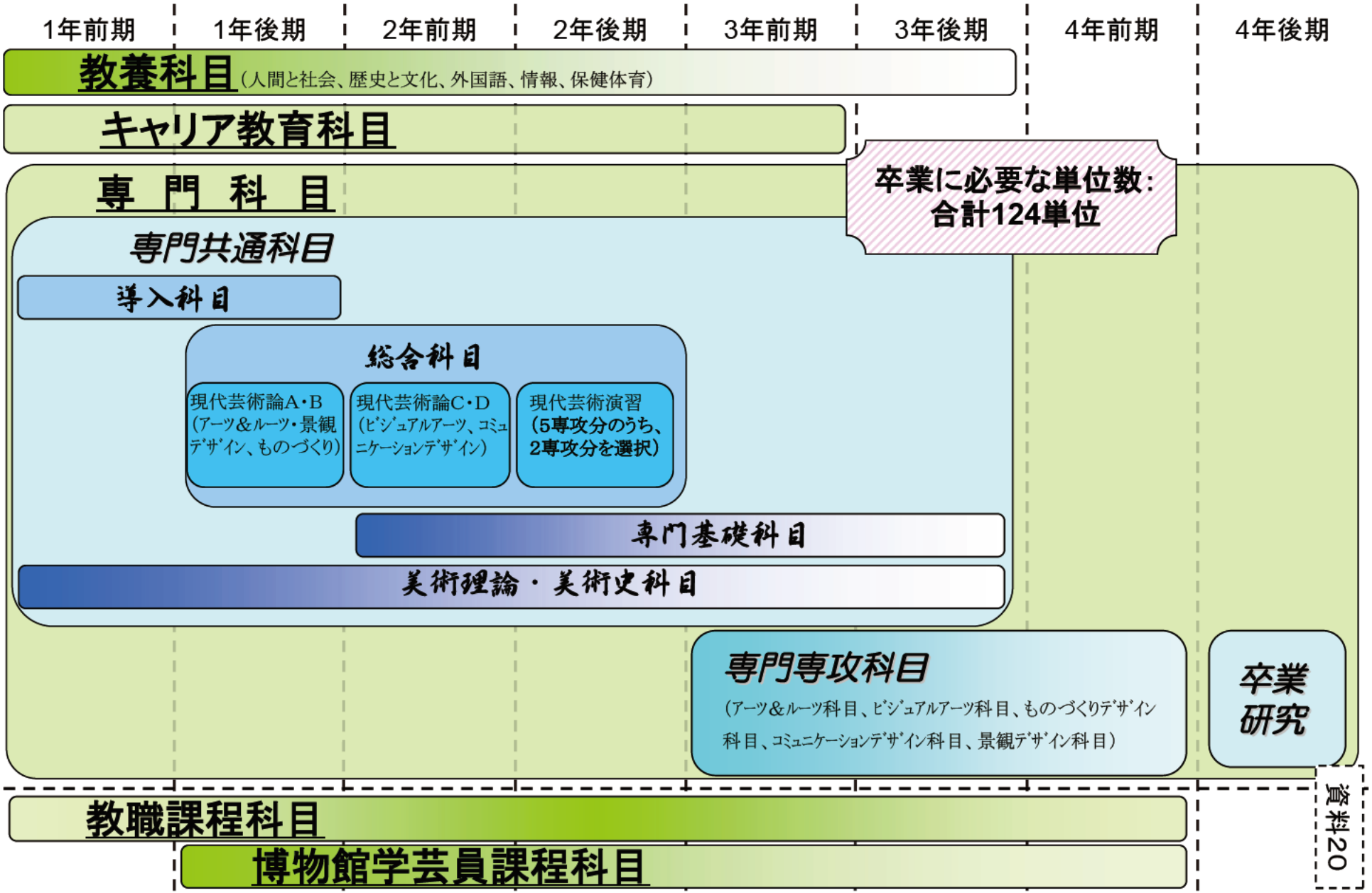
【秋田公立美術大学進学希望者の各専攻への興味（第２希望）】



（単位　　上段：人　下段：%）

	合計	アート＆ルーツ専攻	ビジュアルアーツ専攻	ものづくりデザイン専攻	コミュニケーションデザイン専攻	地域文化計画専攻	不明
進学を希望する	127	26	38	15	30	14	4
	100.0	20.5	29.9	11.8	23.6	11.0	3.1
一応進学を考える	180	29	55	32	40	22	2
	100.0	16.1	30.6	17.8	22.2	12.2	1.1
受験先の候補の一つとして考える	600	91	191	99	150	60	9
	100.0	15.2	31.8	16.5	25.0	10.0	1.5

教育課程のイメージ図


1年前期
1年後期
2年前期
2年後期
3年前期
3年後期
4年前期
4年後期
教養科目（人間と社会、歴史と文化、外国語、情報、保健体育）
キャリア教育科目
専　門　科　目
卒業に必要な単位数：
合計124単位
専門共通科目
導入科目
総合科目
現代芸術論A・B
（アーツ＆ルーツ・景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ、ものづくり）
現代芸術論C・D
（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）
現代芸術演習
（5専攻分のうち、2専攻分を選択）
専門基礎科目
美術理論・美術史科目
専門専攻科目
（アーツ＆ルーツ科目、ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ科目、ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ科目、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ科目、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ科目）
卒業研究
教職課程科目
博物館学芸員課程科目
資料20

資料21

秋田公立美術大学の学びの構成

卒　業

卒　業　研　究

専門共通科目

専門専攻科目

- 景観デザイン科目
- コミュニケーションデザイン科目
- ものづくりデザイン科目
- ビジュアルアーツ科目
- アーツ＆ルーツ科目

専門共通科目

キャリア教育科目

専門基礎科目（各専攻に至る基礎的な科目）

総合科目（現代芸術論、現代芸術演習）

導入科目（素描表現、西洋美術史など）

美術理論・美術史科目

教養科目

（人間と社会、歴史と文化、外国語、情報、保健体育）

美術学部美術学科の履修モデル

資料22

①美術学部美術学科アーツ＆ルーツ専攻の履修モデル

･･･必修科目　　･･･履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	哲学	2			国際関係論	2											
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化コミュニケーション論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ） 現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2 2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ） 現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2 2	現代芸術演習Ａ１（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ） 現代芸術演習Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	1 1									
		導入科目	色彩論 素描表現	2 1	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習 絵画材料演習	1 1													
			写真基礎演習 （又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	1 (1)															
			（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	(1)	工芸演習１（教職課程） （又は構成演習）	2 (2)													
			塑像表現１ （又は図学・製図演習）	2 (2)	工芸演習２（教職課程） （又はﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習）	2 (2)													
			英語による現代美術評論１	2															
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	日本彫刻史	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2			近代絵画史	2									
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	塑像表現２	2			ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ基礎演習	1					
							油画基礎演習	1	彫刻素材基礎演習	1									
							構成論	2	現代絵画基礎演習	1									
							素材と表現	2	ｲﾗｽﾄﾚｰｼｮﾝ基礎演習	1									
							彫刻基礎演習	1	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ基礎演習	1									
							日本画基礎演習	1											
		小計		12		14		15		12		2		1		0		0	56
	専門専攻科目	アーツ＆ルーツ専攻科目									ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習１	8	ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習２ ｱｰﾄﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	6 2	ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習３	8			
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		8		8		8		10	34
	合計			12		14		15		12		10		9		8		10	90
総　計				24		18		24		16		15		9		8		10	124

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

②美術学部美術学科ビジュアルアーツ専攻の履修モデル

･･･必修科目　　･･･履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	哲学	2			国際関係論	2											
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ａ１（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	1 (1)													
			写真基礎演習（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	1 (1)	工芸演習１（教職課程）	2													
			塑像表現１（又は図学・製図演習）	2 (2)	工芸演習１（又は構成演習）	2 (2)													
			英語による現代美術評論１	2	工芸演習２（教職課程）	2													
					（又はﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習）	(2)													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2									
			東洋美術史	2	西洋美術史	2			近代絵画史	2									
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	現代絵画基礎演習	1									
							油画基礎演習	1	ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ基礎演習	1									
							構成論	2	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ基礎演習	1									
							素材と表現	2	ﾃｷｽﾀｲﾙ表現基礎演習	1									
							日本画基礎演習	1	ｲﾗｽﾄﾚｰｼｮﾝ基礎演習	1									
									ﾒﾃﾞｨｱｱｰﾄ基礎演習	2									
									塑像表現２	2									
									彫刻素材基礎演習	1									
		小計		12		14		14		16		0		0		0		0	56
	専門専攻科目	ビジュアルアーツ専攻科目									ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習１	8	ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習２	8	ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習３	6			
													古美術研究	2					
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		8		10		6		10	34
	合計			12		14		14		16		8		10		6		10	90
総　計				24		18		23		20		13		10		6		10	124

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

③美術学部美術学科ものづくりデザイン専攻の履修モデル

…必修科目　　…履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	哲学	2			国際関係論	2											
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化コミュニケーション論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					プログラミング入門	2											
		保健体育	スポーツと健康１	1	スポーツと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報リテラシー１	1	情報リテラシー２	1			キャリアデザイン１	2	地域プロジェクト演習	1							
			美術の社会実践論	2					プレゼンテーション演習１	1	キャリアデザイン２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（アート&ルーツ、景観デザイン）	2	現代芸術論Ｃ（ビジュアルアーツ）	2	現代芸術演習Ｂ（ものづくりデザイン）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりデザイン）	2	現代芸術論Ｄ（コミュニケーションデザイン）	2	現代芸術演習Ａ２（景観デザイン）	1									
		導入科目	色彩論	2	デザインスケッチ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習	1													
			写真基礎演習（又はコンピュータ表現基礎）	1 (1)	（又はコンピュータ表現演習）	(1)													
			塑像表現１（又は図学・製図演習）	2 (2)	工芸演習１（教職課程）（又は構成演習）	2 (2)													
			英語による現代美術評論１	2	工芸演習２（教職課程）（又はデザイン基礎演習）	2 (2)													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	近代装飾デザイン史	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2													
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	商品計画演習	1	色彩演習	1							
							油画基礎演習	1	地域産業とデザイン	2									
							構成論	2	デザインサーベイ	1									
							素材と表現	2	建築モデル演習	1									
							ものづくり製図演習	1	知的財産と運用	2									
							DTPデザイン演習	1											
							彫刻基礎演習	1											
		小計		12		14		16		11		3		0		0		0	56
	専門専攻科目	ものづくりデザイン専攻科目									地域産業研究	1	ものづくりデザイン演習２	4	ものづくりデザイン演習３	6			
											プロダクトデザイン演習	1	ものづくりデザイン演習２	4					
											プレゼンテーション演習２	1							
											ものづくりデザイン演習１	3							
											ものづくりデザイン演習１	3							
											2D・3D CAD演習	1							
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		10		8		6		10	34
	合計			12		14		16		11		13		8		6		10	90
総　計				24		18		25		15		18		8		6		10	124

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

④美術学部美術学科コミュニケーションデザイン専攻の履修モデル

･･･必修科目　　･･･履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	哲学	2			国際関係論	2											
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化コミュニケーション論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰｽ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	1 (1)													
			写真基礎演習（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	1 (1)	工芸演習１（教職課程）（又は構成演習）	2 (2)													
			塑像表現１（又は図学・製図演習）	2 (2)	工芸演習２（教職課程）（又はﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習）	2 (2)													
			英語による現代美術評論１	2															
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	近代装飾ﾃﾞｻﾞｲﾝ史	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2													
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	1	色彩演習	1	ﾌﾞｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝ	1					
							油画基礎演習	1	ﾀｲﾎﾟｸﾞﾗﾌｨ基礎演習	1									
							構成論	2	商品計画演習	1									
							素材と表現	2	地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ	2									
							DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	ﾃﾞｻﾞｲﾝｻｰﾍﾞｲ	1									
							映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎	1											
							ものづくり製図演習	1											
		小計			12		14		16		10		3		1		0		0	56
	専門専攻科目	コミュニケーションデザイン専攻科目									ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ａ	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｂ	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｃ	2	ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2	映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	3D･CG表現演習１	1	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｄ	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｅ	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｆ	2	3D･CG表現演習２	1	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	5		
		卒業研究																	卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		12		7		5		10	34
	合計			12		14		16		10		15		8		5		10	90
総　計				24		18		25		14		20		8		5		10	124

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

⑤美術学部美術学科景観デザイン専攻の履修モデル

･･･必修科目　　･･･履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			１年次				２年次				３年次				４年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	哲学	2			国際関係論	2											
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰｽ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ａ２（景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習	1													
			写真基礎演習（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	1 (1)															
			（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	(1)	工芸演習１（教職課程）	2													
			塑像表現１（又は構成演習）	2 (2)															
			（又は図学・製図演習）	(2)	工芸演習２（教職課程）	2													
			英語による現代美術評論１	2	（又はﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習）	(2)													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ史	2	日本建築史１	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2													
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	商品計画演習	1	色彩演習	1							
							油画基礎演習	1	地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ	2									
							構成論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｻｰﾍﾞｲ	1									
							素材と表現	2	知的財産と運用	2									
							DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	1									
							映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎	1	ﾀｲﾎﾟｸﾞﾗﾌｨ基礎演習	1									
		小計		12		14		15		12		3		0		0		0	56
	専門専攻科目	景観デザイン専攻科目									景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１	4	CAD演習２（景観）	2	景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習３	5			
											文化行政学	2	景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	5					
											都市ﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2							
											景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2							
											CAD演習１（建築）	2							
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		12		7		5		10	34
	合計			12		14		15		12		15		7		5		10	90
総　計				24		18		24		16		20		7		5		10	124

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

秋田公立美術大学時間割_前期

資料23

	月				火				水			
	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
1 8:50 ～ 10:20	●総合英語1 大八木 CALL室	●文化人類学 石倉 大講義室			★法学（日本国憲法） 非常勤 大講義室	帯授業 ★①（1～4週）油画基礎演習 大谷、小田 絵画実習室4	▲文化人類学特論 石倉 講義室2		●情報リテラシー1 野村 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室1	帯授業 ★①（1～4週）油画基礎演習 大谷、小田 絵画実習室4		
					○ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎 孔 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7		▲学外実習（ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ） ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 講義室3				●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 1A～1F ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （松本を除く） 各実習室・講義室3	
			●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 1G（家具） 松本 木工実習室・講義室3				★特別活動の理論と方法 毛内 講義室1					
			●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 1C（ｲﾗｽﾄﾚｰｼｮﾝ） 小田 ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝ室1				○近代建築史特講 澤田 講義室4					
2 10:30 ～ 12:00	★塑像表現1 皆川 彫塑実習室	○素材と表現 ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （松本を除く） 講義室2			▲英会話1 非常勤 CALL室	帯授業 ★①（1～4週）油画基礎演習 大谷、小田 絵画実習室4	▲地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 講義室1	●ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習3 ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室	★道徳教育 毛内 講義室2	帯授業 ★①（1～4週）油画基礎演習 大谷、小田 絵画実習室4		●ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習3 ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室
					○ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎 阿部 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7		★教育心理学2 非常勤 講義室4		○ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎 坂本 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7			
			●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 1G（家具） 松本 木工実習室・講義室3				○シルクロード図像学1 井上 大講義室	●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3 ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （山岡を除く） 各実習室・講義室3			●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 1A～1F ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （松本を除く） 各実習室・講義室3	
			●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 1C（ｲﾗｽﾄﾚｰｼｮﾝ） 小田 ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝ室1				○建築史演習 澤田 講義室2					
3 12:50 ～ 14:20	★塑像表現1 皆川 彫塑実習室	▲ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ演習1 野村 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室1			▲東北生活文化論 石倉 大講義室	▲起業論 非常勤 講義室4	★色彩演習 金 共通デザイン室	●ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習3 ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室	●情報リテラシー1 野村 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室1	▲国際関係論 非常勤 講義室4		●ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習3 ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室
		◇博物館情報・ﾒﾃﾞｨｱ論 非常勤 講義室4			★教職論 池亀 講義室1	★日本彫刻史 井上 講義室2		●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習3 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室		◇博物館資料論 志邨 講義室1		●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習3 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室
			●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 1G（家具） 松本 木工実習室・講義室3					●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3 ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （山岡を除く） 各実習室・講義室3			●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 1A～1F ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （松本・今中を除く） 各実習室・講義室3	
								●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 2 官能・坂本・孔・ﾍﾞ・水田				●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 2 官能・坂本・孔・ﾍﾞ・水田
								●景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3A・B・C 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員（菅原を除く） 各ﾃﾞｻﾞｲﾝ室				●景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3A・B・C 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員（菅原を除く） 各ﾃﾞｻﾞｲﾝ室
4 14:30 ～ 16:00	▲哲学 非常勤 講義室4	★日本画基礎演習 山本 絵画実習室2	★生徒指導・進路指導 毛内 講義室2		▲日本史 非常勤 講義室2	★総合英語3 大八木 CALL室		●ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習3 ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室	●色彩論 金 大講義室	★総合英語3 大八木 CALL室	▲キャリアデザイン2 今中 講義室2	●ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習3 ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室
	★工芸概論 非常勤 大講義室		★絵画表現演習1（教職課程） 鈴木 絵画実習室4		★東洋美術史 井上 大講義室			●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習3 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室				●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習3 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室
			○近代装飾デザイン史 天貝 講義室3					●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3 ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （山岡・今中を除く） 各実習室・講義室3				●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3 ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （山岡・今中を除く） 各実習室・講義室3
								●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 2 官能・坂本・孔・ﾍﾞ・水田 各デザイン室				●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 2 官能・坂本・孔・ﾍﾞ・水田 各デザイン室
								●景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3A・B・C 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員（菅原を除く） 各ﾃﾞｻﾞｲﾝ室				●景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3A・B・C 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員（菅原を除く） 各ﾃﾞｻﾞｲﾝ室
5 16:10 ～ 17:40	▲科学と人間 非常勤 講義室2	★教育心理学1 非常勤 大講義室	▲異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論 非常勤 講義室1		●東北造形史 澤田、井上、志邨 大講義室	▲環境と生態 非常勤 講義室2		●ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習3 ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室	★スポーツと健康1 非常勤 体育館・グラウンド	★工芸科教育法概論 尾澤 講義室1	★絵画2（教職課程） 鈴木 絵画実習室4	●ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習3 ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室
			★教育相談 非常勤3名 講義室3					●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習3 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室		○デザイン史特講 天貝 講義室2		●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習3 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室
								●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3 ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （山岡・今中を除く） 各実習室・講義室3				●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3 ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （山岡・今中を除く） 各実習室・講義室3
								●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 2 官能・坂本・孔・ﾍﾞ・水田 各デザイン室				
								●景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3A・B・C 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員（菅原を除く） 各ﾃﾞｻﾞｲﾝ室				

木				金			
1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
▲韓国語1 非常勤 CALL室	★彫刻基礎演習 芝山 石彫室			●総合英語1 大八木 CALL室	●現代芸術論C(ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ) 高嶺、大谷 大講義室		
★図学・製図演習 山内 大講義室・製図実習室	★日本建築史1 澤田 講義室2						
		●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 1A～1F ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 (松本・今中を除く) 各実習室・講義室3				●地域産業研究 ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 共通デザイン室	
▲日本語表現演習 非常勤 講義室1	▲ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門 野村 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室1	●ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ演習1 ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室		●総合英語1 大八木 CALL室	●現代芸術論D(ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ) ベ、水田 大講義室	●ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ演習1 ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室	
★図学・製図演習 山内 大講義室・製図実習室	★美術科教育法概論 尾澤 講義室2	●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習1 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室				●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習1 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室	
		●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 1A～1F ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 (松本・今中を除く) 各実習室・講義室3					●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3 山岡 木工実習室・講義室3
		●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ論 水田 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室6				●3D・CG表現演習1 非常勤3名 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7	
						●CAD演習1(建築) 小杉 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室1	
●情報リテラシー1 野村 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室1	○ものづくり製図演習 今中 製図実習室	●ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ演習1 ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室		●美術理論・美術史 天貝・井上 大講義室	▲中国語1 非常勤 CALL室	●ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ演習1 ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室	
		●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習1 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室			◇博物館資料保存論 志邨 講義室4	●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習1 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室	
		●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 1A～1F ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 (松本・今中を除く) 各実習室・講義室3					●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3 山岡 木工実習室・講義室3
		●ウェブデザイン論 ベ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室6				●映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 坂本 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7	
		●景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ論 山内 共通デザイン室				●CAD演習1(建築) 小杉 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室1	
帯授業 ●①(1～4週)素描表現 安藤(康) 講義室1	▲食文化論 非常勤 講義室4	●ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ演習1 ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室		帯授業 ●①(1～4週)素描表現 安藤(康) 講義室1	○DTPデザイン演習 水田 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室4	●ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ演習1 ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室	
		●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習1 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室				●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習1 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室	
●②(5～8週)素描表現 熊谷 講義室1			●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3 山岡 木工実習室・講義室3	●②(5～8週)素描表現 熊谷 講義室1		●ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習2 今中 講義室4	●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3 山岡 木工実習室・講義室3
●③(9～12週)素描表現 森 講義室1		●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 1A(ﾀｲﾎﾟｸﾞﾗﾌｨ) 官能 ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝ室1		●③(9～12週)素描表現 森 講義室1		●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 1B(ﾎﾟｽﾀｰ) 坂本 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7	
		●景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習1 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員(菅原を除く) 共通デザイン室				●景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習1 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員(菅原を除く) 共通デザイン室	
帯授業 ●①(1～4週)素描表現 安藤(康) 講義室1	○映像デザイン基礎 非常勤２名 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室７	●ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ演習1 ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室		帯授業 ●①(1～4週)素描表現 安藤(康) 講義室1	○構成論 金 講義室4	●ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ演習1 ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ教員 各実習室・素描室	
		●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習1 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室				●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習1 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室	
●②(5～8週)素描表現 熊谷 講義室1		●ﾌﾟﾛﾀﾞｸﾄﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 今中 講義室2	●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3 山岡 木工実習室・講義室3	●②(5～8週)素描表現 熊谷 講義室1		●2D・3D CAD演習 今中 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室1	●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習3 山岡 木工実習室・講義室3
●③(9～12週)素描表現 森 講義室1		●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 1A(ﾀｲﾎﾟｸﾞﾗﾌｨ) 官能 ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝ室1		●③(9～12週)素描表現 森 講義室1		●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 1B(ﾎﾟｽﾀｰ) 坂本 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7	
		●景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習1 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員(菅原を除く) 共通デザイン室				●景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習1 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員(菅原を除く) 共通デザイン室	

集中講義（1年）	▲美術の社会実践論 非常勤 講義室１
	★彫刻原論 非常勤(北郷) 講義室4
	○写真基礎演習 非常勤 ﾊﾟｯｹｰｼﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ室・ スタジオ・暗室
	○英語による 現代美術評論1 非常勤 大講義室
集中講義（2年）	○英語による 現代美術評論2 非常勤 講義室3
集中講義（3年）	●文化行政学 非常勤 講義室2
	●都市デザイン論 非常勤 共通デザイン室

●必修科目

◎選択必修科目

★教職関係科目
（必修・選択必修を除く）

○専門科目
（必修・選択必修・教職関係を除く）

▲教養・キャリア科目
（必修・選択必修・教職関係を除く）

◇学芸員関係科目

秋田公立美術大学時間割_後期

	月				火				水			
	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
1 8:50 ～ 10:20	▲日本文学 非常勤 講義室3	○彫刻素材基礎演習 島屋 鋳金実習室・木工室・ｶﾞﾗｽ実習室・石彫室		●卒業研究	★情報リテラシー2 野村 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室1	帯授業		●卒業研究	★構成演習 金、孔 講義室1	帯授業	○近代デザイン史演習 天貝 講義室2	
	○ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習 坂本 講義室1	○デザインサーベイ 山内、菅原 共通デザイン室				○①(1～4週)ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ基礎演習 岩井 立体・ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ室				○①(1～4週)ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ基礎演習 岩井 立体・ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ室		
						○②(5～8週)ﾊﾌｫｰﾏﾝｽ基礎演習 高嶺 体育館・ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・立体・ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ室				○②(5～8週)ﾊﾌｫｰﾏﾝｽ基礎演習 高嶺 体育館・ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・立体・ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ室		
						★③・④(9～16週)ﾒﾃﾞｨｱｱｰﾄ基礎演習 阿部 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7・立体・ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ室				★③・④(9～16週)ﾒﾃﾞｨｱｱｰﾄ基礎演習 阿部 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7・立体・ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ室		
2 10:30 ～ 12:00	▲心理学 非常勤 講義室2	★工芸科指導法 尾澤 講義室1		●卒業研究	★教育学原論1 池亀 講義室2	帯授業		●卒業研究	★構成演習 金、孔 講義室1	帯授業		
		○ﾃﾞｻﾞｲﾝﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ演習 菅原 共通デザイン室				○①(1～4週)ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ基礎演習 岩井 立体・ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ室				○①(1～4週)ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ基礎演習 岩井 立体・ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ室		
						○②(5～8週)ﾊﾌｫｰﾏﾝｽ基礎演習 高嶺 体育館・ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・立体・ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ室				○②(5～8週)ﾊﾌｫｰﾏﾝｽ基礎演習 高嶺 体育館・ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ・立体・ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ室	●ものづくりﾃｻﾞｲﾝ演習2 G(椅子) 松本 木工実習室・講義室3	
						★③・④(9～16週)ﾒﾃﾞｨｱｱｰﾄ基礎演習 阿部 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7・立体・ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ室				★③・④(9～16週)ﾒﾃﾞｨｱｱｰﾄ基礎演習 阿部 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7・立体・ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ室		
3 12:50 ～ 14:20	★西洋美術史 非常勤 大講義室	▲文芸演習 大八木 講義室2		●卒業研究	●総合英語2 大八木 CALL室	帯授業 （週が重ならないように2コマ選択）		●卒業研究	●現代芸術論A(ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ) 芝山、山内、小杉 大講義室	★美術科指導法 尾澤 講義室1		
	◇生涯学習概論 非常勤 講義室4	★イラストレーション基礎演習 小田 絵画実習室4				◎①(1～8週)or②(9～16週)現代芸術演習A1 (ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ) ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ教員 講義室4・各実習室				★総合英語4 大八木 CALL室		
		★美術科指導法演習 尾澤 講義室1				◎①(1～8週)or②(9～16週)現代芸術演習A2 (景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ) 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 (菅原を除く) 共通デザイン室						
						◎①(1～8週)or②(9～16週)現代芸術演習B (ものづくり) ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 (松本・今中を除く) 講義室3・各実習室					●ものづくりﾃｻﾞｲﾝ演習2 G(椅子) 松本 木工実習室・講義室3	
						◎①(1～8週)or②(9～16週)現代芸術演習C (ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ) ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 講義室1・立体・ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ室						
						◎①(1～8週)or②(9～16週)現代芸術演習D (ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ) ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 (金を除く)、小田 講義室2						
4 14:30 ～ 16:00	▲英会話2 非常勤 CALL室	▲情報数学入門 野村 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室1		●卒業研究	○絵画材料演習 鈴木 絵画実習室4	帯授業 （週が重ならないように2コマ選択）	○ブックデザイン 水田 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室4	●卒業研究	★工芸演習2(教職課程) 安藤(郁) 講義室1	★塑像表現2 皆川 彫塑実習室		★教職実践演習(中・高) 毛内、池亀、尾澤 講義室4
		★美術科指導法演習 尾澤 講義室1				◎①(1～8週)or②(9～16週)現代芸術演習A1 (ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ) ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ教員 講義室4・各実習室				★総合英語4 大八木 CALL室		
		★日本建築史2 澤田 講義室4				◎①(1～8週)or②(9～16週)現代芸術演習A2 (景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ) 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 (菅原を除く) 共通デザイン室						
						◎①(1～8週)or②(9～16週)現代芸術演習B (ものづくり) ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 (松本・今中を除く) 講義室3・各実習室					●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習2 G(椅子) 松本 木工実習室・講義室3	
						◎①(1～8週)or②(9～16週)現代芸術演習C (ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ) ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 講義室1・立体・ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ室					●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習1D(ﾊﾟｯｹｰｼﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ) 孔 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7	
						◎①(1～8週)or②(9～16週)現代芸術演習D (ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ) ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 (金を除く)、小田 講義室2						
5 16:10 ～ 17:40	▲韓国語2 非常勤 講義室3	▲中国語2 非常勤 CALL室		●卒業研究	★教育課程・方法論 池亀 講義室4	★介護等体験実習 非常勤 講義室1		●卒業研究	★工芸演習2(教職課程) 安藤(郁) 講義室1	★塑像表現2 皆川 彫塑実習室		★教職実践演習(中・高) 毛内、池亀、尾澤 講義室4
	★スポーツと健康2 非常勤 体育館・ｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ	◇博物館経営論 非常勤 講義室1			◇博物館概論 志邨 講義室3	○現代絵画基礎演習 大谷 絵画実習室4				○地域産業とデザイン 五十嵐 大講義室		
											●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習2 G(椅子) 松本 木工実習室・講義室3	
											●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習1D(ﾊﾟｯｹｰｼﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ) 孔 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7	

木				金			
1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年
▲生活とデザイン 五十嵐 大講義室	○建築モデル演習 石垣 共通デザイン室	○ｼﾙｸﾛｰﾄﾞ図像学2 井上 講義室3		★デザイン基礎演習 渡邉 講義室1	★教育学原論2 池亀 講義室2	★絵画表現演習2（教職課程） 鈴木 絵画実習室4	
★工芸演習1（教職課程） 山岡 講義室1	◇博物館展示論 志郇 講義室2			○ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習 坂本 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7	○ﾃｷｽﾀｲﾙ表現基礎演習 長沢 織実習室		
★工芸演習1（教職課程） 山岡 講義室1	商品計画演習 渡邉 共通デザイン室	●ｱｰﾄﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習 ｱｰﾂ&ルーツ教員 講義室2		★デザイン基礎演習 渡邉 講義室1	▲ﾌﾛｸﾗﾐﾝｸ 演習2 野村 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室1	●ｱｰﾂ&ルーツ演習2 ｱｰﾂ&ルーツ教員 各実習室・素描室	
◇博物館教育論 志郇 講義室4	★造形表現基礎（ﾃﾞｯｻﾝ） （教職課程） 鈴木 絵画実習室4	●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習2 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室			○ﾀｲﾎﾟｸﾞﾗﾌｨ基礎演習 官能 ｸﾞﾗﾌｨｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝ室1	●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習2 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室	
		●ものづくりﾃｻｲﾝ演習 2A～2F ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （松本を除く） 各実習室・講義室3				●ものづくりﾃｻｲﾝ演習 2A～2F ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （松本・今中を除く） 各実習室・講義室3	
		●CAD演習2（景観） 山内 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室3					
●総合英語2 大八木 CALL室	●キャリアデザイン1 渡邉 大講義室			●総合英語2 大八木 CALL室	★絵画1（教職課程） 鈴木 絵画実習室4		
		●ｱｰﾄﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習 ｱｰﾂ&ルーツ教員 講義室2			○ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習 ペ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室6	●ｱｰﾂ&ルーツ演習2 ｱｰﾂ&ルーツ教員 各実習室・素描室	
		●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習2 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室				●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習2 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室	
		●ものづくりﾃｻｲﾝ演習 2A～2F ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （松本を除く） 各実習室・講義室3				●ものづくりﾃｻｲﾝ演習 2A～2F ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （松本・今中を除く） 各実習室・講義室3	
		●3D・CG表現演習2 非常勤3名 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室6					
		●CAD演習2（景観） 山内 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室3				●景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習2 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員（菅原を除く） 共通デザイン室	
●現代芸術論B（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ） 松本、今中 大講義室				●日本美術史 志郇 大講義室	▲ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習1 官能 講義室1		
		●ｱｰﾂ&ルーツ演習2 ｱｰﾂ&ルーツ教員 各実習室・素描室				●ｱｰﾂ&ルーツ演習2 ｱｰﾂ&ルーツ教員 各実習室・素描室	
		●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習2 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室				●ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習2 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室	
		●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 2A～2F ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （松本・今中を除く） 各実習室・講義室3				●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 2A～2F ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （松本・今中を除く） 各実習室・講義室3	
		●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習1 E（ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ） ペ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室6				●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習1 F（ｴﾃﾞｨﾄﾘｱﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ） 水田 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7	
		●景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習2 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員（菅原を除く） 共通デザイン室				●景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習2 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員（菅原を除く） 共通デザイン室	
★近代絵画史 志郇 大講義室		●ｱｰﾂ&ルーツ演習2 ｱｰﾂ&ルーツ教員 各実習室・素描室		★デザイン史 天貝 大講義室		●ｱｰﾂ&ルーツ演習2 ｱｰﾂ&ルーツ教員 各実習室・素描室	
○ｺﾝﾋｭｰﾀ表現演習 孔 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7		●ﾋﾞｼｭｱﾙｱｰﾂ演習2 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室				●ﾋﾞｼｭｱﾙｱｰﾂ演習2 ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ教員 各実習室	
		●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 2A～2F ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （松本・今中を除く） 各実習室・講義室3				●ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 2A～2F ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ教員 （松本・今中を除く） 各実習室・講義室3	
		●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習1 E（ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ） ペ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室6				●ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習1 F（ｴﾃﾞｨﾄﾘｱﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ） 水田 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ室7	
		●景観ﾃｻｲﾝ演習2 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員（菅原を除く） 共通デザイン室				●景観ﾃｻｲﾝ演習2 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ教員（菅原を除く） 共通デザイン室	

集中講義（2年）	○知的財産と運用 非常勤 講義室4
集中講義（3年）	●古美術研究 井上、澤田 講義室2
集中講義（4年）	★教育実習事前事後指導 毛内、池亀、尾澤 講義室1

●必修科目

◎選択必修科目

★教職関係科目
（必修・選択必修を除く）

○専門科目
（必修・選択必修・教職関係を除く）

▲教養・キャリア科目
（必修・選択必修・教職関係を除く）

◇学芸員関係科目

資料24

ＧＰＡ（Grade Point Average）制度を用いた成績評価について

１ 導入の目的

教育の質を確保する観点から、国際的に通用し、公平性・透明性に優れた基準であるGrade PointAverage（評定平均値。以下「GPA」とする。）制度を全学的に導入する。ＧＰＡは成績を数値化して成績を評価するため、定期試験等の成績評価を秀～不可、および不合格で表示し、「不可」と「不合格」に単位を与えないものとする。

これにより、学生が自ら主体的な学習計画を立て、意欲的な授業への参加を促すとともに、大学側も学生の学習到達度を客観的に把握し，成績不振者の早期発見・教員による早期対策など適切な修学指導を行うことを目的とする。

また、単位の実質化を踏まえ、セメスター制、キャップ制、シラバス等と連動させながら、学習成果の達成度の向上等を図る。

ＧＰＡ制度は米国の大学における一般的な成績評価方法であることから、教育の国際化への対応や他大学との成績評価制度の互換性を高めることにもつながる。

将来的には、進級、卒業要件等への活用も視野に、運用を見極める。

２ ＧＰＡの計算方法

ＧＰＡの計算方法と各授業科目の成績に基づくＧＰ（グレードポイント）は次のとおりである。

○各授業科目の成績に基づくＧＰ（グレードポイント）

標 語	成 績	GP（ｸﾞﾚｰﾄﾞﾎﾟｲﾝﾄ）
秀	90点以上	4.0
優	80～89点	3.0
良	70～79点	2.0
可	60～69点	1.0
不可（不合格）	60点未満	0
不合格	受験資格の喪失 （出席数不足等）	0
合格	大学で認めた評価	GP対象外
履修中止	所定の手続きを経て 履修を中止したもの	GP対象外

○ＧＰＡの計算方法

ＧＰＡ＝（GP×当該科目の単位数）の総和／履修総単位数

※GPAの対象となる科目は、原則として、次の(1)(2)以外の授業科目とする。

(1)成績評点を付さず「合格」・「不合格」等で評価する科目（合否判定科目等）

(2)編入学又は転入学した細の単位認定科目、本学に入学前に修得した単位認定科目など（ただし、秀、優、良、可、不可の評価をつけて単位認定された場合は，通算GPAに参入する。）

３ 成績評価基準

信頼性の高いＧＰＡ制度とするため、成績評価の評価項目を明確にするなど、公平性・透明性の高い成績評価を確立する。

４ 学修指導（セメスター制との連動）

各セメスター終了時、低ＧＰＡ取得者に対し、履修指導や学修支援を行うとともに、学業離脱者を出さないよう適宜適切な学修指導を行う。

５ 成績の利用法

(1) 履修登録上限単位数の特例措置の認定（キャップ制との連動）

(2) 奨学金等の成績基準

(3) 学長表彰等の成績基準

秋田公立美術大学教室等一覧表

資料25

	階数	床面積(㎡)	講義室	演習室	実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	その他
講義棟A								
講義室1	2	116.81	1					
大講義室	2	241.80	1					
絵画実習室1	2	123.38			1			
絵画実習室2	2	78.00			1			
絵画実習室3	2	36.26			1			
コンピュータ室1	1	97.49				1		
コンピュータ室2	1	97.65				1		
講義室4	1	91.35	1					
製図実習室	1	119.78			1			
講義室2	1	116.10	1					
講義室3	1	91.35	1					
講義棟B								
スタジオ	2	125.90			1			
ウェブデザイン室	2	66.15		1				
CALL室	2	91.35					1	
イラストレーション室	2	125.90		1				
パッケージデザイン室	2	113.40		1				
コンピュータ室3	1	97.49				1		
コンピュータ室4	1	94.50				1		
コンピュータ室5	1	91.35				1		
コンピュータ室6	1	145.82				1		
コンピュータ室7	1	139.68				1		
講義棟C								
グラフィックデザイン室1	2	144.74		1				
グラフィックデザイン室2	2	47.25		1				
公共デザイン室	2	47.25		1				
建築歴史・意匠室	2	47.25		1				
共通デザイン室	2	144.74		1				
絵画実習室4	2	138.60			1			
漆風呂室	1	40.42			1			
塗装実習室	1	24.40			1			
漆実習室1	1	79.92			1			
漆実習室2	1	47.25			1			
染色実習室2	1	47.25			1			
織実習室1	1	97.49			1			
糸染め室	1	23.55			1			
染色実習室1	1	124.50			1			
実習棟A								
構成室	2	121.03		1				
織実習室2	2	99.75			1			
デザイン計画室	1	40.18		1				
塗装室	1	11.10						作業室
建築デザイン室	1	69.63		1				
モデル制作室	1	140.34		1				
素描室	1	151.89		1				
彫塑実習室	1	152.05			1			
彫塑準備室	1	25.94						準備室

秋田公立美術大学教室等一覧表

	階数	床面積(㎡)	講義室	演習室	実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	
実習棟B								
彫金実習室1	1	85.36			1			
彫金実習室2	1	25.14			1			
金工準備室	1	19.17						準備室
金工機械室	1	55.50			1			
金工仕上室	1	49.62			1			
鋳物場	1	110.96			1			
木工塗装室	1	32.76			1			
金工着色塗装室	1	33.23			1			
鋳金実習室	1	53.21			1			
ガラス資材室	1	16.80						資材室
ガラス準備室	1	16.40						準備室
ガラス実習室	1	23.70			1			
石膏造型室	1	41.90			1			
実習棟C								
木工材料保管室	1	13.20						資材室
集塵機室	1	12.00						機械室
木工機械室	1	176.42			1			
木工実習室1	1	65.99			1			
木工実習室2	1	28.51			1			
木工準備室	1	19.22						準備室
陶芸実習室	1	106.57			1			
ガラス加工室	1	27.45			1			
ガラス成形・窯室	1	187.39			1			
工芸体験棟								
木材・金属工芸室	1	167.49			1			
造形室	1	49.17			1			
ガラス工芸室	1	77.66			1			
織物工芸室	1	48.76			1			
創作工房棟								
制作室2	2	151.75		1				
ビジュアルアーツ構想室	2	145.00		1				
立体・インスタレーション室	1	178.14		1				
制作室1	1	178.14		1				
ビジュアルアーツ資材室	1	60.00						資材室
ビジュアルアーツ準備室	1	50.00						準備室
ミーティングルーム1	1	16.24						会議室
ミーティングルーム2	1	18.43						会議室
器具庫	1	25.00						資材室
彫刻実習棟								
石彫室	1	109.39			1			
造形室	1	46.60			1			
木彫室	1	51.77			1			
彫刻準備室	1	6.00						準備室
合計			講義室	演習室	実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	その他
			5	**17**	**39**	**7**	**1**	**14**

資料26

秋田公立美術工芸短期大学附属図書館
所蔵図書内訳(分類別)

単位(冊)

分類(日本十進分類法による)		冊数	
		平成23年3月31日現在	開学前準備購入
総記	百科事典、叢書・全集・選集等	3,076	0
哲学	心理学、西洋哲学、宗教、哲学各	1,392	20
歴史	日本史、地理・地誌・紀行、ヨーロッパ史・西洋史等	2,620	20
社会科学	経済、風俗習慣・民俗学・民族学、法律、教育等	3,368	250
自然科学	動物学、数学、自然科学等	2,616	0
技術	建築学、家政学・生活科学、建築工学・土木工学等	6,016	60
産業	商業、演芸、農業等	1,210	80
芸術	絵画・書道、工芸、写真・印刷、彫刻等	16,421	400
言語	英語、日本語、中国語・東洋の諸言語等	1,038	0
文学	日本文学、英米文学、中国文学・東洋文学等	2,894	0
	総計	40,651	830

受入雑誌 （平成23年9月現在、継続受入中のもの）

資料27

洋雑誌

通番	書名
1	ABITARE
2	AMERICAN CRAET
3	APOLLO
4	ART FORUM
5	ART IN AMERICA
6	Art Journal
7	ART news
8	Communication Arts
9	domus
10	ELLE DECOR
11	ELLE DECORATION
12	Fine Woodworking
13	Form
14	GLASS
15	INTERIOR DESIGN
16	I' ARCA
17	L'UOME-VOGUE
18	MAISON FRANCAISE
19	marie claire Maison
20	Neues Glas/ NEW Glass
21	OTTAGONO
22	OXFORD ART JORNAL
23	ROAD & TRACK
24	Schmuck MAGAZIN
25	School arts
26	sculpture
27	Stil & markt
28	THE ART BULLETIN
29	the artist
30	VAV MAGASINET
31	VOGUE

洋雑誌 31タイトル

和雑誌

通番	書名
1	a+u
2	AXIS
3	Casa BRUTUS
4	CG WORLD
5	Cut
6	GA DOCUMENT
7	GA JAPAN
8	illustration
9	JEWEL
10	KYOTO
11	Mac People
12	MdN
13	MOE
14	NIKKEI DESIGN
15	pen
16	SWITCH
17	Web Designing
18	アイデア
19	秋田タウン情報
20	アサヒカメラ
21	イラストノート
22	エルデコ
23	芸術新潮
24	芸大美大を目指す人へ
25	月刊美術
26	月刊文化財
27	現代詩手帖
28	現代のエスプリ
29	公募ガイド
30	コマーシャル・フォト
31	コンフォルト
32	四月と十月
33	商店建築
34	情報処理
35	照明学会誌
36	新建築
37	装苑
38	ソトコト
39	デザインノート
40	陶工房
41	七緒
42	日本漆工
43	日本カメラ
44	日本の美術
45	版画芸術
46	ぴあ
47	美術手帖
48	美術の窓
49	プリンツ21
50	ブレーン
51	宝石の四季
52	炎芸術
53	モダンリビング
54	ユリイカ
55	流行色
56	和楽
—	ぴあ （2011年7月で休刊）

和雑誌 56タイトル

小学校教育実習　実習施設及び実習生受入人数

資料28

連番	実習施設名	所在地	学級数(2011.12.1現在)	実習生受入人数
1	秋田市立保戸野小学校	秋田市保戸野すわ町9番60号	10	1
2	秋田市立明徳小学校	秋田市千秋公園1番13号	10	1
3	秋田市立築山小学校	秋田市楢山古川新町55番地の1	14	2
4	秋田市立旭北小学校	秋田市山王三丁目1番35号	12	1
5	秋田市立中通小学校	秋田市中通五丁目8番22号	9	1
6	秋田市立旭南小学校	秋田市旭南一丁目15番1号	12	1
7	秋田市立牛島小学校	秋田市牛島東六丁目6番1号	18	2
8	秋田市立川尻小学校	秋田市川尻みよし町8番31号	15	2
9	秋田市立旭川小学校	秋田市手形字才の浜63番地	18	2
10	秋田市立土崎小学校	秋田市土崎港中央三丁目1番78号	7	1
11	秋田市立港北小学校	秋田市土崎港北四丁目6番1号	21	3
12	秋田市立土崎南小学校	秋田市土崎港東一丁目6番39号	11	1
13	秋田市立高清水小学校	秋田市将軍野南一丁目2番16号	12	1
14	秋田市立広面小学校	秋田市広面字蟹沢29番地	19	2
15	秋田市立日新小学校	秋田市新屋栗田町24番1号	26	3
16	秋田市立勝平小学校	秋田市新屋松美ガ丘北町14番1号	23	3
17	秋田市立太平小学校	秋田市太平目長崎字上目長崎144番地	6	1
18	秋田市立外旭川小学校	秋田市外旭川字梶ノ目262番地2	18	2
19	秋田市立飯島小学校	秋田市飯島鼠田二丁目2番1号	18	2
20	秋田市立下新城小学校	秋田市下新城笠岡字佐戸反10番地	6	1
21	秋田市立上新城小学校	秋田市上新城五十丁字大村屋敷22番地	3	0
22	秋田市立浜田小学校	秋田市浜田字自在山47番地の2	6	1
23	秋田市立豊岩小学校	秋田市豊岩豊巻字内縄尻90番地	4	0
24	秋田市立仁井田小学校	秋田市仁井田本町四丁目7番1号	18	2
25	秋田市立四ツ小屋小学校	秋田市四ツ小屋字街道東256番地の1	11	1
26	秋田市立上北手小学校	秋田市上北手猿田字館の下38番地	6	1
27	秋田市立下北手小学校	秋田市下北手松崎字谷崎202番地の1	6	1
28	秋田市立下浜小学校	秋田市下浜羽川字水垂92番地	6	1
29	秋田市立金足西小学校	秋田市金足大清水字大清水台1番地	7	1
30	秋田市立八橋小学校	秋田市八橋大沼町7番1号	13	2
31	秋田市立東小学校	秋田市東通二丁目11番1号	14	2
32	秋田市立泉小学校	秋田市泉中央六丁目2番1号	17	2
33	秋田市立大住小学校	秋田市仁井田字西潟敷33番地	20	3
34	秋田市立桜小学校	秋田市桜四丁目12番1号	27	3
35	秋田市立飯島南小学校	秋田市飯島西袋一丁目1番2号	15	2
36	秋田市立寺内小学校	秋田市寺内堂ノ沢二丁目14番1号	13	2
37	秋田市立御所野小学校	秋田市御所野元町五丁目1番1号	18	2
38	秋田市立岩見三内小学校	秋田市河辺三内字外川原39番地	6	1
39	秋田市立河辺小学校	秋田市河辺和田字岡村164番地1	8	1
40	秋田市立戸島小学校	秋田市河辺戸島字本町123番地	6	1
41	秋田市立川添小学校	秋田市雄和椿川字長者屋敷36番地1	6	1
42	秋田市立種平小学校	秋田市雄和種沢字戸草沢209番地	3	0
43	秋田市立戸米川小学校	秋田市雄和戸賀沢字金山沢90番地1	6	1
44	秋田市立大正寺小学校	秋田市雄和新波字寺沢32番地8	5	0

中学校教育実習　実習施設及び実習生受入人数

連番	実習施設名	所在地	学級数(2011.12.1現在)	実習生受入人数
1	秋田市立秋田東中学校	秋田市手形休下町10番51号	14	2
2	秋田市立秋田南中学校	秋田市南通宮田15番1号	12	2
3	秋田市立山王中学校	秋田市山王三丁目1番24号	17	3
4	秋田市立土崎中学校	秋田市土崎港北一丁目3番1号	14	2
5	秋田市立秋田西中学校	秋田市新屋大川町19番75号	15	2
6	秋田市立太平中学校	秋田市太平中関字平形46番地	3	0
7	秋田市立外旭川中学校	秋田市外旭川字梶ノ目50番地	9	1
8	秋田市立秋田北中学校	秋田市下新城中野字街道端西241番地の90	9	1
9	秋田市立豊岩中学校	秋田市豊岩豊巻字内縄尻90番地	3	0
10	秋田市立城南中学校	秋田市楢山城南町4番1号	18	3
11	秋田市立下北手中学校	秋田市下北手松崎字走り崎14番地	3	0
12	秋田市立下浜中学校	秋田市下浜羽川字水垂92番地	3	0
13	秋田市立城東中学校	秋田市広面字鍋沼17番地	14	2
14	秋田市立泉中学校	秋田市泉北二丁目6番1号	20	3
15	秋田市立将軍野中学校	秋田市将軍野南一丁目12番1号	10	1
16	秋田市立御野場中学校	秋田市仁井田字中新田223番地	18	4
17	秋田市立勝平中学校	秋田市新屋北浜町13番1号	12	3
18	秋田市立飯島中学校	秋田市飯島字田尻堰越48番地	14	2
19	秋田市立桜中学校	秋田市桜台一丁目1番1号	12	2
20	秋田市立御所野学院中学校	秋田市御所野地蔵田四丁目1番1号	11	2
21	秋田市立岩見三内中学校	秋田市河辺三内字外川原39番地	3	0
22	秋田市立河辺中学校	秋田市河辺北野田高屋字雷谷地84番地	6	0
23	秋田市立雄和中学校	秋田市雄和石田字蟹沢40番地	5	1

高等学校教育実習　実習施設及び実習生受入人数

連番	実習施設名	所在地	学級数(2011.12.1現在)	実習生受入人数
1	秋田市立秋田商業高等学校	秋田市新屋勝平台1番1号	18	0
2	秋田市立御所野学院高等学校	秋田市御所野地蔵田四丁目1番1号	6	0

資料29

博物館実習施設一覧

博物館等の名称	博物館区分	受入人数	所在地	連絡先
秋田県立美術館	登録博物館	20人	秋田県秋田市千秋明徳町3番7号	018-860-5186
秋田県立近代美術館	登録博物館	8人	秋田県横手市赤坂字富ヶ沢62－46	0182-33-8855
秋田県立博物館	登録博物館	10人	秋田県秋田市金足鳰崎字後山52	018-873-4121
秋田市立千秋美術館	登録博物館	5人	秋田県秋田市中通二丁目3－8	018-836-7860

資料30

秋田公立美術大学実習連絡協議体制

実習の前後に、実習計画等の協議や意見交換を開き、実習を効果的かつ円滑に実施する。

1　協議先

(1) 教育実習関係

①専任教員

②秋田市教育委員会学校教育課

③実習校の校長

④実習校の実習指導者

(2) 博物館実習関係

①専任教員

②教育委員会

③実習施設の施設長

④実習施設の実習指導者

(3) 学外実習（インターンシップ）

①専任教員

②秋田市総務部人事課

③実習施設の代表者

④実習施設の実習指導者

2　実習先での協議内容

(1) 実習の内容と目的

(2) 実習時期・期間・人数

(3) 実習中の実習生の責任に起因する事故に関する保障

(4) 実習生の移動時（自宅～実習先）の事故に関する保障

(5) 実習生の過失により生じた物損等に関する保障

(6) 実習生の言動に起因し生じた秘密の漏洩等により、賠償責任が生じた場合の保障

(7) 事故に関する受入れ施設の対応窓口および責任者に関すること

(8) 受入れ施設の実習受入れ要項・要領等に関すること

資料31

介護等体験施設一覧

	施設名	区分	〒	住所1	住所2	受入可能人数
1	秋田県身体障害者更生訓練センター	身障	010-1602	秋田市新屋	下川原町2－3	38
2	オリブ園	難聴幼児通園施設	010-1638	秋田市新屋表町8－5		3
3	三楽園	介護老人保健施設	011-0911	秋田市飯島字堀川	84の20	2
4	ウエルビューいずみ	知的	010-0817	秋田市泉菅野二丁目17-27		2
5	高清水園	知的障害児・者併設	010-1406	秋田市上北手猿田	字猪苗代沢14－1	10
6	かみの里	介護老人保健施設	010-1407	秋田市上北手百崎	字二夕子沢1－6	16
7	あいぜん苑	介護老人保健施設	010-0134	秋田市上新城道川	字愛染58	8
8	愛心苑	知的	010-0113	秋田市金足浦山	字岩崎174	2
9	一つ森	特別養護老人ホーム	010-1403	秋田市上北手荒巻字鳥越	229－1	3
10	サンハウス	知的	010-1403	秋田市上北手荒巻	字荒巻312	5
11	秋田聖徳会若草ハイム	母子	010-0935	秋田市川元小川町1－4		12
12	桜の園	介護老人保健施設	010-0057	秋田市下北手梨平	字登舘8	4
13	ほくと	身障	010-0146	秋田市下新城中野	字街道端西11－1	3
14	魁聖園	特別養護老人ホーム	010-0826	秋田市新藤田	字治郎沢52－6	9
15	なぎさ	介護老人保健施設	011-0946	秋田市土崎港	中央4－4－23	5
16	秋田婦人ホーム	母子	010-0026	秋田市楢山	古川新町41－2	30
17	友愛の郷	介護老人保健施設	010-1654	秋田市浜田字元中村	280の29	3
18	秋田赤十字乳児院	乳児院	010-0041	秋田市広面	字釣瓶町100－3	40
19	柳田新生寮	知的	010-0825	秋田市柳田字竹生197		5
20	杉の木園	知的	010-0823	秋田市山内字上台15－2		3
21	秋田いなほ会福祉作業所	知的	010-1429	秋田市山手台2-17		2
22	雄高園	身障	010-1232	秋田市雄和戸賀沢	字金山沢89－29	2
23	ふれ愛の里	介護老人保健施設	010-1407	秋田市豊岩小山	字中山216－27	2
24	若竹学園	知的障害児施設	010-0044	秋田市横森	二丁目24－7	16
25	河辺荘	特別養護老人ホーム	019-2632	秋田市河辺大張野	字水口沢216	2
26	海松園	特別養護老人ホーム	016-0014	秋田市下新城中野	字街道端西233-47	2
27	やすらぎホームけやき	特別養護老人ホーム	010-1412	秋田市御所野	下堤5-1-5	6
28	高清水寿光園	特別養護老人ホーム	018-3301	秋田市寺内後城6-41		8
29	幸楽園	特別養護老人ホーム	010-0136	秋田市上新城中	字片野4	4
30	リンデンバウムいずみ	特別養護老人ホーム	010-0817	秋田市泉菅野二丁目17－11		3
31	松濤園	特別養護老人ホーム	010-1654	秋田市浜田	字陳ケ原35-31	6
32	大館園	介護老人保健施設	017-0025	大館市芦田南275		3
33	白百合ホーム	母子	017-0845	大館市泉町7－20		23
34	長慶荘	特別養護老人ホーム	018-3501	大館市岩瀬字	字羽貫谷地中島21-90	5
35	軽井沢福祉園	知的	018-5604	大館市軽井沢	字鳶ヶ長根3	2
36	養護老人ホーム成章園	養護老人ホーム	018-5604	大館市軽井沢	字下岱20－20	11
37	成寿苑	介護老人保健施設	017-0012	大館市釈迦内	字狼穴79	2
38	つくし苑	特別養護老人ホーム	018-5601	大館市十二所	字大水口4－5	36
39	矢立育成園	知的	017-0002	大館市白沢	字白沢851	10
40	白沢通園センター	知的	017-0002	大館市白沢	字白沢521－8	2
41	道目木更生園	知的	018-5602	大館市道目木	字陣馬岱38	2
42	山館苑	特別養護老人ホーム	017-0838	大館市山館	字館の下12－1	11
43	玉の池ワークハウス	知的	010-0663	男鹿市男鹿中滝川	字寒風山横道116	13
44	樹園養護老人ホーム	養護老人ホーム	010-0523	男鹿市船川港女川	字鵜ノ崎130－1	36
45	男鹿の郷	介護老人保健施設	010-0344	男鹿市脇本字富永	字南前田72	3
46	ひばり野園	知的	012-1115	雄勝郡羽後町足田	字七窪27－1	14
47	五輪坂ひなげしの里	知的	012-1115	雄勝郡羽後町足田	字古堤上21-2	9
48	松籟苑	特別養護老人ホーム	012-1103	雄勝郡羽後町林崎	字五林坂7	20
49	ほのぼの苑	介護老人保健施設	018-1401	潟上市昭和大久保	字街道下92－1	6

	施設名	区分	〒	住所1	住所2	受入可能人数
50	昭寿苑	特別養護老人ホーム	018-1401	潟上市昭和大久保	字北野海老漁沼端74-3	2
51	くらかけの里	介護老人保健施設	010-0201	潟上市天王	字鶴沼台43－231	2
52	松恵苑	特別養護老人ホーム	010-0201	潟上市天王	字鶴沼台43-226	4
53	あすなろ	身障	017-0201	鹿角郡小坂町小坂	字仁吾平16	14
54	更望園	知的	017-0201	鹿角郡小坂町小坂	字大石平45	2
55	ハニーハイムかづの	母子	018-5202	鹿角市尾去沢	字蟹沢1-24	9
56	鹿角微笑苑	介護老人保健施設	018-5421	鹿角市十和田大湯	字屋布ノ下20	3
57	養護老人ホーム和光園	養護老人ホーム	018-5201	鹿角市花輪	字古舘60－2	14
58	友生園	知的	018-4411	北秋田郡上小阿仁村	福舘字友倉79－11	2
59	森幸園	知的	018-4515	北秋田市阿仁前田	字菅ノ沢73	6
60	ひばりが丘ホーム	救護	018-4231	北秋田市上杉	字金沢121－106	2
61	グリーンハウス	身障	018-4231	北秋田市上杉	字金沢469	21
62	厚生園	知的	018-4231	北秋田市上杉	字金沢221	6
63	合川新生園	知的	018-4203	北秋田市木戸石	字オノ神沢35－35	1
64	大野岱吉野学園	知的障害児・者併設	018-3452	北秋田市七日市	字家向46－1	2
65	森泉荘	特別養護老人ホーム	018-4515	北秋田市阿仁前田	字下前田家の下モ28	2
66	青山荘	特別養護老人ホーム	018-3301	北秋田市綴子	字釜堤脇10	3
67	サンワーク六郷	身障	019-1402	仙北郡美郷町	野中字下村55	
68	後三年鴻声の里	知的	019-1234	仙北郡美郷町飯詰	字東西法寺148	2
69	角館寿楽荘	養護老人ホーム	014-0314	仙北市角館町岩瀬	字菅沢21－15	2
70	田沢の郷	介護老人保健施設	014-1201	仙北市田沢湖生保内	字上清水698	6
71	たざわこ清眺苑	特別養護老人ホーム	014-1201	仙北市田沢湖生保内	字下高野72-1	6
72	まつくら	知的更生	014-0102	大仙市四ッ屋字小又35-1		14
73	真森苑	特別養護老人ホーム	014-0112	大仙市板見内	字一ツ森410	5
74	なごみのさと	介護老人保健施設	014-0057	大仙市大曲船場町1－1－4		18
75	角間川更生園	知的	014-1413	大仙市角間川字町頭98		2
76	サン・サルビア	特別養護老人ホーム	014-1413	大仙市角間川町110		3
77	八乙女荘	介護老人保健施設	014-0203	大仙市北長野	字野口前23	1
78	桜寿苑	特別養護老人ホーム	014-0203	大仙市北長野	字野口前47	1
79	サングレイス	介護老人保健施設	019-2413	大仙市協和上淀川	字五百刈田278－5	30
80	ありすの街	特別養護老人ホーム	019-2335	大仙市強首	字上野台23-18	2
81	愛幸園	特別養護老人ホーム	019-1701	大仙市神宮寺	字本郷道南78	5
82	福寿園	特別養護老人ホーム	019-1913	大仙市南外	字湯神台10	
83	こもれびの杜	特別養護老人ホーム	014-0067	大仙市飯田	字堰東235	
84	栗山荘	介護老人保健施設	018-0153	にかほ市象潟町小滝	字麻針堰18	18
85	金浦療護園	身障	018-0321	にかほ市前川	字中の森20－2	12
86	ねむの木苑	知的	016-0014	能代市落合	字古釜地26	9
87	二ツ井めぐみ園	知的	018-3103	能代市二ツ井町荷上場	字グミノ木171	2
88	養護老人ホーム松籟荘	養護老人ホーム	016-0851	能代市緑町9-41		2
89	翠香苑	介護老人保健施設	018-1515	南秋田郡井川町小竹	字道端14－1	3
90	障害者支援施設　桐ヶ丘	身障	018-1526	南秋田郡井川町寺沢	字綱木沢133－2	2
91	さくら苑	特別養護老人ホーム	018-1526	南秋田郡井川町寺沢	字綱木沢145-5	44
92	森山荘	養護老人ホーム	018-1723	南秋田郡五城目町	上樋口字樽沢187	9
93	湖東老健	介護老人保健施設	018-1705	南秋田郡五城目町字上町284-1		2
94	南秋つくし苑	知的	018-1629	南秋田郡八郎潟町	字中嶋282－1	8
95	榮寿苑	介護老人保健施設	018-1600	南秋田郡八郎潟町真坂	字沢田43－10	6
96	ひだまり苑	特別養護老人ホーム	010-0445	南秋田郡大潟村	字西三丁目3	4
97	海光苑	特別養護老人ホーム	018-2665	山本郡八峰町八森字寺の後8-1		1
98	虹のいえ	知的	018-3204	山本郡藤里町矢坂	字下一の坂2－1	2
99	養護老人ホームやまもと	養護老人ホーム	018-2303	山本郡三種町	森岳字上台11－3	2

	施設名	区分	〒	住所1	住所2	受入可能人数
100	湯沢母子生活支援施設立ひまわり荘	母子	012-0042	湯沢市字小豆田133－2		4
101	養護老人ホーム愛宕荘	養護老人ホーム	012-0855	湯沢市愛宕町	四丁目2－40	2
102	健寿苑	特別養護老人ホーム	012-0112	湯沢市駒形町	字八面寺下谷地75-4	2
103	愛光園	身障	019-0203	湯沢市寺沢	字段ノ上4－5	2
104	やまばと園	知的障害児施設	012-0112	湯沢市三梨町飯田	字二ツ森43	2
105	いさみが岡	特別養護老人ホーム	012-0055	湯沢市山田	字勇ケ岡50	4
106	ぱあとなあ	身障	012-0036	湯沢市両神15-1		2
107	シャイントピアみなせ	特別養護老人ホーム	012-0183	湯沢市皆瀬	字小野188	2
108	水林新生園	知的	015-0885	由利本荘市	字水林457-5	2
109	萬生苑	特別養護老人ホーム	015-0885	由利本荘市	字水林284	2
110	養護老人ホーム寿荘	養護老人ホーム	015-0885	由利本荘市	水林457－4	2
111	しょうわ	介護老人保健施設	015-0012	由利本荘市石脇字田尻33		16
112	はまなす園	身障	018-1301	由利本荘市岩城内道川	字鳥森150－70	2
113	ひまわり	特別養護老人ホーム	018-0601	由利本荘市西目町海士剝	字御月森1	2
114	県心身障害者コロニー	知的	018-0602	由利本荘市西目町出戸	字孫七山3－2	2
115	グランドファミリー西目	介護老人保健施設	018-0604	由利本荘市西目町沼田	字新道下2－6	2
116	白百合苑	特別養護老人ホーム	015-0341	由利本荘市前郷	字家岸79-17	6
117	ふるさと矢島	特別養護老人ホーム	015-0411	由利本荘市矢島町城内	字八森下481-1	2
118	広洋苑	特別養護老人ホーム	018-1301	由利本荘市岩城内道川	字井戸ノ沢26-1	22
119	阿桜園	知的障害児・者併設	013-0064	横手市赤坂字仁坂105		4
120	ビハーラ横手	特別養護老人ホーム	013-0821	横手市上境	字谷地中139	3
121	南部エリア養護老人ホーム	養護老人ホーム	013-0525	横手市大森町	字菅生田245－34	2
122	雄水苑	特別養護老人ホーム	013-0205	横手市雄物川町今宿	字末館50	2
123	駒寿園	特別養護老人ホーム	019-0509	横手市十文字町梨木羽場	字御休の上108	7
124	やすらぎの苑	介護老人保健施設	013-0001	横手市杉沢字中杉沢400		2
125	平寿苑	特別養護老人ホーム	013-0105	横手市平鹿町浅舞	字舘廻353	3
126	西風苑	介護老人保健施設	013-0105	横手市平鹿町浅舞字新堀91		42
127	養護老人ホームひらか荘	養護老人ホーム	013-0102	横手市平鹿町醍醐	字下村123－1	1
128	すこやか森の家	特別養護老人ホーム	013-0063	横手市婦気大堤字婦気前154-1		4
129	横手市サンハイム	母子	013-0042	横手市前郷	字上松原22	2
130	白寿園	特別養護老人ホーム	013-0525	横手市大森町菅生田245-27		2
131	鶴寿苑	特別養護老人ホーム	019-1108	横手市山内土渕	字鶴が池31—3	2
132	希望苑	特別養護老人ホーム	018-2104	山本郡三種町	鹿渡字町後251	2
133	藤里	特別養護老人ホーム	018-3204	山本郡藤里町	矢坂上野蟹子沢90	2
134	あかしあの郷	特別養護老人ホーム	017-0202	鹿角郡小坂町	小坂鉱山字栗平25-2	1
135	東恵園	特別養護老人ホーム	018-5201	鹿角市花輪字古館4-1		6
136	金寿園	特別養護老人ホーム	010-0145	秋田市下新城	笠岡川向28	2
137	ロートピア仙南	特別養護老人ホーム	019-1235	仙北郡美郷町	金沢西根字上糠渕3－2	2
138	水交苑	特別養護老人ホーム	017-0034	大館市下代野	字中通南36—1	11
139	神山荘	特別養護老人ホーム	017-0005	大館市花岡町	神山6-2	2
140	寿恵園	特別養護老人ホーム	010-0502	男鹿市船川港比詰	字神明堂脇7	6
141	松風	精神	012-0055	湯沢市山田	字中屋敷15－1	2
142	サングリーンゆざわ	特別養護老人ホーム	012-0824	湯沢市裏門1-2-19		2
143	広育苑	特別養護老人ホーム	018-1723	南秋田郡五城目町	上樋口樽沢137	2
144	うたせ苑	特別養護老人ホーム	018-1601	南秋田郡八郎潟町	真坂沢田122	2
145	長寿園	特別養護老人ホーム	016-0157	能代市腹鞍ノ沢	19の1	8
146	海潮園	特別養護老人ホーム	016-0014	能代市落合	字大開1-1	2
147	山水荘	特別養護老人ホーム	018-4611	北秋田市阿仁水無	字宮後4	2
	合　　計	うち秋田市31施設256人				1,011

平成２３年度

教育職員免許法の特例に基づく「介護等の体験」社会福祉施設等受入れ調整事業実施要綱

社会福祉法人　秋田県社会福祉協議会

１．趣旨

教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性に考慮して、教員の資質向上及び学校教育の一層の充実を図る観点から、小学校及び中学校の教諭の普通免許状取得希望者に社会福祉施設等での「介護等の体験」を行う。そのため、県内の社会福祉施設等での受入れについて秋田県社会福祉協議会（以下「県社協」）が調整を行うことにより、「介護等の体験」の円滑な推進を図るものである。

２．制度の対象者

小学校及び中学校の教諭の普通免許状を取得しようとする者

３．「介護等の体験」の内容等

（１）「介護等の体験」の内容

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律（以下「特例法」という。）」第２条第１項において「障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験（介護等の体験）」と規定されており、介護、介助のほか、障害者等の話し相手、散歩の付き添い等の体験、あるいは掃除や洗濯のように高齢者等と直接接することはないが、受入れ施設の職員に必要とされる業務の補助等も含む幅広いものとする。

（２）「介護等の体験」の実施施設

特例法施行規則第２条に定められた社会福祉施設等

（別添資料『「介護等の体験」施行規則による実施対象施設』を参照）

（３）「介護等の体験」の時期及び期間

１８歳に達した後の相当期間（７日以上。うち社会福祉施設等は５日間を目途）とし、原則として５日間連続とする。また、体験実施期間は、原則として７月以降３月上旬とする。

4．実施主体

社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会

5．秋田県社会福祉協議会の主な調整業務

（1）大学等からの「申込書」の受付

ア．「介護等の体験」の申込みにあたっては、大学様式1－①、1－②、1－③により受け付ける。

イ．学生が社会福祉施設等または県社協に直接申し込んだ場合は、大学等に連絡し、上記アと同様の手続きを経るよう指導する。

（2）社会福祉施設等への実習の受入れについて調査、集計

ア．県社協は管内の社会福祉施設等に、「介護等の体験」の受入れについての調査（施設様式1－①と1－②）を依頼する。

イ．社会福祉施設等から提出された調査の「介護等の体験受入れ予定を取りまとめ、調整作業に備える。

（3）調整、通知事務

申込書と集計した受入れ予定表をもとに調整を行い、その結果は大学等と受入れる社会福祉施設等に通知する。

なお、調整にあたっては、学生の利便性をも考慮し、①地域、②時期、③施設種別等をもとに行う。

また、通知をした後、体験の辞退や体験内容の変更等が生じた場合は、直ちに大学・社会福祉施設等と連絡をとり、必要であれば再度調整を行う。

（4）体験終了報告書・請求書のとりまとめと体験費用の送金

体験終了後、体験実施社会福祉施設等から体験終了報告書と請求書（施設様式3－①と3－②）をとりまとめ、その体験費用を社会福祉施設等の指定口座へ送金する。

（5）大学等への体験状況の報告

年度末に、県内の実施状況をまとめ、大学等へ報告する。

（6）基本台帳の作成、保管

大学等からの申込みのあった学生については、「基本台帳」を作成し、一定期間保管する。

6．社会福祉施設等の主な業務

（1）「介護等の体験受入れ予定表」の作成

社会福祉施設等は、県社協からの依頼により、「介護等の体験受入れ予定

表（施設様式１－②）」を作成し、「介護等の体験の受入れについて（施設様式１－①）」とあわせて、平成２３年４月８日(金)まで県社協に送付する。

郵送及び問合せ先
社会福祉法人　秋田県社会福祉協議会
総務企画部　担当／大渕
〒010-0922　秋田市旭北栄町１－５
℡　018-864-2713　　Fax　018-864-2742

（２）「介護等の体験」の内容

「介護等の体験」は、学生の希望や社会福祉施設等の事情に応じ、次に例示するような無理のない内容とする。

なお、社会福祉施設等の敷地外で社会福祉施設等が主催する行事等についても「介護等の体験」の範囲に含む。

・高齢者、障害者及び児童に対する介護、介助
・高齢者、障害者及び児童の話し相手
・「散歩の付き添い」などの交流等の体験
・レクリエーションや運動会等の行事の手助け
・掃除や洗濯といった、障害者等と直接接するわけではないが、受入れる社会福祉施設等の職員に必要とされる業務の補助など

（３）「介護等の体験」の時間

「介護等の体験」の１日あたりの時間は５～６時間程度とするが、各受入れ社会福祉施設等の状況に応じて設定することができる。

（４）体験予定の学生に対する連絡票の作成

調整後、体験予定者決定の通知を受けた社会福祉施設等は、「学生への連絡票（施設様式１－③）」を作成し、県社協へ送付する。

（５）「証明書」の発行

「介護等の体験」を受入れた社会福祉施設等の長は、「介護等の体験」を終了したことを証明するため、施設様式２により証明書を作成し発行する。

なお、証明書は、体験終了日に社会福祉施設等から本人へ直接手渡すか、後日本人宅へ郵送する。

（６）「介護等の体験」終了報告と体験費用の請求書の提出

「介護等の体験」を終了した後、社会福祉施設等の長は、「介護等の体験」を終了した旨の「終了報告書」と体験費用の「請求書」を、施設様式３－

①と３－②により県社協に提出する。

ただし、受入れ予定者が複数の場合は全員が体験を終了した後、提出する。

７．教員養成に係る大学等の主な業務

（１）学生からの「申込書」の受付

大学等は、学内の学生から「介護等の体験」を受けたい旨の希望を聴取し、希望する学生については「申込書（大学等様式１－②）」と「個人情報使用同意書（大学等様式１－③）」の提出を求める。

（２）「申込書」の取りまとめ、送付

ア．大学等は学生から「申込書」「個人情報使用同意書」を取りまとめ、大学様式１－①を添えて、平成２３年４月１日（金）～５月１３日（金）の間に県社協に送付する。

また、同時に「介護等の体験」費用についても一括して送金する。

イ．大学等は、学生の希望をとりまとめるにあたっては、体験期間を５日間連続とし、特定の時期に集中することのないよう、あらかじめ年間を通して調整する。

（３）健康診断書と個人票の送付

決定通知が学生に届いた後、体験開始日の１週間前までに、社会福祉施設等へ健康診断書と参考様式１「個人票」を送付する。

なお、個人票については、大学の様式に替えることができる。

（４）体験決定後の「介護等の体験の辞退・変更」について

体験の決定後、辞退や内容の変更が発生した場合は、必ず電話で県社協へ連絡を入れた後、次のとおり書類を作成し提出する。

なお、提出された届けは、県社協から施設へ通知する。

発生状況	文書の作成について	送付先
『今年度中の体験をやめる』場合	辞退届 大学様式１－④　１通	県社協
『日程など体験内容の変更を希望する』場合	変更届 大学等様式１－④及び⑤を１通	県社協

（５）学生に対するオリエンテーション等での指導

大学等は、県社協からの調整結果の報告を受け、学生にオリエンテーション等を通じ、「介護等の体験」実施のための指導と援助を行う。

特に、帰省先を持つ学生については、できるだけ帰省先で実施するよう指導し、調整については「申込書」に記載された希望の通りとならない場合が予想されるため、予めその旨を理解できるよう十分に説明を行う。

8．「介護等の体験」の費用

（1）社会福祉施設等での「介護等の体験」に要する費用は、あらかじめ大学等において学生から徴収し、申し込み時に大学等から県社協の指定する銀行口座に一括して払い込むものとする。

県社協に支払う「介護等の体験」の費用は、調整費用も含め学生一人に付き１日２，０００円（５日間で　１０，０００円）とする。

（体験費用振込口座）

口座番号　　秋田銀行本店　普通預金　４４５１９４

口座名義　　秋田県社会福祉協議会 会長　佐々木 満（ささき　まん）

（2）社会福祉施設等への「介護等の体験」に要する費用は、学生一人につき１日２，０００円のうちの１，２００円とし、社会福祉施設等から「介護等の体験」の終了報告書と請求書の提出があった後の１１月末又は３月末に、県社協から当該社会福祉施設等が指定する銀行口座に払い込むものとする。

（3）学生が「介護等の体験」実施時に社会福祉施設等でとる昼食等は、学生による実費負担とし、当該社会福祉施設等が直接本人から徴収する。

また、社会福祉施設等への往復の交通費についても学生の実費負担とする。

（4）申込書提出後、体験を辞退した場合、「介護等の体験」に要する費用については、本会がやむをえない理由と判断した場合を除いて、原則として返還しない。

また、返還する場合は、体験実施日数に応じて返還することとし、社会福祉施設等との調整に要する費用については、基本的に返還しない。

9．「介護等の体験」に伴う事故への対応

（1）保険の対応

「介護等の体験」に伴い想定される事故等に対応した保険については、

派遣する大学等で対応する。

また、事故を処理した結果については、大学様式２「事故報告書」にて県社協へ報告をする。

（２）健康管理等

学生は、社会福祉施設等での「介護等の体験」申込みにあたっては、利用者等の健康管理のため、健康診断書を体験開始日の１週間前までに直接体験先社会福祉施設等へ郵送する。

社会福祉施設等の利用者のプライバシーや感染症への対応については、大学等や社会福祉施設等で実施するオリエンテーション時に十分な指導を行う。

１０．個人情報の取扱いについて

「介護等の体験」の実施にあたり県社協は、申込書等に記載された個人について、その使用目的を明記した「個人情報使用同意書（大学等様式１－③）」により同意を得た上で使用し、目的以外の使用はしない。

また、社会福祉施設は、決定通知や個人票等に記載された学生の個人情報について、取扱いには十分に注意する。

１１．その他の留意事項

今回の「介護等の体験」の受入れ調整を円滑に行うためには、年次ごとの段階的かつ計画的な実施が必要と考えられる。派遣の対象となる学生の学年を指定し、学生の派遣数が年度により大幅に変動することのないよう考慮すること。

参考：関係法令等

１．「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」等の施行について
（厚生省社会・援護局長通知、平成９年１２月１８日）

２．「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」（平成９年法律第９０号、平成９年６月１８日）

３．「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律施行規則」
（平成９年文部省令第４０号、平成９年１１月２６日）

４．「文部省告示第１８７号」（平成９年１１月２６日）

5．「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育免許法の特例等に関する法律等の施行について」
（文部省事務次官通達、平成９年１１月２６日）
6．「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律の施行について（依頼）」
（文部省教育助成局教職員課長通知、平成９年１２月３日）
7．「介護等体験を希望する者の受入れ調整について（依頼）」
（秋田県教育委員会教育長通知、平成１０年９月１日）

平成23年度　介護等体験受入校及び受入期間

秋田県立比内養護学校（大館市）

受入可能日			受入可能人数
9月21日（水）	～	9月22日（木）	4人
10月6日（木）	～	10月7日（金）	4人

※9月21日～22日（稲刈り）

秋田県立比内養護学校かづの分校（鹿角市）

受入可能日			受入可能人数
9月26日（月）	～	9月27日（火）	2人
9月28日（水）	～	9月29日（木）	2人

秋田県立比内養護学校たかのす分校（北秋田市）

受入可能日			受入可能人数
7月5日（火）	～	7月6日（水）	2人
9月27日（火）	～	9月28日（水）	2人

※7月　6日（小・県北レクリエーションの予定）
※9月28日（高・達子森登山ロードレース）

秋田県立能代養護学校（能代市）

受入可能日			受入可能人数
7月19日（火）	～	7月20日（水）	3人
9月26日（月）	～	9月27日（火）	5人
10月12日（水）	～	10月13日（木）	5人

※　9月26日～27日（稲刈り）
※10月12日～13日（高・ミュージカル公演）

秋田県立盲学校（秋田市）

受入可能日			受入可能人数
7月7日（木）	～	7月8日（金）	10人以内
10月12日（水）	～	10月13日（木）	10人以内

秋田県立聾学校（秋田市）

受入可能日			受入可能人数
6月28日（火）	～	6月29日（水）	10人

※プール清掃（半日）

秋田県立秋田きらり支援学校（秋田市）

受入可能日			受入可能人数
10月12日（水）	～	10月13日（木）	10人
11月9日（水）	～	11月10日（木）	10人
11月16日（水）	～	11月17日（木）	10人
11月30日（水）	～	12月1日（木）	10人

秋田県立栗田養護学校（秋田市）

受入可能日			受入可能人数
11月10日（木）	～	11月11日（金）	12人
11月17日（木）	～	11月18日（金）	12人

※11月17日～18日（中：校内実習　高1～2：校内・現場実習）

秋田大学教育文化学部附属特別支援学校（秋田市）

受入可能日			受入可能人数
11月14日（月）	～	11月15日（火）	15人

秋田県立養護学校天王みどり学園（潟上市）

受入可能日			受入可能人数
11月10日（木）	～	11月11日（金）	10人

秋田県立ゆり養護学校（由利本荘市）

受入可能日			受入可能人数
10月26日（水）	～	10月27日（木）	6人
11月7日（月）	～	11月8日（火）	6人

秋田県立ゆり養護学校道川分教室（由利本荘市）

受入可能日			受入可能人数
9月21日（水）	～	9月22日（木）	2人

※道川小学校との交流

秋田県立大曲養護学校（大仙市）

受入可能日			受入可能人数
6月21日（火）	～	6月22日（水）	25人
9月21日（水）	～	9月22日（木）	25人

秋田県立横手養護学校（横手市）

受入可能日			受入可能人数
9月27日（火）	～	9月28日（水）	6人
10月19日（水）	～	10月20日（木）	6人

秋田県立稲川養護学校（湯沢市）

受入可能日			受入可能人数
9月27日（火）	～	9月28日（水）	3人
9月29日（木）	～	9月30日（金）	3人
10月26日（水）	～	10月27日（木）	3人

秋田県介護等体験実施要綱

秋田県教育委員会

1　目的

この要綱は「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」（平成９年法律第９０号。以下「介護等体験特例法」という。）第２条第１項の規定に基づく障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験（以下「介護等体験」という。）を秋田県内において行うための手続き等について必要な事項を定めるものとする。

2　対象者

秋田県内において介護等体験を行うことができる者は、介護等体験特例法の適用を受け、教育職員免許法第５条第１項の規定により小学校及び中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者で、次の要件を備えた者とする。

①秋田県内の大学（短期大学を含む。以下「大学」という。）に在学する者。

②他県の大学に在学する者で秋田県出身の者。

3　実施施設等

介護等体験の実施施設等は、特別支援学校及び社会福祉施設その他の施設とする。

4　期間

介護等体験の期間は、特別支援学校においては連続する２日間、社会福祉施設その他の施設においては連続する５日間の計７日間とする。

5　実施手続等

実施手続は、介護等体験実施手順による。

介護等体験希望学生一覧表は、特別支援学校分は秋田県教育委員会に、社会福祉施設その他の施設分は秋田県社会福祉協議会に提出する。

秋田県教育委員会及び秋田県社会福祉協議会は受け入れの調整を行う。

6　事前指導

大学の長は、介護等体験を希望する学生に対して、必要な事前指導を行うものとする。

7　学生の責務

介護等体験を行う者は、大学及び実施施設等の指導に誠実に従わなければならない。従わない場合は、介護等体験を中止させる場合もある。

介護等体験により知り得た幼児児童生徒・入所者等に関する情報を漏らしてはならない。

8　証明書の発行

実施施設等の長は、介護等体験を終了した者に対し、別紙様式による証明書を発行する。原則として再発行はしない。

9　経費の負担

介護等体験を行う者は、社会福祉施設その他の施設の経費として、１人１日２,０００円を負担する。

10　健康診断

介護等体験を行う者は、介護等体験にあたり健康診断を受診し、その結果を示す書類を実施施設等に提示するものとする。

11　保険の加入

介護等体験を行う者は、介護等体験に係る事故等に対応した保険に加入し、その事実を証する書類を実施施設等に提示するものとする。

12　その他

この要綱に定めるもののほか、介護等体験の実施に関し必要な事項は別に定める。

〔附則〕

この要綱は、「学校教育法等の一部を改正する法律（平成１８年法律第８０号）」「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律施行規則の一部を改正する省令」（文部科学省令第３６号）並びに「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律施行規則に掲げる施設に準ずる施設を指定する件の一部を改正する件」（文部科学省告示第１３６号）の施行に伴い、平成１９年４月１日より一部改正する。

平成２３年度　秋田県介護等体験を希望する学生のみなさんへ

※平成２３年度秋田県介護等体験の申し込みは、各大学介護等体験担当を通してお願いします。

※「事前連絡用封筒」は、すみやかに各大学介護等体験担当へ提出してください。

※健康診断書及び保険加入の写しを体験実施校に必ず提出してください。
（健康診断書等の写しを、体験実施校の事前説明時に持参するよう連絡された場合には、忘れることのないようご注意ください。）

※体験の決定後、辞退や内容の変更が発生した場合には、必ず大学担当へ連絡をしてその後の対応について確認してください。

※例年、遅刻や無断欠席、服装や頭髪等で体験実施校から注意を受ける学生が報告されています。また、児童生徒へのかかわりの面で学生側の消極的な態度も指摘されています。
各大学のオリエンテーションや体験実施校での事前説明を確認し、介護等体験の趣旨を確認した上で、体験に臨んでください。
また、多くの実施校では車の乗り入れを禁止しています。ご注意ください。

※　各校の詳細につきましては、各校ホームページをご覧ください。

企業・行政実習　受入協力事業所数等一覧

資料32

企業関係（平成２２年度インターンシップ受入企業実績）

No	会社名	業種	人数
1	(株)R2アソシエイツ	デザイン業	1
2	秋田印刷製本株式会社	印刷業	1
3	秋田活版印刷株式会社	印刷業	1
4	株式会社あきたタウン情報	出版業	2
5	秋田中央印刷株式会社	印刷業	2
6	株式会社秋田博報堂	広告代理業	2
7	阿部デザイン事務所	グラフィックデザイン制作業	1
8	株式会社アルテ	デザイン業	2
9	株式会社岩田写真	写真業	1
10	株式会社エステイプランニング	専門サービス業(デザイン)	1
11	株式会社エフエム秋田	ラジオ放送業	2
12	男鹿水族館GAO	水族館業	2
13	株式会社菓子舗榮太楼	菓子製造販売業	3
14	金・銀線工房しんどう	貴金属製品製造小売業	2
15	株式会社コスモス設計	建築設計業	1
16	漆芸工房齋藤	漆器製造業	5
17	株式会社スペースプロジェクト	ディスプレイ業(イベント企画)	5
18	株式会社そごう・西武「西武秋田店」	百貨店業	1
19	太陽印刷株式会社	印刷業	1
20	千貝工芸	貴金属製品製造業	1
21	巴染工株式会社	染め物業	1
22	(財)富山市ガラス工芸センター「富山ガラス工房」	ガラス工芸品の研究、開発及び制作	8
23	富山市立市民学園「富山ガラス造形研究所」	ガラス造形教育機関	
24	株式会社トラパンツ	ソフトウェア業(HP制作)	2
25	株式会社バウハウス	広告制作業・ディスプレイ業	2
26	有限会社萩原製作所	家具製造業	3
27	株式会社プロデュースプロ	各種サービス業・広告業・デザイン業	2
28	株式会社みどり光学社	写真業	1
		計	56

行政関係（平成２２年度インターンシップ秋田市役所受入実績）　計　26

No	過去の主な受入機関	業務内容
1	文化振興部門（美術館等）	施設管理等
2	広報	広報あきた編集作業
3	都市計画部門	都市景観、屋外広告物等に関する業務
4	観光物産部門	イベント実行に関する業務

No	今後の追加受入想定機関	その他受入可能業務内容
1	情報統計部門	ホームページ制作
2	動物園部門	グッズ作成
3	まちづくり部門	まちあるきマップ作成
4	文化会館部門	文化活動支援に関する業務
5	郷土館、資料館部門	各種資料展示に関する業務
6	講座、イベント実施部門	催し物のポスタ・パンフレットのデザイン

※秋田市役所は、要望に応じて受入れ数や受入施設の追加が可能

資料19

(仮称)秋田公立美術大学への編入に関するアンケートについて

平 成 ２ ４ 年 １ 月 ２ ４ 日
秋 田 市 大 学 設 置 準 備 室

１　調査の目的

秋田市では、平成２５年４月に秋田公立美術工芸短期大学を４大化する計画を進めるにあたり、美短在学１年生を対象に、新大学への３年次編入等についてのアンケートを実施し、新大学編入に関する基礎資料とするものである。

２　調査対象

秋田公立美術工芸短期大学　１年生148人　回答者数111人（回答率：75.0%）

３　調査時期

平成２４年３月に、大学設置認可申請書の編入予定人数等に反映させるため、平成２４年１月に調査票を配布し、調査票を回収後、結果をまとめる。

４　調査方法

調査は、無記名式（出身地は記述）で行い、調査票は１月20日および１月23日に、美短事務局職員が授業の前に配布し、記入後回収した。

５　調査票

別紙

６　調査結果

別紙

(仮称)秋田公立美術大学への編入に関するアンケート調査票

秋田市大学設置準備室

秋田市では、地域の伝統・文化をいかし、秋田から世界へ発信するグローバルな人材を育成すること等を目的に、秋田公立美術工芸短期大学を改組し、新たに（仮称）秋田公立美術大学を設置する計画を進めております。このアンケート調査はその一環として、学生の皆さんに新大学への３年次編入等についてお聞きし、新大学編入に関する基礎資料とするものです。皆さんのご協力をお願い致します。

なお、このアンケートの結果は統計資料としてのみ用います。個別の調査票を外部の人に見せたりすることはありません。

回答は設問の順に、該当する番号等を回答欄に直接記入してください。

■設置予定学部：美術学部美術学科　入学定員 100 人（予定）
■３年次編入：10 人程度（予定）
■設置予定時期：平成 25 年４月

※上記の構想は現在検討中であり、決まったものではありません。

問１　あなたの出身は、どこですか。次の中から、**１つだけ**選んでください。　【回答欄】

1　秋田市内
2　秋田県内（秋田市を除く）
3　東北地方（秋田県を除く）
4　北海道地方
5　関東地方
6　中部地方
7　近畿地方
8　中国地方
9　四国地方
10　九州地方
11　その他（具体的に　　）

問２　あなたは短大卒業後どのような進路を希望していますか。次の中からもっとも希望に近い進路を**１つだけ**選んでください。

1　４年制大学への編入学
2　専攻科進学
3　就職
4　その他（具体的に　　）

問３　問２で「１　４年制大学への編入学」を選んだ方にお聞きします。（仮称）秋田公立美術大学に３年次編入を希望しますか。次の中から**１つだけ**選んでください。それ以外の方は、問６にお進みください。

1　編入を希望する
2　進路の候補の一つとして考える
3　他大学への編入学を希望する
4　わからない
5　その他（具体的に　　）

問４　問３で「１　編入を希望する」「２　進路の候補の一つとして考える」を選んだ方にお聞きします。「３　他大学への編入学を希望する」を選んだ方は問５へ、「４　わからない」「５　その他」を選んだ方は問６へお進みください。

（仮称）秋田公立美術大学の５つの専攻（別紙参照）のうち、興味を感じたものを次の中から**１つだけ**選んでください。

1　アート＆ルーツ専攻
2　ビジュアルアーツ専攻
3　ものづくりデザイン専攻
4　コミュニケーションデザイン専攻
5　景観デザイン専攻
6　わからない

→記入後は、問６へお進みください。

問５　問３で「３　他大学への編入学を希望する」を選んだ方にお聞きします。編入を希望する大学の所在は、どこですか。次の中から、**１つだけ**選んでください。

1　秋田市内	7　近畿地方	
2　秋田県内（秋田市を除く）	8　中国地方	
3　東北地方（秋田県を除く）	9　四国地方	
4　北海道地方	10　九州地方	
5　関東地方	11　その他（具体的に　　）	
6　中部地方		

問６　（仮称）秋田公立美術大学について、ご意見等がありましたらご自由にお書きください。

＊＊＊　これでアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。　＊＊＊

アンケートに関するお問い合わせ　秋田市大学設置準備室　０１８－８６６－２０２８

※H24．３　設置認可申請予定

（仮称）秋田公立美術大学の概要について

秋田市では、「芸術・文化をいかしたまちづくり」に取り組んでいます。
その中核になるように、現在の「秋田公立美術工芸短期大学」を、平成25年4月を目標に美術系4年制大学にする準備を進めています。

新しい「（仮称）秋田公立美術大学」は、美術学部美術学科の中に5つの専攻を置く構成を考えており、これまでの芸術分野にとらわれない新しい芸術を創り出すアーティスト、地域の伝統・文化をまちづくりに活かせるアーティストを育成します。

教育上の特色について

特色①

１～２年次は素材や技法の枠組み（※）を越えて、大学で扱う全ての範囲を横断的に学べるユニークなカリキュラム

３～４年次は芸術表現の目的別に5つの専攻に分かれ、専門の技術・知識を深めます。

※美術（油絵、日本画、彫刻、ﾒﾃﾞｨｱｱｰﾄ、ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝetc）、工芸（金属、ガラス、陶磁、漆、木工、染）、デザインetc

特色②

卒業後の就職や独立を手厚くサポートするキャリア教育

現代社会人として求められる知識や情報処理能力、プレゼン能力などを身に付けるほか、自分の進路について深く考えることができます。

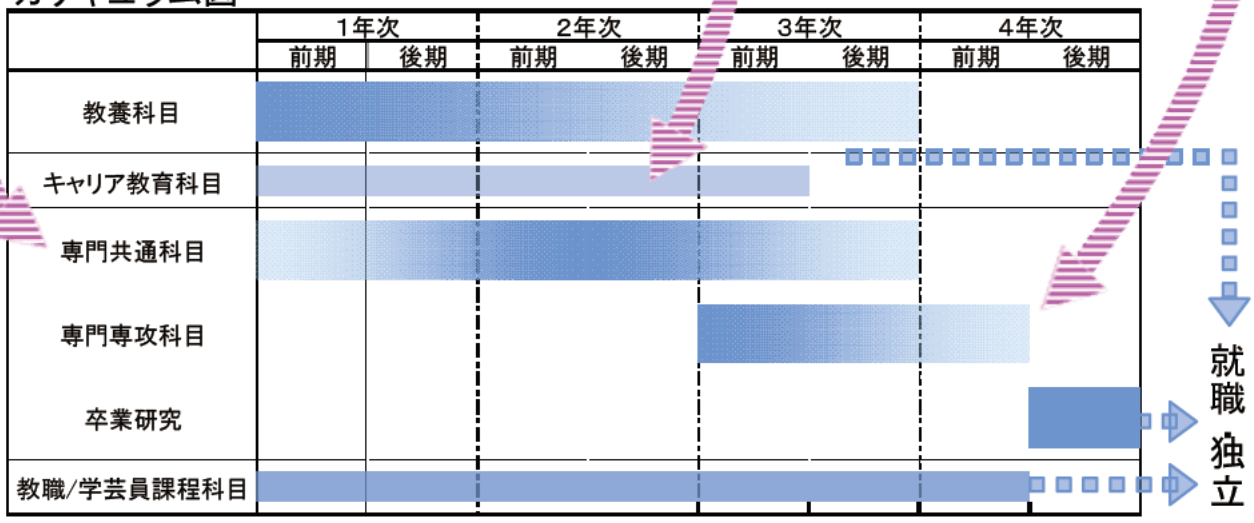
特色③

秋田の伝統文化（※）をキーにして、日本の地域文化への理解を深め、現代の美術として再構築するという独自の教育理念

多様な価値観と柔軟な思考を持つグローバルな人材を育てます。

※銀線細工、杢目（もくめ）銅（がね）、秋田蘭画、川連漆器、秋田蕗摺り、全国最多の重要無形文化財etc

カリキュラム図



●5つの専攻の詳しい内容については裏面へ！

表現の目的別に分かれた5つの専攻 （3年次に選択）

ものづくりデザイン

地域固有の素材や技術などを現代の工業デザインの視点で捉え直し、地方色豊かな新製品を提案する

コミュニケーションデザイン

視覚媒体を使った「コミュニケーション・デザイン」の技法を幅広く学び、広告やテレビCMなどを企画制作する

地域の歴史的な文化資源（ルーツ）を調査・研究して、その再評価の中で新たな芸術表現を探求する

「美しい街並や風景のデザイン」を通して、美しく快適でにぎわいにあふれたまちづくりの計画を立案する。

サブカルチャー的な芸術表現など、現代美術の新しい方向性について、様々な素材や媒体を使って模索する

アート＆ルーツ

教育の概要

「基礎理論」「作品制作」「フィールドワーク」の3つによって、地域の文化と歴史や日本固有の技法を学び、調査研究の成果を作品制作に活かします。

講義・演習の例

- 文化人類学
- 石彫、ﾃﾗｺｯﾀ彫刻
- 日本画
- ｱｰﾄﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習

- ・アーティスト
- ・アートディレクター
- ・美術研究者
- ・評論家
- ・ギャラリスト
- ・学芸員、教員

ものづくりデザイン

教育の概要

世代を超えて愛される、使用して充足感が得られるような生活耐久財というコンセプトのもとで、家具から装身具までの多様な製品を制作。独自ブランド化を目指します。

講義・演習の例

- 「木材、漆」
- 「金属」
- 「ガラス、陶磁」
- 「染」

- ・アーティスト
- ・家具メーカー
- ・ガラス製造業
- ・ジュエリーメーカー
- ・陶磁器製造業
- ・学芸員、教員

景観デザイン

教育の概要

景観ﾃﾞｻﾞｲﾝの考え方をもとに、まちづくりにおける課題を発見し解決するための知識・週報を学び、ワークショップなどの演習を通じて地域社会での実践力を養います。

講義・演習の例

- CAD演習
- 都市デザイン論
- 景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習
- 文化行政学

- ・アーティスト
- ・デザイン事務所
- ・行政機関
- ・建築設計事務所
- ・広告代理店
- ・学芸員、教員

コミュニケーションデザイン

教育の概要

文字・写真・CG・ｲﾗｽﾄﾚｰｼｮﾝ等のツールを習熟して、優れた伝達表現やデザイン全体を構築する総合的なディレクションを可能にします。

講義・演習の例

- タイポグラフィ
- 編集デザイン
- ポスター
- ﾊﾟｯｹｰｼﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ
- ウェブデザイン

- ・アーティスト
- ・デザイン事務所
- ・イラストレーター
- ・出版印刷会社
- ・メディア関係
- ・ゲーム会社
- ・学芸員、教員

ビジュアルアーツ

教育の概要

堅苦しく鑑賞する美術から、「明解さ」「愉快さ」を持ち体で感じるエンターテイメントへの移行を目指し、媒体にとらわれない現代的な作品を制作します。

講義・演習の例

- 現代絵画、立体造形
- ｲﾗｽﾄﾚｰｼｮﾝ、絵本
- ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾒﾃﾞｨｱｱｰﾄ
- インスタレーション
- ポップアート

- ・アーティスト
- ・デザイン事務所
- ・イラストレーター
- ・出版社
- ・広告代理店
- ・学芸員、教員

卒業後の進路 ・・・ アーティストとしての自立 ・ 専門性を活かした就職へ

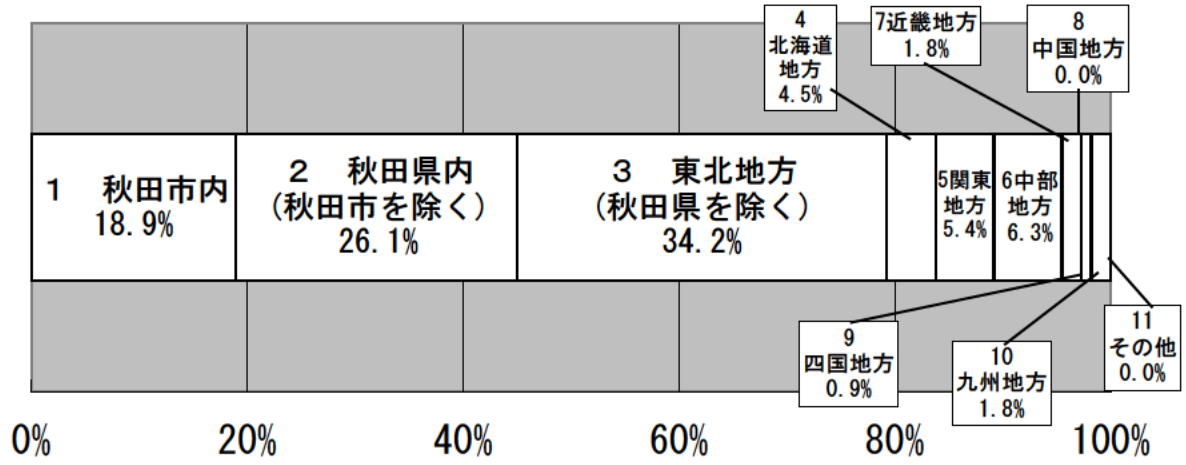
☆ 新大学の最新情報や今後の募集についての情報は、秋田市大学設置準備室のHPで発信していきますので、是非ご覧ください。

http://www.city.akita.akita.jp/city/pl/eu/default.htm

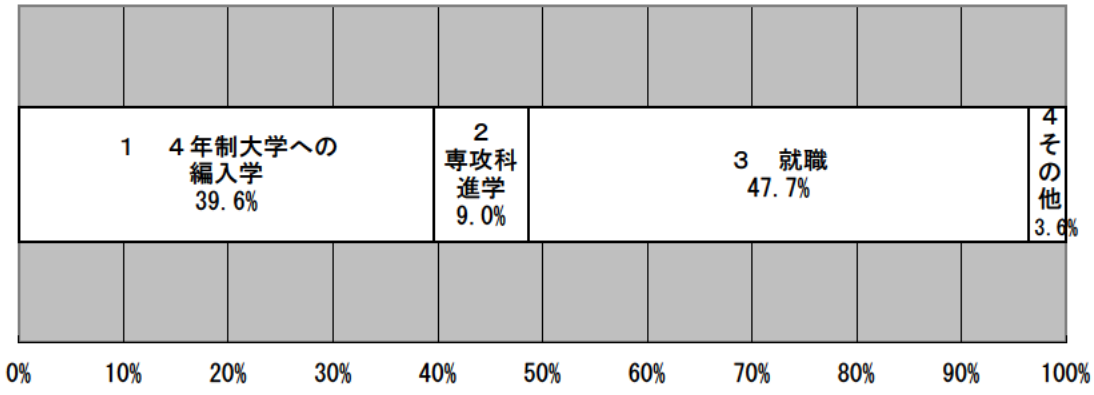
※秋田公立美術大学（仮称）の内容については、現在計画中の段階ですので、今後変更される場合があります。

（仮称）秋田公立美術大学への編入に関するアンケート調査票

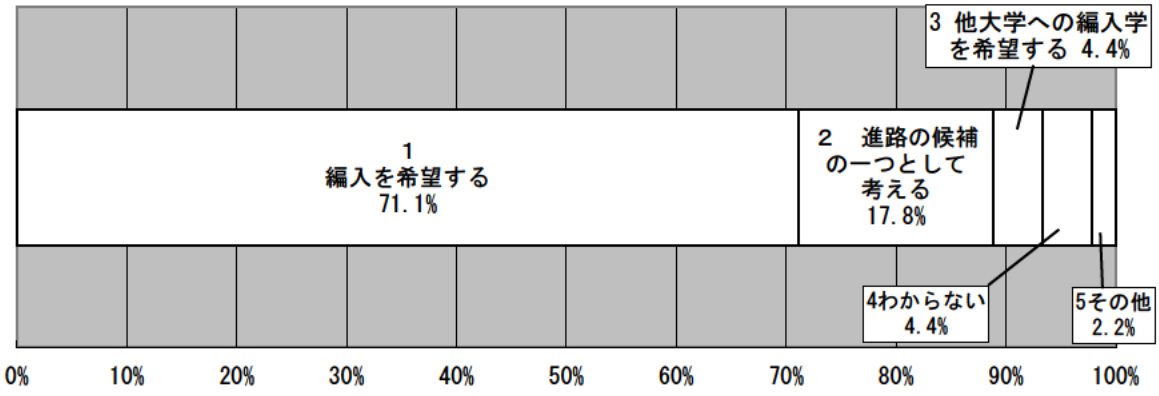
問１　出身地	回答数	割合
1　秋田市内	21	18.9%
2　秋田県内（秋田市を除く）	29	26.1%
3　東北地方（秋田県を除く）	38	34.2%
4　北海道地方	5	4.5%
5　関東地方	6	5.4%
6　中部地方	7	6.3%
7　近畿地方	2	1.8%
8　中国地方	0	0.0%
9　四国地方	1	0.9%
10　九州地方	2	1.8%
11　その他（具体的に）	0	0.0%
計	111	100.0%



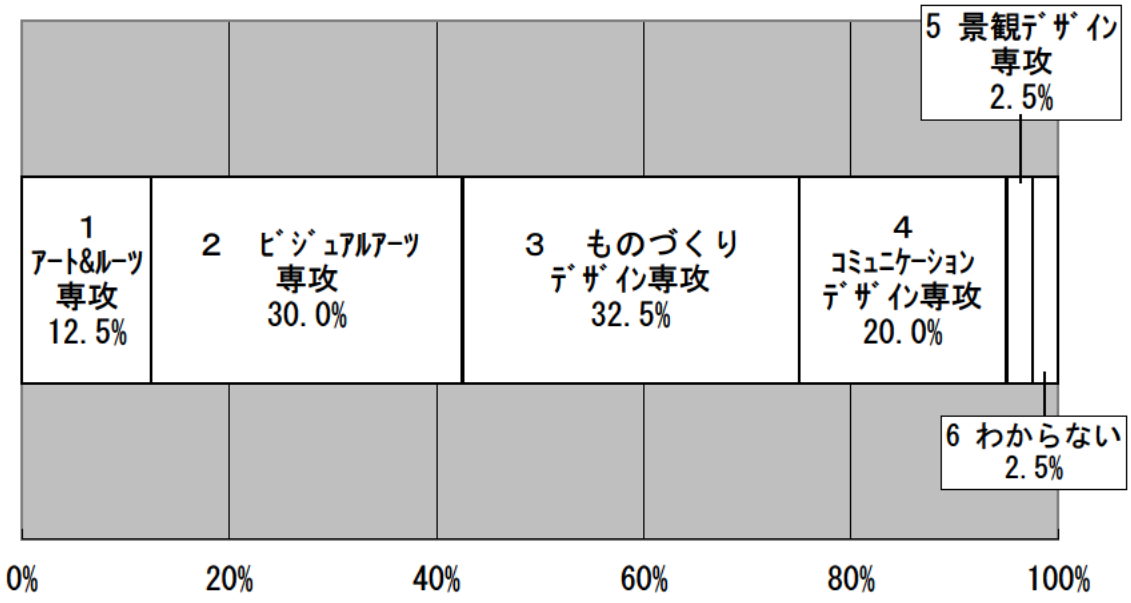
問２　卒業後の進路	回答数	割合
1　４年制大学への編入学	44	39.6%
2　専攻科進学	10	9.0%
3　就職	53	47.7%
4　その他	4	3.6%
計	111	100.0%



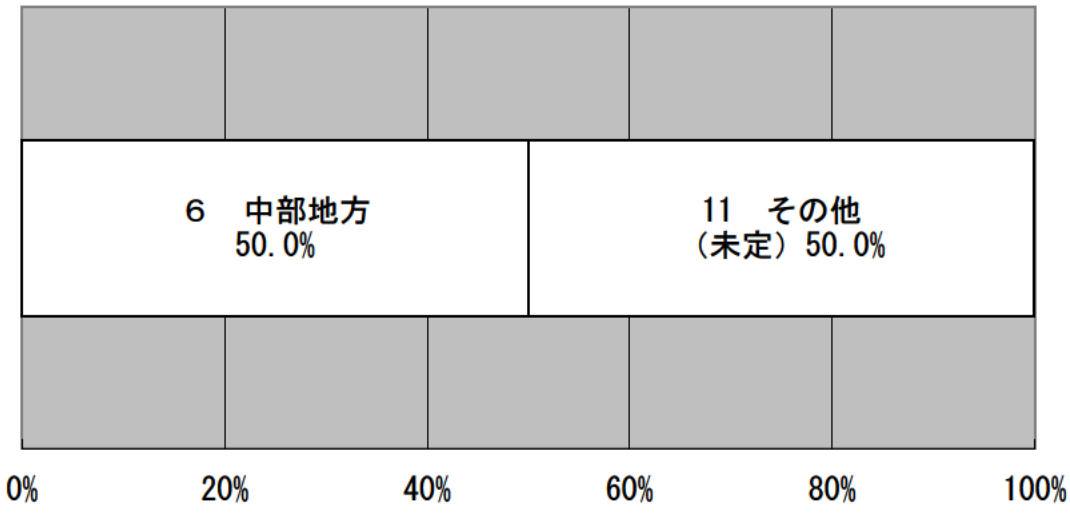
問３　新大学への編入希望	回答数	割合
1　編入を希望する	32	71.1%
2　進路の候補の一つとして考える	8	17.8%
3　他大学への編入学を希望する	2	4.4%
4　わからない	2	4.4%
5　その他	1	2.2%
計	45	100.0%



問４　各専攻への関心	回答数	割合
1　アート＆ルーツ専攻	5	12.5%
2　ビジュアルアーツ専攻	12	30.0%
3　ものづくりデザイン専攻	13	32.5%
4　コミュニケーションデザイン専攻	8	20.0%
5　景観デザイン専攻	1	2.5%
6　わからない	1	2.5%
計	40	100.0%



問５　他大学編入希望者の進路	回答数	割合
1　秋田市内	0	0.0%
2　秋田県内（秋田市を除く）	0	0.0%
3　東北地方（秋田県を除く）	0	0.0%
4　北海道地方	0	0.0%
5　関東地方	0	0.0%
6　中部地方	1	50.0%
7　近畿地方	0	0.0%
8　中国地方	0	0.0%
9　四国地方	0	0.0%
10　九州地方	0	0.0%
11　その他	1	50.0%
計	2	100.0%



問６　４大化についての意見等（自由記述）

３年次編入の定員増加に関する要望

・やっと大学側からも話がでてうれしい。４大化にあたって定員が非常に少なくなるが、改築などでもう少しだけでも多くしてほしい。

・10人と言わず、初年度は100人でお願いします。

・絶対になって欲しいし、できるだけ多くの人を編入できるようにして欲しい。

・３年次編入の人数が少なすぎるのではないかと思います。

・編入の人数増やしてください。

・10人の定員は少なすぎはしないか。

・３年次編入の定員をもっと増やして欲しい。

３年次編入の情報提供に関する要望

・学費などについても、できるだけ早く知りたいです。

・現在の美短と違い、特色が分かりにくい。工芸ができる、工芸に力を入れている、ではなく、色々学べるもののうちの１つに工芸があるという印象です。あくまでも、プリント１枚読んだだけでの意見ですが。日本画が増えたのは良かったです。

・編入試験は、どのようなものになるのですか。

・周囲の人に４大化したら編入するか、私たちの扱いはどうなるのかなどと聞かれる機会が多いのですが、私たちに全然情報が入ってこないので、むしろこちらが聞きたいという風になっています。まだ、未決定の部分が多いとは思いますが、在学生にもう少し情報をいただきたいです。

・学費はどのくらいかかりますか。今までと同程度の金額でしょうか。工芸だけを専攻できる学科はないのですか。

・もう少し詳しい情報の開示をして欲しいです。

・編入試験についてなどの対策を早めに知りたい。

・編入試験に関する詳細をもう少しちゃんと知りたい。

・４年制へ編入する場合、試験は卒業制作はどうなるか。定員が少ないので、編入できるか心配。

大学の施設に関する要望

・大学の開いている時間、学生食堂の開いている時間、画材の販売など、もう少し改善していただけるとうれしいです。

・廊下が寒いです。

その他

・今のところ専攻科進学を希望しているが、４年制になるならそっちの方の進学も考えている。

・ぜひ３年次に編入したい。

３年次編入学生用の履修モデル（アーツ＆ルーツ専攻）

資料34

■・・・必修科目

履修年次			３年次				４年次				計
			前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会							日本文学	2	
		歴史と文化	東北造形史 異文化 ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2 2			文化人類学	2			
		外国語					英会話１	1	英会話２	1	
		情報									
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1					
		小計		5		1		3		3	12
	キャリア教育科目		地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 演習	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2			
					情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1	美術の社会 実践論	2			
					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ 演習１	1					
		小計		1		4		4		0	9
	合計			6		5		7		3	21
専門科目	専門共通科目	総合科目	現代芸術論Ｃ （ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術論Ａ （ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、 地域文化計画）	2					
			現代芸術論Ｄ （ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｂ （ものづくり）	2					
		導入科目	英語による 現代美術評論１ 写真基礎演習	2 1					工芸演習１ （教職課程）	2	
		美術理論・ 美術史科目					日本彫刻史	2	日本美術史 デザイン史	2 2	
		専門基礎科目	日本画基礎演習	1	彫刻素材 基礎演習	1	英語による 現代美術評論２	2	ｲﾗｽﾄﾚｰｼｮﾝ 基礎演習	1	
			彫刻基礎演習	1	現代絵画 基礎演習	1	油画基礎演習	1			
					塑像表現２	2					
		小計		9		8		5		7	29
	専門専攻科目	アーツ＆ルーツ 専攻科目	ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ演習１	8	ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ演習２	6	ｱｰﾂ＆ﾙｰﾂ演習３	8			
					ｱｰﾄﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ 演習	2					
		卒業研究							卒業研究	10	
		小計		8		8		8		10	34
	合計			17		16		13		17	63
総　計				23		21		20		20	84

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、
「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、
美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から
14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

※　卒業に必要な単位のうち、この履修モデルに示されていないものについては、編入前の大学等における既修得単位を個別に認定することで満たすことを想定している。

３年次編入学生用の履修モデル（ビジュアルアーツ専攻）

･･･必修科目

履修年次			３年次				４年次				計
			前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会							日本文学	2	
		歴史と文化	異文化コミュニケーション論	2			東北造形史 文化人類学	2 2			
		外国語					英会話１	1	英会話２	1	
		情報									
		保健体育	スポーツと健康１	1	スポーツと健康２	1					
		小計		3		1		5		3	12
	キャリア教育科目		地域プロジェクト演習	1	キャリアデザイン１	2	キャリアデザイン２	2			
					情報リテラシー２	1	美術の社会 実践論	2			
					プレゼンテーション演習１	1					
		小計		1		4		4		0	9
	合計			4		5		9		3	21
専門科目	専門共通科目	総合科目	現代芸術論Ｃ（ビジュアルアーツ） 現代芸術論Ｄ（コミュニケーションデザイン）	2 2	現代芸術論Ａ（アーツ&ルーツ、地域文化計画） 現代芸術論Ｂ（ものづくり）	2 2					
		導入科目	英語による現代美術評論１ 写真基礎演習	2 1					工芸演習１（教職課程）	2	
		美術理論・美術史科目							日本美術史 デザイン史	2 2	
		専門基礎科目	油画基礎演習	1	現代絵画基礎演習 イラストレーション基礎演習 彫刻素材基礎演習 メディアアート基礎演習	1 1 1 2	日本画基礎演習 英語による現代美術評論２	1 2	インスタレーション基礎演習 メディアアート基礎演習	1 2	
		小計		8		9		3		9	29
	専門専攻科目	ビジュアルアーツ専攻科目	ビジュアルアーツ演習１	8	ビジュアルアーツ演習２ 古美術研究	8 2	ビジュアルアーツ演習３	6			
		卒業研究							卒業研究	10	
		小計		8		10		6		10	34
	合計			16		19		9		19	63
総　計				20		24		18		22	84

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、
「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、
美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から
14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

※　卒業に必要な単位のうち、この履修モデルに示されていないものについては、編入前の大学等における既修得単位を個別に認定することで満たすことを想定している。

３年次編入学生用の履修モデル（ものづくりデザイン専攻）

･･･必修科目

履修年次			３年次				４年次				計
			前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会			日本文学	2					
		歴史と文化	東北造形史 異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2 2			文化人類学	2			
		外国語					英会話１	1	英会話２	1	
		情報									
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1					
		小計		5		3		3		1	12
	キャリア教育科目		地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１ 情報ﾘﾃﾗｼｰ２ ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	2 1 1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２ 美術の社会実践論	2 2			
		小計		1		4		4		0	9
	合計			6		7		7		1	21
専門科目	専門共通科目	総合科目	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ） 現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2 2	現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、地域文化計画） 現代芸術論Ｂ（ものづくり） 現代芸術演習Ａ２（景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2 2 1					
		導入科目	英語による現代美術評論１	2							
		美術理論・美術史科目					近代装飾ﾃﾞｻﾞｲﾝ史	2	日本美術史 デザイン史 近代ﾃﾞｻﾞｲﾝ史特講	2 2 2	
		専門基礎科目	色彩演習	1	商品計画演習	1	DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 ものづくり製図演習 英語による現代美術評論２	1 1 2	地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ 知的財産と運用	2 2	
		小計		7		6		6		10	29
	専門専攻科目	ものづくりデザイン	地域産業演習 ﾌﾟﾛﾀﾞｸﾄﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習２ ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１ ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１ 2D・3D CAD演習	1 1 1 3 3 1	ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２ ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	4 4	ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習３	6			
		卒業研究							卒業研究	10	
		小計		10		8		6		10	34
	合計			17		14		12		20	63
総　計				23		21		19		21	84

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、
「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上

【キャリア教育科目】10単位以上

【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、
美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から
14単位以上を含め、計56単位以上

【専門専攻科目】34単位以上

【合計】124単位以上

※　卒業に必要な単位のうち、この履修モデルに示されていないものについては、編入前の大学等に
おける既修得単位を個別に認定することで満たすことを想定している。

３年次編入学生用の履修モデル（コミュニケーションデザイン専攻）

･･･必修科目

履修年次			３年次				４年次				計
			前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会					環境と生態	2			
		歴史と文化	異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2			文化人類学 東北造形史	2 2			
		外国語					英会話１	1	英会話２	1	
		情報									
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1					
		小計		3		1		7		1	12
	キャリア教育科目		地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１ 情報ﾘﾃﾗｼｰ２	2 1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２ 美術の社会実践論	2 2			
		小計		1		3		4		0	8
	合計			4		4		11		1	20
専門科目	専門共通科目	総合科目	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ） 現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2 2	現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、地域文化計画） 現代芸術論Ｂ（ものづくり）	2 2					
		導入科目	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎 英語による現代美術評論１ 図学・製図演習	1 2 2	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習 ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	1 2	写真基礎演習	1			
		美術理論・美術史科目					近代装飾ﾃﾞｻﾞｲﾝ史	2	近代ﾃﾞｻﾞｲﾝ史演習 日本美術史 デザイン史	2 2 2	
		専門基礎科目			ﾌﾞｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝ	1	英語による現代美術評論２ DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	2 1	商品計画演習 ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習 地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ ﾃﾞｻﾞｲﾝｻｰﾍﾞｲ	1 1 2 1	
		小計		9		8		6		11	34
	専門専攻科目	コミュニケーションデザイン専攻科目	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ論 ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ａ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｂ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｃ ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ論 映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 3D･CG表現演習１	2 2 2 2 2 1 1	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｄ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｅ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｆ 3D･CG表現演習２	2 2 2 1	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ２	5			
		卒業研究							卒業研究	10	
		小計		12		7		5		10	34
	合計			21		15		11		21	68
総　計				25		19		22		22	88

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、
「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、
美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から
14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

※　卒業に必要な単位のうち、この履修モデルに示されていないものについては、編入前の大学等に
おける既修得単位を個別に認定することで満たすことを想定している。

３年次編入学生用の履修モデル（景観デザイン専攻）

　　・・・必修科目

履修年次			３年次				４年次				計
			前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会					環境と生態	2			
		歴史と文化	異文化コミュニケーション論	2			文化人類学 東北造形史	2 2			
		外国語					英会話１	1	英会話２	1	
		情報									
		保健体育	スポーツと健康１	1	スポーツと健康２	1					
		小計		3		1		7		1	12
	キャリア教育科目		地域プロジェクト演習	1	キャリアデザイン１ 情報リテラシー２	2 1	キャリアデザイン２ 美術の社会実践論	2 2			
		小計		1		3		4		0	8
	合計			4		4		11		1	20
専門科目	専門共通科目	総合科目	現代芸術論Ｃ（ビジュアルアーツ） 現代芸術論Ｄ（コミュニケーションデザイン）	2 2	現代芸術論Ａ（アーツ&ルーツ、地域文化計画） 現代芸術論Ｂ（ものづくり）	2 2					
		導入科目	英語による現代美術評論１ 図学・製図演習	2 2	コンピュータ表現演習 デザイン基礎演習	1 2					
		美術理論・美術史科目					日本建築史１	2	日本建築史２ 日本美術史 デザイン史	2 2 2	
		専門基礎科目			デザインワークショップ演習 デザインサーベイ	1 1	英語による現代美術評論２ ウェブデザイン論	2 2	地域産業とデザイン 知的財産と運用 ウェブデザイン基礎演習	2 2 1	
		小計		8		9		6		11	34
	専門専攻科目	景観デザイン専攻	景観デザイン演習１ 景観デザイン論 文化行政学 都市デザイン論 CAD演習１（建築）	4 2 2 2 2	CAD演習２（景観） 景観デザイン演習２	2 5	景観デザイン演習３	5			
		卒業研究							卒業研究	10	
		小計		12		7		5		10	34
	合計			20		16		11		21	68
総　計				24		20		22		22	88

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、
「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、
美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から
14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

※　卒業に必要な単位のうち、この履修モデルに示されていないものについては、編入前の大学等に
おける既修得単位を個別に認定することで満たすことを想定している。

社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

資料35

1　教育課程内の取組（キャリア教育科目）

【講義】キャリアデザイン１・２、美術の社会実践論、起業論
【演習】情報リテラシー１・２、日本語表現演習、プレゼンテーション演習１、地域プロジェクト演習
【実習】学外実習（インターンシップ）

講義・演習・実習

2　教育課程外の取組

【定期開催、年１２回程度】
進路ガイダンス（自己分析、ポートフォリオセミナー、先輩に聞く現場論、保護者向けガイダンス等）
【随時開催】
個別面談、模擬面接、求人票公開、企業訪問

企画・実施

3　適切な支援体制の整備

就職関連委員会
学生生活関連委員会
教務関連委員会

組織的支援

【連携】　【情報共有】

学生相談室《専門スタッフ》

支援組織の各種取組

【卒業生の経験談】
【複合業務のパネルディスカッション】
【第一線のデザイナー等による講演会】
【就職ブログの開設】

各種取組支援

学生の社会的・職業的自立促進

資料36

秋田公立美術大学教員定年規程（案）

平成25年○月○日
大 学 規 程 第 ○ 号

（趣旨）

第１条　この規程は、教育公務員特例法（昭和24年法律第１号）第８条第１項の規定に基づき、秋田公立美術大学（以下「本学」という。）の教授、准教授、講師および助教（以下「教員」という。）の定年等に関し必要な事項を定めるものとする。

（定年）

第２条　本学の教員の定年は、65歳とする。ただし、市長が特別の事情があると認めるときはこの限りではない。

（定年による退職）

第３条　本学の教員は、定年に達したときは、定年に達した日以後における最初の３月３１日に退職する。

附　則

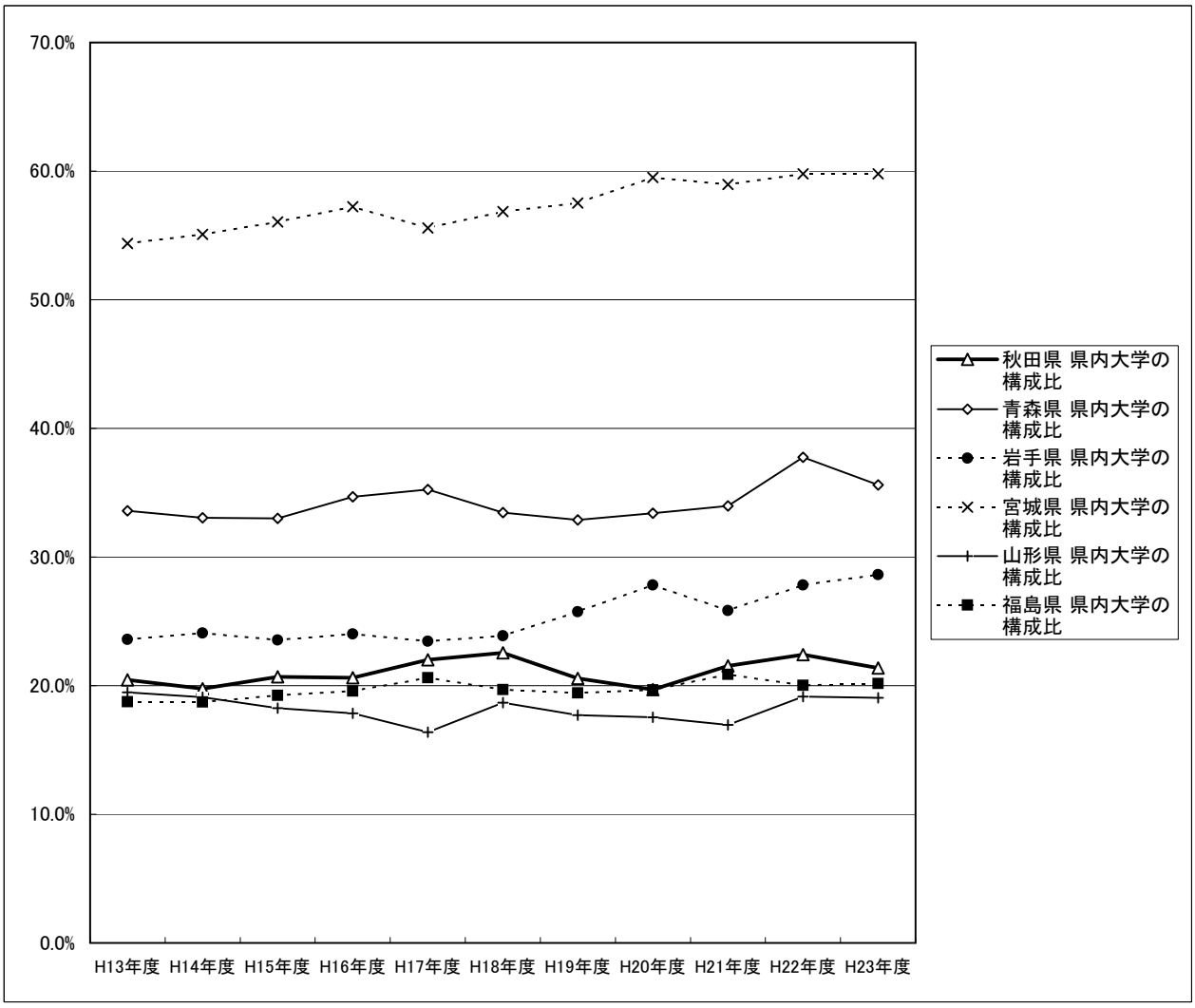
１　この規程は、平成25年４月１日から施行する。

２　この規程の施行の日に在職する教員で、同日から起算して４年以内に定年となる者の定年は、学年進行完成年度（本学の開設後、最初に学年進行が終了する年度をいう。）の末日におけるその者の年齢とする。

○東北各県内高校から同県内大学への進学者数およびその構成比の推移

資料37

		H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
秋田県	県内大学	848	802	876	830	914	920	835	808	884	935	854
	合計	4,148	4,060	4,233	4,024	4,154	4,078	4,059	4,104	4,106	4,171	3,998
	県内大学の構成比	20.4%	19.8%	20.7%	20.6%	22.0%	22.6%	20.6%	19.7%	21.5%	22.4%	21.4%
青森県	県内大学	1,759	1,719	1,740	1,858	1,914	1,753	1,748	1,783	1,767	2,003	1,802
	合計	5,237	5,201	5,274	5,357	5,429	5,240	5,316	5,338	5,203	5,305	5,061
	県内大学の構成比	33.6%	33.1%	33.0%	34.7%	35.3%	33.5%	32.9%	33.4%	34.0%	37.8%	35.6%
岩手県	県内大学	1,165	1,144	1,127	1,126	1,109	1,151	1,235	1,337	1,242	1,357	1,375
	合計	4,939	4,750	4,785	4,687	4,730	4,820	4,798	4,804	4,806	4,878	4,801
	県内大学の構成比	23.6%	24.1%	23.6%	24.0%	23.4%	23.9%	25.7%	27.8%	25.8%	27.8%	28.6%
宮城県	県内大学	5,359	5,534	5,698	5,829	5,658	5,862	6,087	6,289	6,082	6,414	5,977
	合計	9,858	10,048	10,167	10,183	10,178	10,311	10,584	10,569	10,316	10,728	9,998
	県内大学の構成比	54.4%	55.1%	56.0%	57.2%	55.6%	56.9%	57.5%	59.5%	59.0%	59.8%	59.8%
山形県	県内大学	896	902	896	848	808	927	911	879	822	937	926
	合計	4,600	4,720	4,911	4,754	4,932	4,962	5,145	5,008	4,848	4,892	4,857
	県内大学の構成比	19.5%	19.1%	18.2%	17.8%	16.4%	18.7%	17.7%	17.6%	17.0%	19.2%	19.1%
福島県	県内大学	1,542	1,517	1,618	1,622	1,786	1,673	1,667	1,644	1,724	1,722	1,622
	合計	8,228	8,100	8,408	8,282	8,663	8,492	8,576	8,357	8,255	8,596	8,043
	県内大学の構成比	18.7%	18.7%	19.2%	19.6%	20.6%	19.7%	19.4%	19.7%	20.9%	20.0%	20.2%

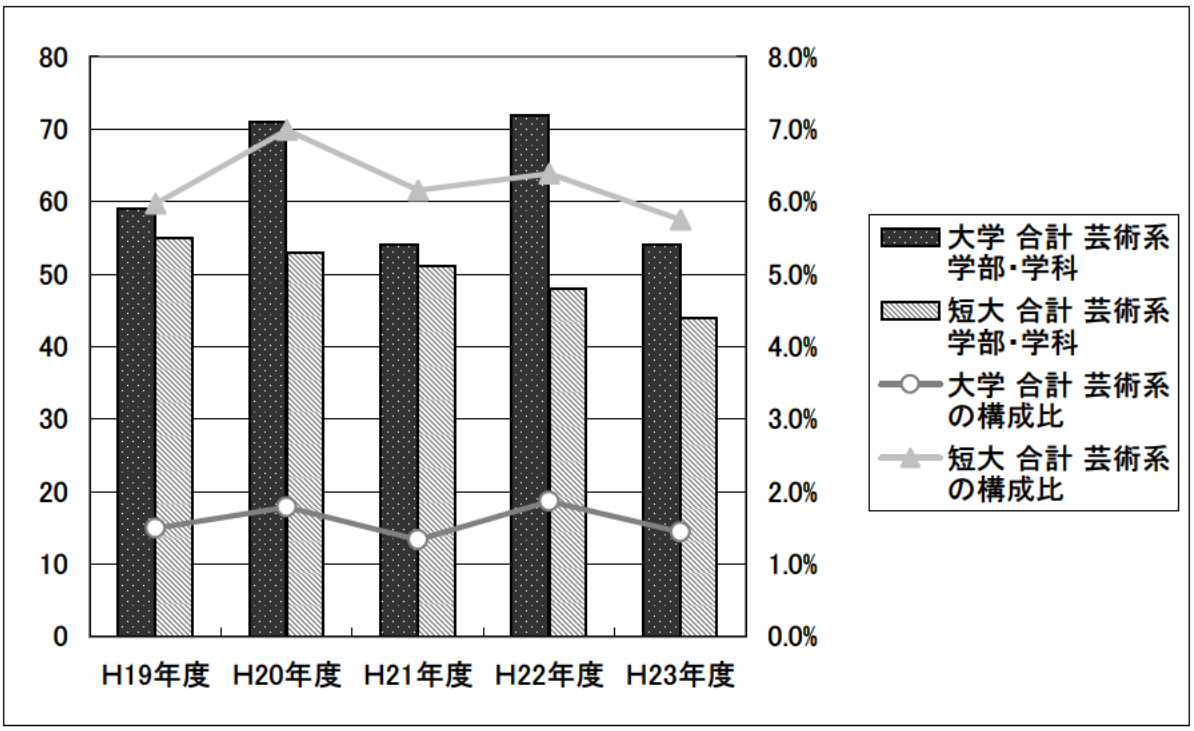


※ 文部科学省「学校基本調査」を基に作成

資料38

○秋田県内高校（全日制課程）出身者の進学状況（学部学科別）

			H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
大学	当年度卒	芸術系学部・学科	58	68	48	70	52
		全学部・学科	3,658	3,675	3,725	3,628	3,475
		芸術系の構成比	1.6%	1.9%	1.3%	1.9%	1.5%
	過年度卒	芸術系学部・学科	1	3	6	2	2
		全学部・学科	302	300	329	240	288
		芸術系の構成比	0.3%	1.0%	1.8%	0.8%	0.7%
	合計	芸術系学部・学科	59	71	54	72	54
		全学部・学科	3960	3975	4054	3868	3763
		芸術系の構成比	1.5%	1.8%	1.3%	1.9%	1.4%
短大	当年度卒	芸術系学部・学科	54	53	51	48	42
		全学部・学科	918	755	824	751	757
		芸術系の構成比	5.9%	7.0%	6.2%	6.4%	5.5%
	過年度卒	芸術系学部・学科	1	0	0	0	2
		全学部・学科	4	4	5	1	9
		芸術系の構成比	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%
	合計	芸術系学部・学科	55	53	51	48	44
		全学部・学科	922	759	829	752	766
		芸術系の構成比	6.0%	7.0%	6.2%	6.4%	5.7%

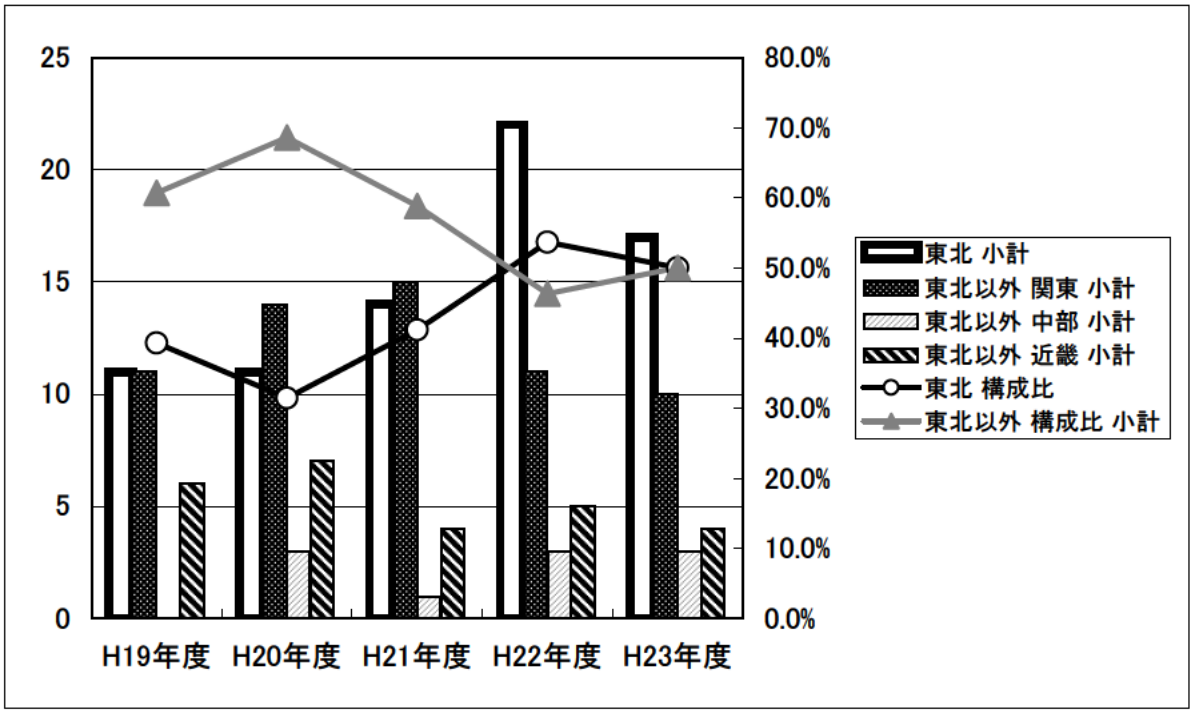


※ 秋田県教育庁「秋田県高等学校卒業者の進路状況調査」を基に作成

○秋田県内高校から芸術系大学への進学者数の推移

資料39

			H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
東北		東北芸術工科大学	11	11	14	22	17
		小計	11	11	14	22	17
		構成比	39.3%	31.4%	41.2%	53.7%	50.0%
東北以外	関東	文星芸術大学	1	0	2	1	1
		東京芸術大学	1	0	0	0	1
		多摩美術大学	0	1	0	0	1
		東京工芸大学	6	11	7	5	5
		東京造形大学	0	1	0	1	0
		武蔵野美術大学	2	1	2	2	1
		女子美術大学	1	0	2	1	1
		横浜美術大学	ー	ー	2	1	0
		小計	11	14	15	11	10
	中部	長岡造形大学	0	2	1	0	1
		静岡文化芸術大学	ー	ー	ー	2	1
		愛知県立芸術大学	0	0	0	1	0
		名古屋造形大学	0	1	0	0	1
		小計	0	3	1	3	3
	近畿	成安造形大学	0	1	0	1	0
		京都嵯峨芸術大学	0	1	0	0	0
		京都精華大学	1	2	1	1	2
		京都造形芸術大学	1	1	2	0	1
		大阪芸術大学	4	2	1	2	1
		神戸芸術工科大学	0	0	0	1	0
		宝塚造形芸術大学	0	0	0	0	0
		小計	6	7	4	5	4
	合計		17	24	20	19	17
	構成比		60.7%	68.6%	58.8%	46.3%	50.0%
総計			28	35	34	41	34



※ 秋田県教育庁「秋田県高等学校卒業者の進路状況調査」を基に作成

資料40

○専攻別専任教員一覧表

H25はH25.4.　1現在の年齢

H29はH29.3.31現在の年齢

専攻等		専門分野	職・氏名	学位	H25	H29	備　　考
Ⅰ　アーツ＆ルーツ専攻	1	石彫・彫刻	准教授 芝　山　昌　也	博士（芸術）	40	44	
	2	彫刻	准教授 皆　川　嘉　博	修士（美術）	44	48	
	3	現代日本画	准教授 山　本　太　郎	学士（芸術学）	38	42	
	4	文化人類学	講師 石　倉　敏　明	修士（総合政策学） 博士単位取得後退学	38	42	
Ⅱ　ビジュアルアーツ専攻	5	立体造形	教授 島　屋　純　晴	芸術学修士	57	61	
	6	インスタレーション	教授 岩　井　成　昭	修士（芸術学）	50	54	
	7	現代絵画（油画）・イラストレーション	教授 小　田　英　之	芸術学士 博士単位取得後退学	56	60	
	8	現代絵画（油画）	准教授 大　谷　有　花	芸術学修士	35	39	
	9	テキスタイルデザイン	准教授 長　沢　桂　一	修士（芸術）	43	47	
	10	パフォーマンス、メディアアート	准教授 高　嶺　　格	学士（美術）	45	49	
	11	デジタルメディア・アート	助教 阿　部　由布子	修士（教育学）	34	38	
Ⅲ　ものづくりデザイン専攻	12	プロダクトデザイン	教授 今　中　隆　介	修士（美術）	47	51	
	13	家具デザイン	教授 松　本　研　一	芸術学士	62	66	
	14	ガラス	教授 小牟禮　尊　人	芸術学士	50	54	
	15	彫金	准教授 安　藤　康　裕	修士（美術）	48	52	
	16	木工	准教授 山　岡　　惇	修士（教育学）	44	48	
	17	漆	准教授 熊　谷　　晃	修士（美術）	41	45	
	18	陶磁	助教 安　藤　郁　子	修士（教育学）	43	47	
	19	染	助教 森　　香　織	修士（美術）	39	43	

H25はH25.4.　1現在の年齢

H29はH29.3.31現在の年齢

専攻等			専門分野	職・氏名	学位	H25	H29	備　　考
Ⅳ　コミュニケーションデザイン専攻		20	タイポグラフィー	教授 官　能　右　泰	芸術学士	58	62	
		21	構成デザイン	准教授 金　　孝　卿	デザイン学博士	53	57	
		22	ウェブ・デザイン	准教授 ベ・ジンソク	博士（芸術学）	41	45	
		23	編集デザイン	准教授 水　田　　圭	修士（美術）	44	48	
		24	パッケージ・デザイン	准教授 孔　　鎭　烈	修士（デザイン学）	44	48	
		25	広告デザイン	准教授 坂　本　憲　信	芸術学士	51	55	
Ⅴ　景観デザイン専攻		26	商品計画	教授 渡　邉　有　一	学士（造形）	64	68	
		27	景観デザイン	准教授 山　内　貴　博	博士（美術）	42	46	
		28	建築計画	准教授 小　杉　栄次郎	工学学士	44	48	
		29	デザインワークショップ	助教 菅　原　香　織	芸術学士	50	54	
Ⅵ　美術教育センター	美学・美術史・一般教養系	30	美学・デザイン史	教授 天　貝　義　教	博士（学術）	54	58	
		31	建築史	教授 澤　田　　享	博士（工学）	56	60	
		32	情報リテラシー、プログラミング	教授 野　村　松　信	工学修士	53	57	
		33	東洋美術史	准教授 井　上　　豪	文学修士 博士単位取得後退学	45	49	
		34	英語コミュニケーション（文芸）	准教授 大八木　敦　彦	文学修士 博士単位取得後退学	52	56	
	教員養成系	35	道徳教育	教授 毛　内　嘉　威	博士（学術）	48	52	
		36	博物館学、日本美術史	教授 志　郶　匠　子	博士（文学）	46	50	
		37	美術教育（絵画）	教授 鈴　木　　司	芸術学修士	55	59	
		38	教育学	准教授 池　亀　直　子	博士（社会科学）	41	45	
		39	美術科教育・工芸科教育	准教授 尾　澤　　勇	教育学修士	49	53	
Ⅶ　社会貢献センター		40	地域産業振興	教授 五十嵐　　潤	芸術修士	61	65	
			商品計画	教授 渡　邉　有　一		64	68	兼務
			英語コミュニケーション（文芸）	准教授 大八木　敦　彦		52	56	兼務

※各専攻等内の順は、職・学位順

美術学部美術学科の履修モデル

資料41

○美術学部美術学科アーツ＆ルーツ専攻（入学当初からこの専攻に進むことを想定している学生）の履修モデル

・・・必修科目　・・・履修モデル上、各専攻共通で選択している科目　・・・その専攻を目指している場合、取得するのが望ましい科目

履修年次			１年次				２年次				３年次				４年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	哲学	2			国際関係論	2											
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			文化親類学特論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ａ１（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ａ２（景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習	1													
			写真基礎演習	1	（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	(1)													
			（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	(1)	工芸演習１（教職課程）	2													
			塑像表現１	2	（又は構成演習）	(2)													
			（又は図学・製図演習）	(2)	工芸演習２（教職課程）	2													
			英語による現代美術評論１	2	（又はﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習）	(2)													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	日本彫刻史	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2			近代絵画史	2									
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	塑像表現２	2			ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ基礎演習	1					
							油画基礎演習	1	彫刻素材基礎演習	1									
							構成論	2	現代絵画基礎演習	1									
							素材と表現	2	デザインサーベイ	1									
							彫刻基礎演習	1	デザインワークショップ演習	1									
							日本画基礎演習	1											
		小計		12		14		15		12		2		1		0		0	56
	専門専攻科目	アーツ＆ルーツ専攻科目									ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習１	8	ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習２	6	ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習３	8			
													ｱｰﾄﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	2					
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		8		8		8		10	34
	合計			12		14		15		12		10		9		8		10	90
総　計				24		18		24		16		15		9		8		10	124

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

資料42

授業科目名	文化人類学	担当教員名	石倉敏明
授業科目区分	教養科目－歴史と文化		
履修区分	必修	授業形態	講義
配当年次・学期	２年次前期	単位数	２単位

授業の到達目標及びテーマ

人類学は地球上のさまざまな民族文化を理解するだけでなく、人類の心の普遍性を問い、それを核とするユニークな表現の多様性を学ぶ方法である。本講義ではこの方法の習得を目標とする。また、芸術を軸に人間の学の根底からの再編成を目指す「芸術人類学」の成果を積極的に取り入れ、諸々の文化の根源にある神話や祭り、経済活動や労働、エコロジーや時間／空間認識といった問題を、「芸術とは何か」という主題とともに探究する。

授業計画

第１回　芸術の発生について　　「認知的ビックバン」と旧石器時代の芸術
第２回　美と超越性の起源　　脳科学に見る宗教と芸術の交錯
第３回　記憶と表現 1　　視覚表現からグラフィック芸術へ
第４回　記憶と表現 2　　諸民族の暦と時間の表現
第５回　神話学入門 1　　物語と音楽
第６回　神話学入門 2　　食べ物の起源とエネルギーの循環
第７回　神話学入門 3　　「具体の科学」としての芸術
第８回　神話学入門 4　　人間と動物の結婚
第９回　神話学入門 5　　エコロジーとしての神話学
第 10 回　贈与としての芸術 1　　「贈与」と「交換」の違い
第 11 回　贈与としての芸術 2　　流動するもの＝貨幣について
第 12 回　贈与としての芸術 3　　芸術における労働の問題
第 13 回　古代性とアヴァンギャルド 1　　モダン・アートとプライマル・アート
第 14 回　古代性とアヴァンギャルド 2　　制度外の芸術について
第 15 回　過去と未来をつなぐ営み　　全体のまとめ

テキスト

各回のテキストは適宜配布する。

参考書・参考資料等

中沢新一『カイエ・ソバージュ』『芸術人類学』、マルセル・モース『贈与論』、クロード・レヴィ＝ストロース『野生の思考』『神話論理』、マーク・シェル『芸術と貨幣』、ルイス・ハイド『ギフト』など。

学修成果の評価方法

授業への取り組み　40%　　課題の成果（試験、レポート）　60%

授業科目名	東北生活文化論	氏名	石倉敏明
授業科目区分	教養科目－歴史と文化		
履修区分	選択	授業形態	講義
配当年次・学期	１・２年次前期	単位数	２単位

授業の到達目標及びテーマ

東北地方は世界的に見てもユニークな縄文文化と呼ばれる生活様式の中心的舞台であった。この文化はいまも人々の生活の中にとけ込んでいる。この授業では人類学をはじめ考古学、民俗学、宗教学、神話学、生態学などの横断的な見地から地域の実態を見つめ、環太平洋的に連なるクニの固有性と可能性をさまざまな角度から探究する。また、出羽三山や八幡平等へのフィールド調査をとおして、東北地方に生きる現在の文化を実践的に理解し、未来に向けた新しい価値観を創造することを目的とする。

授業計画

第１回　世界のなかの東北	環太平洋における縄文文化
第２回　宇宙の循環と人の暮らし	秋田／大湯環状列石と伊勢堂岱遺跡
第３回　小盆地宇宙論	岩手／遠野物語に見るコスモロジー
第４回　「山の神」という問題１	「生産する自然」と女性性
第５回　「山の神」という問題１	姥様信仰の展開
第６回　死と再生　１	福島／ハヤマ信仰の広がり
第７回　死と再生　２	山形／出羽三山の籠り行（希望者に実習）
第８回　死と再生　３	青森／恐山に見る異界との交流
第９回　温泉と復活	湯治文化と東北
第 10 回　東北的アニミズム	山形／草木供養塔と本覚思想
第 11 回　神話と祭　１	秋田／だんぶり長者伝説
第 12 回　神話と祭　２	秋田／大日堂舞楽の構造
第 13 回　神話と祭　３	秋田／大日堂舞楽見学（現地調査）
第 14 回　東北的アヴァンギャルド	青森／棟方志功と民藝運動
第 15 回　「東北」から始まる未来	3.11 以後の鎮魂と創造

テキスト

各回のテキストは適宜配布する。

参考書・参考資料等

柳田國男『遠野物語』、岩崎敏夫『東北民間信仰の研究』、中沢新一『哲学の東北』『芸術人類学』、千歳栄『山の形をした魂』、森繁哉＋入澤美時『東北からの思考』、森繁哉＋合田純人『温泉からの思考』、ネリー・ナウマン『山の神』等。

学修成果の評価方法

学期末レポートまたは試験によって評価をおこなうが、フィールドワーク（出羽三山および八幡平）への積極的な参加も重視する。

授業科目名	日本画基礎演習	**担当教員名**	山本太郎
授業科目区分	専門科目－専門共通科目－専門基礎科目		
履修区分	選択	**授業形態**	演習
配当年次・学期	２年次前期	**単位数**	１単位

授業の到達目標及びテーマ

基本技法を学びながら小品を製作することで下絵から着色、完成まで、日本画の一連の工程を体験する。基礎的な日本画の技法を学ぶことで自己表現の土台を養う。また、古典的な技法を学ぶことで現代的な技法との類似点や相違点を発見する。

授業計画

第１回　導入・授業内容と簡単な材料等の説明
第２回　水墨１　運筆　墨の線による表現を学ぶ
第３回　水墨２　ぼかし、滲み、たらしこみ　墨による色の表現を学ぶ
第４回　水墨３　模写　水墨により簡単な古典作品の模写を行う
第５回　水墨４　墨によるスケッチ
第６回　水墨５　小下絵　スケッチを下絵におこす　※この回より小品の製作
第７回　水墨６　骨描（こつがき）　墨による下描き
第８回　着色１　材料の解説と使用法の説明　※主に胡粉の作り方など
第９回　着色２　実際の作品への着色
第 10 回　着色３　実際の作品への着色
第 11 回　着色４　実際の作品への着色
第 12 回　箔の実習　金箔（もしくは銀箔、銅箔）の技法の解説と実習
第 13 回　着色５　実際の作品への着色
第 14 回　着色６　実際の作品への着色
第 15 回　合評　完成作品の評価とアドバイス

テキスト

日本画の技法書などのコピーを適宜配布

参考書・参考資料等

特になし

学修成果の評価方法

講評の時点での作品の完成度を 50 点満点で採点し、授業への取り組みを 50 点満点で採点する。その二つの合計 100 点満点を学生の成績とする。
60 点以上（作品点数については、50 点満点中 30 点以上）を単位認定要件とする。

授業科目名	彫刻基礎演習	**担当教員名**	芝山昌也
授業科目区分	専門科目－専門共通科目－専門基礎科目		
履修区分	選択	**授業形態**	演習
配当年次・学期	２年次前期	**単位数**	１単位

授業の到達目標及びテーマ

この授業では「自然」をテーマにして抽象表現する石材彫刻の制作を行う。その制作を通じて、カービング（素材を削ること）技術による制作プロセスを知り、その魅力を知る。

自然物の形態を深く観る事によって対象物の構造や特徴を探り、観察力や洞察力を養う。その観察で得た成果を抽象表現へと変換し、発想の展開力を学ぶ。そして、自然の素材である石材に各々の「自然」を刻むことで、素材を活かした立体の制作の方法を知り、また加工の制約の多い素材を扱う事によって、立体作品の制約を学び、その制約を活かすという自然の素材を扱う彫刻の発想力を習得する。

授業はガイダンスからプランニングを行い、次にデッサンや石膏によるマケットづくりを行う。以降は素材の説明や技術、道具の説明を行った後に、実際にカービングの実技に入り、作品のプレゼンテーション、講評を行う。

授業計画

第１回　ガイダンス（授業日程の説明など)、プランニング。
第２回　構想デッサンの制作
第３回　石膏によるマケット制作
　　構想デッサン、マケットを講評する。−①
第４回　石彫制作　手道具による面出し。
第５回　石彫制作　手道具による面出し。
第６回　石彫制作　手道具によるあら取り。
第７回　石彫制作　電動工具によるあら取り。
第８回　石彫制作　電動工具によるあら取り。
　　石彫作品中間講評　−②
第９回　石彫制作　ダイヤモンド工具による細部制作。
第 10 回　石彫制作　ダイヤモンド工具による細部制作。
第 11 回　石彫制作　ダイヤモンド工具による細部制作。
第 12 回　石彫制作　砥石による機械研磨作業。
第 13 回　石彫制作　セラミカによる機械研磨作業。
第 14 回　石彫制作　ラウンド砥石による手研磨作業。
第 15 回　セッティング作業、石彫作品プレゼンテーションおよび講評　−③

テキスト

特になし。

参考書・参考資料等

石彫関係の作品集を随時紹介していく。

学修成果の評価方法

講評の時点での作品を①10 点②10 点③30 点の 50 点満点で採点し、授業への取り組みを 50 点満点で採点する。その二つの合計 100 点満点を学生の成績とする。
60 点以上（作品点数については、50 点満点中 30 点以上）を単位認定要件とする。

授業科目名	文化人類学特論	氏名	石倉敏明
授業科目区分	教養科目－歴史と文化		
履修区分	選択	授業形態	講義
配当年次・学期	３・４年次前期	単位数	２単位

授業の到達目標及びテーマ

本講義では、人びとの生活にとって欠かすことのできない「自然との関わり」について考察する。動物や植物といった非人間の生物、山や海といった自然景観、木材や毛皮といった材料、「山の神」等の聖性表現に着目し、文化と自然の二項対立を越える「第三の道」によってこれらを捉え直すことを目指す。また、伝統的な自然思想が護ろうとしてきた、全体性を基盤にした価値観を再考し、特にこれを女性性や母性といった「生命を与えるもの」の立場から理解し、還元主義的な思考に対抗する思考力を養う。

授業計画

第１回　自然と女性性について	オリエンテーション
第２回　洞窟の内と外	旧石器時代の女性スピリット像について
第３回　懐胎と誕生	女神信仰の認知科学的基盤
第４回　母乳と聖性	養育者としての大地母神
第５回　捕食者と被食者	宇宙的捕食網のなかの生命
第６回　女神と動物	野生動物の馴致と「女性的なるもの」の力
第７回　新石器革命	定住革命と竈の利用
第８回　野生種と栽培種	農業と生態系
第９回　母神から父神へ	「形而上革命」と男性一神教
第 10 回　インドの山の神と女性性	「チプコ運動」の背景
第 11 回　イヌイットのセドナ神話	生命の源流としての海
第 12 回　太平洋のハイヌヴェレ神話	農耕作物の起源
第 13 回　日本の「山の神」神話	秋田の事例から
第 14 回　近代の女神論	ガイア仮説と現代生命論
第 15 回　未来の自然へ	3.11 以後の自然といかに結ばれるか

テキスト

各回の参照テキストは適宜配布する。

参考書・参考資料等

ネリー・ナウマン『山の神』、ヴァンダナ・シヴァ『生きる歓び』、ベアリング＋キャッシュフォード『女神大全』、中沢新一『カイエ・ソバージュ』、ジョルジュ・バタイユ『ラスコーの壁画』『エロティシズム』、ミルチャ・エリアーデ『大地・農耕・女性』他。

学修成果の評価方法

授業への取り組み　30%　　課題の成果（試験、レポート）　70%

授業科目名	アーツ＆ルーツ演習１	**担当教員名**	皆川嘉博、芝山昌也、山本太郎、石倉敏明
授業科目区分	専門専攻科目–アーツ＆ルーツ専攻科目		
履修区分	選択	**授業形態**	演習
配当年次・学期	3 年次前期	**単位数**	8 単位（120 コマ）

授業の到達目標及びテーマ

本授業では「テーマと造形」を課題として、テーマを正確に設定してから、作品の制作に取り組む。作品のテーマは大きく分けて、「時間」、「場所」、「空間」の三つのキーワードから連想されるテーマを設定していく。上記のキーワードの「時間」とは、例えば「江戸」や「縄文」などの時代の事も含み、「場所」とは、「秋田」や「東北」などの地域を含む。また「空間」とは「遺跡」や「里山」などを含む。

そして、設定したテーマについて、より深く調査、分析をして、客観的な考察を加え言語化する。そして、各々のテーマに適した造形表現形式で創造していく。

本授業を通じて、テーマ（言葉）の設定から完成に至るまでのプロセスを知り、そのテーマから派生したイメージを、実際にはどの様に造形作品に置き換えていくかを体験し、造形作品におけるテーマの意味を理解する。

本授業は、アーツ＆ルーツ演習２、アーツ＆ルーツ演習３へと段階的に進んでいく。

授業計画

授業の１／３はテーマ設定に関する演習を、２／３は作品制作に関する演習を行う。

第 1 回　授業の概要や日程について（ガイダンス）。
第 2－7 回　造形作品のテーマ設定を考察する。
第 8－12 回　テーマの決定、および、その調査内容や方法について。
第 13－33 回　テーマについての調査、考察を開始（フィールドワーク）。
第 34－38 回　調査についてのレポートを作成。
第 39－40 回　レポートプレゼンテーション。----①講評

第 41－43 回　レポートを活かした造形作品のアイデアスケッチ----②講評
第 44－53 回　マケット制作、下図制作----③講評
第 54－55 回　日本画、彫刻・彫塑に分かれ、道具や設備についてガイダンスを実施する。
第 56－59 回　材料の準備、道具づくり。

第 60－75 回　本制作開始（日本画、彫刻・彫塑）。
第 76－77 回　受講者全体で講評（レポートとの整合性など）を行う。----④講評
第 78－118 回　本制作（日本画、彫刻・彫塑）
第 119－120 回　完成作品展示、プレゼンテーション----⑤講評

テキスト

なし

参考書・参考資料等

参考になる作品集や論文集を随時紹介していく。

学修成果の評価方法

講評の時点での作品を①10 点②10 点③10 点④10 点⑤10 点の 50 点満点で採点し、授業への取り組み状況を 50 点満点で採点する。その二つの合計 100 点満点を学生の成績とする。３分の２以上の出席と、作品点数 60 点以上を単位認定要件とする。

授業科目名	アーツ＆ルーツ演習 2	担当教員名	皆川嘉博、芝山昌也、山本太郎、石倉敏明
授業科目区分	専門専攻科目–アーツ＆ルーツ専攻科目		
履修区分	選択	授業形態	演習
配当年次・学期	3 年次後期	単位数	6 単位（90 コマ）

授業の到達目標及びテーマ

本授業は「アーツ＆ルーツ演習１」で学んだテーマ設定を重視しながら、それを造形表現へと発展させるプロセスのなかで、テーマ設定の部分をより深く探っていく「ルーツ」についての調査研究を行う。つまり、これはアーツ＆ルーツ専攻の「アーツ＆ルーツ演習３」へと継続する為の「フィールドワーク」を中心にした授業である。

本授業では、秋田や東北の地域文化をより深く調査、探求し、最終的に調査の成果を小論文にまとめ、プレゼンテーションで発表する。調査するテーマは、特に秋田や東北地域と関わるものを中心とする。例えば、秋田にある縄文時代の遺跡、民話や説話、来訪神儀礼や修験芸能、里山・里海の生活文化、秋田蘭画、民藝や生活工芸などから、創作次元の源泉となる独創的なテーマを探し、これを調査研究する。

最終的には、記録と表現を兼ねる民族誌的作品の制作により、秋田や東北文化の独自性を正しく理解したうえで、地域文化に深く根ざした芸術創造の在り方を考察していく。

履修条件：アーツ＆ルーツ演習１の単位を取得していること。

授業計画

第 1 回　授業の概要や日程について（ガイダンス）。
第 2－5 回　地域文化（歴史・民俗・風土・信仰等）を知る資料調査。
第 6－10 回　テーマの決定、および、その調査内容や方法について。
第 11－20 回　テーマについての調査、考察を開始（フィールドワーク①）
第 21－24 回　調査に基づいたレポートを作成。
第 25－27 回　プレゼンテーション《1》【観察】----①講評
第 28－32 回　比較考察のための資料調査。
第 33－35 回　民族誌的アプローチのアイデアを発表----②講評
第 36－44 回　民族誌的アプローチによるフィールドワーク②
第 45－50 回　民族誌的視点から見たレポート（記録、考察、映像、地図、暦等）を作成。
第 51－53 回　プレゼンテーション《2》【構想】 ----③講評
第 54－57 回　民族誌的視点に基づいた芸術創作についての資料調査。
第 58－70 回　フィールドワーク③
第 71－80 回　民族誌的作品の作成。
第 81－88 回　受講者全体で講評（レポートとの整合性など）を行う。----④講評
第 89－90 回　プレゼンテーション《3》【創造】----⑤講評

テキスト

なし

参考書・参考資料等

参考になる作品集・論文集・映像等を随時紹介していく。

学修成果の評価方法

講評各回を①10 点②10 点③10 点④10 点⑤10 点の 50 点満点で採点し、調査・発表への取り組み、出席状況を 50 点満点で採点する。その二つの合計 100 点満点を学生の成績とする。３分の２以上の出席と、プレゼンテーションの点数 60 点以上を単位認定要件とする。

授業科目名	アーツ＆ルーツ演習 3	**担当教員名**	皆川嘉博、芝山昌也、山本太郎、石倉敏明
授業科目区分	専門専攻科目–アーツ＆ルーツ専攻科目		
履修区分	選択	**授業形態**	演習
配当年次・学期	4 年次前期	**単位数**	8 単位（120 コマ）

授業の到達目標及びテーマ

本授業では「フィールドワークと造形」を課題として、「アーツ＆ルーツ演習２」のフィールドワークによって得られた研究成果をベースにして、地域の歴史文化から学んだルーツと、現在の芸術表現とを融合させた作品の制作に取り組む。また、ここで制作する作品は現代的な日本画を軸とした平面作品または、現代的な彫刻・彫塑を軸とした立体作品とする。

最終的な卒業研究（アーツ＆ルーツ専攻）で本専攻が目指す、地域の歴史や文化を根源にした新しい領域の作品づくりへと繋げていく。

授業計画

授業の 1 /5 はテーマ設定に関する演習を、4/5 は作品制作に関する演習を行う。

（第 1 回－24 回）

第 1 回　授業の概要や日程について（ガイダンス）。

第 2－8 回　造形作品のテーマ設定を考察する。

第 9－10 回　テーマ発表。----①講評

第 11－22 回　テーマをベースとした作品プランや作品マケットの作成。

第 23・24 回　作品プランや作品マケット発表。----②講評

（第 25 回ー60 回）

第 25－30 回　レポートを活かした造形作品のアイデアスケッチ----②講評

第 31－52 回　マケット制作、下図制作----③講評

第 53－55 回　日本画、彫刻・彫塑に分かれ、道具や設備についてガイダンスを実施する。

第 56－60 回　材料の準備、道具づくり。

（第 61 回－120 回）

第 61－75 回　本制作開始（日本画、彫刻・彫塑）。

第 76－77 回　受講者全体で講評（レポートとの整合性など）を行う。----④講評

第 78－118 回　本制作（日本画、彫刻・彫塑）

第 119・120 回　完成作品展示、プレゼンテーション----⑤講評

テキスト

なし

参考書・参考資料等

参考になる作品集や論文集を随時紹介していく。

学修成果の評価方法

講評の時点での作品を①10 点②10 点③10 点④10 点⑤10 点の 50 点満点で採点し、授業への取り組み、出席状況を 50 点満点で採点する。その二つの合計 100 点満点を学生の成績とする。３分の２以上の出席と、作品点数 60 点以上を単位認定要件とする。

授業科目名	アートプロジェクト演習	**担当教員名**	皆川嘉博、芝山昌也、山本太郎、石倉敏明
授業科目区分	専門専攻科目–アーツ＆ルーツ専攻科目		
履修区分	選択	**授業形態**	演習
配当年次・学期	3 年次後期	**単位数**	2 単位

授業の到達目標及びテーマ

本授業では、地域社会で行われてきたアートプロジェクトの目的やアーティストの関わり方について理解を深めて、実際に地域社会で展覧会開催に必要な知識を学び、企画、立案について考え、実施までを行う。

特に、国際的な越後妻有アートトリエンナーレや秋田地域で行われているアートプロジェクト（あきたアートプロジェクト（秋田市）、KAMIKOANI プロジェクト（北秋田郡）、ネオ・クラシック・カクノダテ）などに参加する為の具体的なプランを専攻の学生グループで企画し提案する。そのような提案を通じて、アートやアーティストが地域社会で如何なる役割を持っているかを考察させる。また、具体的な企画書の作成、申請、応募、運営などの実務や運営体制の構築なども行わせる。

そして、アーツ＆ルーツ専攻の新しい表現の場、地域社会から発言を行う新しい形を考察させていく。

授業計画

第 1 回　授業の概要や日程について（ガイダンス）。
第 2・3 回　実地調査（リサーチ、インタビュー）。
第 4・5 回　グループによる企画立案。（1 グループ 3 名程度）
第 6－8 回　グループによるプレゼンテーション。
第 9－12 回　企画実施に向けての準備。
第 13・14 回　中間プレゼンテーション。----①講評
第 15－28 回　企画実施（制作、ワークショップ、展示、広報など）
第 29・30 回　研究成果プレゼンテーション----②講評

テキスト

なし

参考書・参考資料等

参考になる作品集や論文集を随時紹介していく。

学修成果の評価方法

講評の時点での作品を①25 点②25 点の 50 点満点で採点し、授業への取り組み、出席状況を 50 点満点で採点する。その二つの合計 100 点満点を学生の成績とする。3 分の 2 以上の出席と、作品点数 60 点以上を単位認定要件とする。

○美術学部美術学科ものづくりデザイン専攻（入学当初からこの専攻に進むことを想定している学生）の履修モデル

資料43

…必修科目　…履修モデル上、各専攻共通で選択している科目　…その専攻を目指している場合、取得するのが望ましい科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	哲学	2			国際関係論	2											
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			文化親類学特論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾛｸﾗﾐﾝｸﾞ 入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ａ２（景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習	1													
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎	1	工芸演習１（教職課程）	2													
			塑像表現１	2	（又は構成演習）	(2)													
			（又は図学・製図演習）	(2)	工芸演習２（教職課程）	2													
			英語による現代美術評論１	2	（又はﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習）	(2)													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	近代装飾ﾃﾞｻﾞｲﾝ史	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2													
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	商品計画演習	1	色彩演習	1							
							油画基礎演習	1	地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ	2									
							構成論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｻｰﾍﾞｲ	1									
							素材と表現	2	建築ﾓﾃﾞﾙ演習	1									
							ものづくり製図演習	1	知的財産と運用	2									
							DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1											
							彫刻基礎演習	1											
		小計		12		14		16		11		3		0		0		0	56
	専門専攻科目	ものづくりデザイン専攻科目									地域産業研究	1	ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	4	ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習３	6			
											ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	4					
											ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習２	1							
											ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１	3							
											ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１	3							
											2D・3D CAD演習	1							
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		10		8		6		10	34
	合計			12		14		16		11		13		8		6		10	90
総　計				24		18		25		15		18		8		6		10	124

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

○美術学部美術学科景観デザイン専攻（入学当初からこの専攻に進むことを想定している学生）の履修モデル

…必修科目　…履修モデル上、各専攻共通で選択している科目　…その専攻を目指している場合、取得するのが望ましい科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	哲学	2			国際関係論	2											
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			文化親類学特論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ａ２（景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ａ１（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習	1													
			ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎	1	工芸演習１（教職課程）	2													
			塑像表現１	2	（又は構成演習）	(2)													
			（又は図学・製図演習）	(2)	工芸演習２（教職課程）	2													
			英語による現代美術評論１	2	（又はﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習）	(2)													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	日本建築史１	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2													
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	商品計画演習	1	色彩演習	1							
							油画基礎演習	1	地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ	2									
							構成論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｻｰﾍﾞｲ	1									
							素材と表現	2	知的財産と運用	2									
							DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	デザインワークショップ演習	1									
							映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎	1	ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	1									
		小計		12		14		15		12		3		0		0		0	56
	専門専攻科目	景観デザイン専攻科目									景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１	4	CAD演習２（景観）	2	景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習３	5			
											文化行政学	2	景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	5					
											都市ﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2							
											景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2							
											CAD演習１（建築）	2							
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		12		7		5		10	34
	合計			12		14		15		12		15		7		5		10	90
総　計				24		18		24		16		20		7		5		10	124

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

資料 44

授業科目名	コミュニケーションデザイン論	氏名	水田　圭
授業科目区分	専門科目－専門専攻科目－コミュニケーションデザイン専攻科目		
履修区分	選択	授業形態	講義
配当年次・学期	３年次前期	単位数	２単位

授業の到達目標及びテーマ

テーマは、視覚伝達メディアの発展に伴い領域を拡大し、双方向性を実現しつつあるコミュニケーションデザインである。その現在について、過去の事例、身近な事例を検証しながら探っていく。特に、一方的な発信から双方向コミュニケーションへの変化による影響について、デザイン制作の立場から考える。

毎回の講義は、「理論」と「事例」の紹介から成り立つ。「理論」では知識や現象を確認するのではなく、身の回りにおける「コミュニケーション」と「デザイン」を考察することを通じて変化を捉える力を獲得することが到達目標である。「事例」では、「理論」に関連する社会やデザインに変化をもたらした事例を紹介する。「技術の開発」「Wikipedia」「APPLE」など歴史的な転換点のみならず、「FACEBOOK」「YOUTUBE」「ニコニコ動画」など現在の社会変動を紹介する。

第１回　ガイダンス　コミュニケーションデザインとは
第２回　情報を整理する①　事例①「情報の流れの変化・全体像」
第３回　情報を整理する②　事例②「情報の流れの変化・音楽など」
第４回　情報を伝える①　事例③「情報の流れの変化・WEB など」
第５回　情報を伝える②　事例④「情報の流れの変化・グラフィックデザインなど」
第６回　デザイン①「目的を押さえる」　事例⑤「企業広報・全体像」
第７回　デザイン②「課題をみつける」　事例⑥「企業広報・企業ブランド」
第８回　デザイン③「課題をみつける」　事例⑦「企業広報・ステークホルダー」
第９回　デザイン④デザイン企画（深める）　事例⑧「企業広報・これからの課題」
第 10 回　デザイン⑤デザイン企画（整理する）　事例⑨「領域の拡大・ポスターなど」
第 11 回　デザイン⑥情報の共有、双方向の実現　事例⑩「領域の拡大・CM やキャンペーンなど」
第 12 回　デザイン⑦デザインの実行とフィードバック　事例⑪「領域の拡大・WEB など」
第 13 回　個人で情報発信する　事例⑫「領域の拡大・双方向型の進化」
第 14 回　情報の双方向化による個人や社会への影響
第 15 回　まとめ

テキスト

なし

参考書・参考資料等

なし

学修成果の評価方法

毎回課される小課題については欠席分も含め全て提出する事。小課題の点数（５０％）以上を可とする。

美術学部美術学科＋教職課程（中学美術）の履修モデル

資料45

①美術学部美術学科アーツ＆ルーツ専攻の履修モデル

…必修科目　　…履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	（哲学）	(2)			国際関係論	2											
			法学（日本国憲法	2															
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ａ１（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	1 (1)													
			写真基礎演習（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	1 (1)	工芸演習１（教職課程）（又は構成演習）	2 (2)													
			塑像表現１（又は図学・製図演習）	2 (2)	（又は工芸演習２）（教職課程）	(2)													
			英語による現代美術評論１	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	2													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	日本彫刻史	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2			近代絵画史	2									
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	塑像表現２	2			（ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ基礎演習）	(1)					
							油画基礎演習	1	彫刻素材基礎演習	1			絵画１（教職課程）	1					
							構成論	2	現代絵画基礎演習	1									
							素材と表現	2	（ｲﾗｽﾄﾚｰｼｮﾝ基礎演習）	(1)									
							彫刻基礎演習	1	（ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ基礎演習）	(1)									
							日本画基礎演習	1	ﾒﾃﾞｨｱｱｰﾄ基礎演習	2									
		小計		12		14		15		12		2		1		0		0	56
	専門専攻科目	アーツ＆ルーツ専攻科目									ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習１	8	ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習２	6	ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習３	8			
													ｱｰﾄﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	2					
		ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ専攻科目									映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1							
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		9		8		8		10	35
	合計			12		14		15		12		11		9		8		10	91
総　計				24		18		24		16		16		9		8		10	125
教職課程科目			教職論	2	教育学原論１	2	美術科教育法概論	2			特別活動の理論と方法	2					教職実践演習	2	
			道徳教育	2	教育課程・方法論	2	教育心理学１	2	美術科指導法	2	教育心理学２	2			教育実習事前事後指導	1			
											介護等体験実習	1	美術科指導法演習	2	教育実習１	2			
											教育相談	2			教育実習２	2			
											生徒指導・進路指導	2							
	合計			4		4		4		2		9		2		5		2	32
総　計				28		22		28		18		25		11		13		12	157

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

②美術学部美術学科ビジュアルアーツ専攻の履修モデル

･･･必修科目　　･･･履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	（哲学）	(2)			国際関係論	2											
			法学（日本国憲法	2															
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ａ１（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習	1													
			写真基礎演習	1	（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	(1)													
			（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	(1)	工芸演習１（教職課程）	2													
			塑像表現１	2	（又は構成演習）	(2)													
			（又は図学・製図演習）	(2)	（又は工芸演習２）（教職課程）	(2)													
			英語による現代美術評論１	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	2													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2									
			東洋美術史	2	西洋美術史	2			近代絵画史	2									
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	現代絵画基礎演習	1									
							油画基礎演習	1	ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ基礎演習	1			絵画１（教職課程）	1					
							構成論	2	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ基礎演習	1									
							素材と表現	2	ﾃｷｽﾀｲﾙ表現基礎演習	1									
							日本画基礎演習	1	ｲﾗｽﾄﾚｰｼｮﾝ基礎演習	1									
									ﾒﾃﾞｨｱｱｰﾄ基礎演習	2									
									塑像表現２（彫刻素材基礎演習）	2 (1)									
		小計		12		14		14		15		0		1		0		0	56
	専門専攻科目	ビジュアルアーツ専攻科目									ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習１	8	ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習２	8	ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習３	6			
													古美術研究	2					
		ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ専攻科目									映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1							
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		9		10		6		10	35
	合計			12		14		14		15		9		11		6		10	91
総　計				24		18		23		19		14		11		6		10	125
教職課程科目			教職論	2	教育学原論１	2	美術科教育法概論	2			特別活動の理論と方法	2					教職実践演習	2	
			道徳教育	2	教育課程・方法論	2	教育心理学１	2	美術科指導法	2	教育心理学２	2			教育実習事前事後指導	1			
											介護等体験実習	1	美術科指導法演習	2	教育実習１	2			
											教育相談	2			教育実習２	2			
											生徒指導・進路指導	2							
	合計			4		4		4		2		9		2		5		2	32
総　計				28		22		27		21		23		13		11		12	157

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

③美術学部美術学科ものづくりデザイン専攻の履修モデル

…必修科目　　…履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
区分			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	（哲学）	(2)			国際関係論	2											
			法学（日本国憲法	2															
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ａ２（景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習	1													
			写真基礎演習	1	（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	(1)													
			（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	(1)	工芸演習１（教職課程）	2													
			塑像表現１	2	（又は構成演習）	(2)													
			（又は図学・製図演習）	(2)	（又は工芸演習２）（教職課程）	(2)													
			英語による現代美術評論１	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	2													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	近代装飾ﾃﾞｻﾞｲﾝ史	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2													
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	商品計画演習	1	（色彩演習）	(1)	絵画１（教職課程）	1					
							油画基礎演習	1	地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ	2									
							構成論	2	（ﾃﾞｻﾞｲﾝｻｰﾍﾞｲ）	(1)									
							素材と表現	2	（建築ﾓﾃﾞﾙ演習）	(1)									
							ものづくり製図演習	1	知的財産と運用	2									
							DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1											
							（彫刻基礎演習）	(1)	現代絵画基礎演習	1									
									ｱﾆﾒｰﾄ基礎演習	2									
		小計		12		14		15		12		2		1		0		0	56
	専門専攻科目	ものづくりデザイン専攻科目									地域産業研究	1	ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	4	ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習３	6			
											ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	4					
											ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習２	1							
											ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１	3							
											ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１	3							
											2D・3D CAD演習	1							
		ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ専攻科目									映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1							
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		11		8		6		10	35
	合計			12		14		15		12		13		9		6		10	91
総　計				24		18		24		16		18		9		6		10	125
教職課程科目			教職論	2	教育学原論１	2	美術科教育法概論	2			特別活動の理論と方法	2					教職実践演習	2	
			道徳教育	2	教育課程・方法論	2	教育心理学１	2	美術科指導法	2	教育心理学２	2			教育実習事前事後指導	1			
											介護等体験実習	1	美術科指導法演習	2	教育実習１	2			
											教育相談	2			教育実習２	2			
											生徒指導・進路指導	2							
	合計			4		4		4		2		9		2		5		2	32
総　計				28		22		28		18		27		11		11		12	157

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

④美術学部美術学科コミュニケーションデザイン専攻の履修モデル

･･･必修科目　　･･･履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	（哲学）	(2)			国際関係論	2											
			法学（日本国憲法	2															
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化コミュニケーション論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習	1													
			写真基礎演習	1	（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	(1)													
			（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	(1)	工芸演習１（教職課程）	2													
			塑像表現１	2	（又は構成演習）	(2)													
			（又は図学・製図演習）	(2)	（又は工芸演習２）（教職課程）	(2)													
			英語による現代美術評論１	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	2													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	近代装飾ﾃﾞｻﾞｲﾝ史	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2													
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	1	色彩演習	1	ﾌﾞｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝ	1					
							油画基礎演習	1	ﾀｲﾎﾟｸﾞﾗﾌｨ基礎演習	1			絵画１（教職課程）	1					
							構成論	2	商品計画演習	1									
							素材と表現	2	（地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ）	(2)									
							DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	（ﾃﾞｻﾞｲﾝｻｰﾍﾞｲ）	(1)									
							映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎（ものづくり製図演習）	1 (1)	現代絵画基礎演習	1									
									ｽﾀｼﾞｵｱｰﾄ基礎演習	2									
		小計		12		14		15		10		3		2		0		0	56
	専門専攻科目	コミュニケーションデザイン専攻科目									ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｄ	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	5			
											ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ａ	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｅ	2					
											ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｂ	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｆ	2					
											ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｃ	2	3D･CG表現演習２	1					
											ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2							
											映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1							
											3D･CG表現演習１	1							
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		12		7		5		10	34
	合計			12		14		15		10		15		9		5		10	90
総　計				24		18		24		14		20		9		5		10	124
教職課程科目			教職論	2	教育学原論１	2	美術科教育法概論	2			特別活動の理論と方法	2					教職実践演習	2	
			道徳教育	2	教育課程・方法論	2	教育心理学１	2	美術科指導法	2	教育心理学２	2			教育実習事前事後指導	1			
											介護等体験実習	1	美術科指導法演習	2	教育実習１	2			
											教育相談	2			教育実習２	2			
											生徒指導・進路指導	2							
	合計			4		4		4		2		9		2		5		2	32
総　計				28		22		28		16		29		11		10		12	156

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

⑤美術学部美術学科景観デザイン専攻の履修モデル

･･･必修科目　　･･･履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	（哲学）	(2)			国際関係論	2											
			法学（日本国憲法	2															
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ａ２（景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習	1													
			写真基礎演習	1	（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	(1)													
			（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	(1)	工芸演習１（教職課程）	2													
			塑像表現１	2	（又は構成演習）	(2)													
			（又は図学・製図演習）	(2)	（又は工芸演習２）（教職課程）	(2)													
			英語による現代美術評論１	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	2													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	日本建築史１	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2													
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	商品計画演習	1	（色彩演習）	(1)							
							油画基礎演習	1	地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ	2			絵画１（教職課程）	1					
							構成論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｻｰﾍﾞｲ	1									
							素材と表現	2	知的財産と運用	2									
							DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	（ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習）	(1)									
							（映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎	(1)	（ﾀｲﾎﾟｸﾞﾗﾌｨ基礎演習）	(1)									
									現代絵画基礎演習	1									
									ﾒﾃﾞｨｱｱｰﾄ基礎演習	2									
		小計		12		14		14		13		2		1		0		0	56
	専門専攻科目	景観デザイン専攻科目									景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１	4	CAD演習２（景観）	2	景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習３	5			
											文化行政学	2	景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	5					
											都市ﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2							
											景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2							
											CAD演習１（建築）	2							
		ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ専攻科目									映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1							
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		13		7		5		10	35
	合計			12		14		14		13		15		8		5		10	91
総　計				24		18		23		17		20		8		5		10	125
教職課程科目			教職論	2	教育学原論１	2	美術科教育法概論	2			特別活動の理論と方法	2					教職実践演習	2	
			道徳教育	2	教育課程・方法論	2	教育心理学１	2	美術科指導法	2	教育心理学２	2			教育実習事前事後指導	1			
											介護等体験実習	1	美術科指導法演習	2	教育実習１	2			
											教育相談	2			教育実習２	2			
											生徒指導・進路指導	2							
	合計			4		4		4		2		9		2		5		2	32
総　計				28		22		27		19		29		10		10		12	157

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

美術学部美術学科＋教職課程（高校美術）の履修モデル

①美術学部美術学科アーツ＆ルーツ専攻の履修モデル

…必修科目　　…履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	（哲学）	(2)			国際関係論	2											
			法学（日本国憲法	2															
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化コミュニケーション論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ａ１（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習	1													
			写真基礎演習（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	1 (1)	（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	(1)													
			塑像表現１	2	工芸演習１（教職課程）	2													
			（又は図学・製図演習）	(2)	（又は構成演習）	(2)													
			英語による現代美術評論１	2	（又は工芸演習２）（教職課程）	(2)													
					ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	2													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	日本彫刻史	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2			近代絵画史	2									
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	塑像表現２	2			（ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ基礎演習）	(1)					
							油画基礎演習	1	彫刻素材基礎演習	1			絵画１（教職課程）	1					
							構成論	2	現代絵画基礎演習	1									
							素材と表現	2	（ｲﾗｽﾄﾚｰｼｮﾝ基礎演習）	(1)									
							彫刻基礎演習	1	（ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ基礎演習）	(1)									
							日本画基礎演習	1	ﾒﾃﾞｨｱｱｰﾄ基礎演習	2									
		小計		12		14		15		12		2		1		0		0	56
	専門専攻科目	アーツ＆ルーツ専攻科目									ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習１	8	ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習２	6	ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習３	8			
													ｱｰﾄﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	2					
		ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ専攻科目									映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1							
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		9		8		8		10	35
	合計			12		14		15		12		11		9		8		10	91
総　計				24		18		24		16		16		9		8		10	125
教職課程科目			教職論	2	教育学原論	2	美術科教育法概論	2									教職実践演習	2	
					教育課程・方法論	2	教育心理学１	2			教育心理学２	2	美術科指導法	2	教育実習事前事後指導	1			
											特別活動の理論と方法	2			教育実習１	2			
											教育相談	2							
											生徒指導・進路指導	2							
	合計			2		4		4		0		8		2		3		2	25
総　計				26		22		28		16		24		11		11		12	150

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

②美術学部美術学科ビジュアルアーツ専攻の履修モデル

…必修科目　　…履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	（哲学）	(2)			国際関係論	2											
			法学（日本国憲法）	2															
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ａ１（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習	1													
			写真基礎演習（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	1 (1)	（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	(1)													
					（又は工芸演習１）（教職課程）	(2)													
			塑像表現１	2	構成演習	2													
			（又は図学・製図演習）	(2)	（又は工芸演習２）（教職課程）	(2)													
			英語による現代美術評論１	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	2													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2									
			東洋美術史	2	西洋美術史	2			近代絵画史	2									
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	現代絵画基礎演習	1									
							油画基礎演習	1	ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ基礎演習	1			絵画１（教職課程）	1					
							構成論	2	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ基礎演習	1									
							素材と表現	2	ﾃｷｽﾀｲﾙ表現基礎演習	1									
							日本画基礎演習	1	ｲﾗｽﾄﾚｰｼｮﾝ基礎演習	1									
									ﾒﾃﾞｨｱｱｰﾄ基礎演習	2									
									塑像表現２（彫刻素材基礎演習）	2 (1)									
		小計		12		14		14		15		0		1		0		0	56
	専門専攻科目	ビジュアルアーツ専攻科目									ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習１	8	ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習２	8	ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習３	6			
													古美術研究	2					
		ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ専攻科目									映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1							
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		9		10		6		10	35
	合計			12		14		14		15		9		11		6		10	91
総計				24		18		23		19		14		11		6		10	125
教職課程科目			教職論	2	教育学原論	2	美術科教育法概論	2									教職実践演習	2	
					教育課程・方法論	2	教育心理学１	2			教育心理学２	2	美術科指導法	2	教育実習事前事後指導	1			
											特別活動の理論と方法	2			教育実習１	2			
											教育相談	2							
											生徒指導・進路指導	2							
	合計			2		4		4		0		8		2		3		2	25
総計				26		22		27		19		22		13		9		12	150

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

③美術学部美術学科ものづくりデザイン専攻の履修モデル

･･･必修科目　　･･･履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
区分			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	（哲学）	(2)			国際関係論	2											
			法学（日本国憲法	2															
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ａ２（景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習	1													
			写真基礎演習	1	（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	(1)													
			（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	(1)	（又は工芸演習１）（教職課程）	(2)													
			塑像表現１	2	構成演習	2													
			（又は図学・製図演習）	(2)	（又は工芸演習２）（教職課程）	(2)													
			英語による現代美術評論１	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	2													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	（近代装飾ﾃﾞｻﾞｲﾝ史）	(2)							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2					日本彫刻史	2							
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	商品計画演習	1	色彩演習	1							
							油画基礎演習	1	地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ	2			絵画１（教職課程）	1					
							構成論	2	（ﾃﾞｻﾞｲﾝｻｰﾍﾞｲ）	(1)									
							素材と表現	2	（建築ﾓﾃﾞﾙ演習）	(1)									
							ものづくり製図演習	1	（知的財産と運用）	(2)									
							DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1											
							彫刻基礎演習	1	現代絵画基礎演習	1									
									ｱﾆﾒｰﾄ基礎演習	2									
		小計			12		14		16		10		3		1		0		0	56
	専門専攻科目	ものづくりデザイン専攻科目									地域産業研究	1	ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	4	ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習３	6			
											ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	4					
											ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習２	1							
											ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１	3							
											ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１	3							
											2D・3D CAD演習	1							
		ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ専攻科目									映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1							
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		11		8		6		10	35
	合計			12		14		16		10		14		9		6		10	91
総　計				24		18		25		14		19		9		6		10	125
教職課程科目			教職論	2	教育学原論	2	美術科教育法概論	2									教職実践演習	2	
					教育課程・方法論	2	教育心理学１	2			教育心理学２	2	美術科指導法	2	教育実習事前事後指導	1			
											特別活動の理論と方法	2			教育実習１	2			
											教育相談	2							
											生徒指導・進路指導	2							
	合計			2		4		4		0		8		2		3		2	25
総　計				26		22		29		14		27		11		9		12	150

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

④美術学部美術学科コミュニケーションデザイン専攻の履修モデル

･･･必修科目　　･･･履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	（哲学）	(2)			国際関係論	2											
			法学（日本国憲法）	2															
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化コミュニケーション論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習	1													
			写真基礎演習	1	（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	(1)													
			（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	(1)	（又は工芸演習１）（教職課程）	(2)													
			塑像表現１	2	構成演習	2													
			（又は図学・製図演習）	(2)	（又は工芸演習２）（教職課程）	(2)													
			英語による現代美術評論１	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	2													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	（近代装飾ﾃﾞｻﾞｲﾝ史）	(2)							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2			近代絵画史	2									
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	1	色彩演習	1	ﾌﾞｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝ	1					
							油画基礎演習	1	ﾀｲﾎﾟｸﾞﾗﾌｨ基礎演習	1			絵画１（教職課程）	1					
							構成論	2	商品計画演習	1									
							素材と表現	2	（地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ）	(2)									
							DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	（ﾃﾞｻﾞｲﾝｻｰﾍﾞｲ）	(1)									
							映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎（ものづくり製図演習）	1	現代絵画基礎演習	1									
								(1)	ｱﾆﾒｰｼｮﾝ基礎演習	2									
		小計		12		14		15		12		1		2		0		0	56
	専門専攻科目	コミュニケーションデザイン専攻科目									ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ａ	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｂ	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｃ	2	ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2	映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	3D･CG表現演習１	1	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｄ	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｅ	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｆ	2	3D･CG表現演習２	1	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	5		
		卒業研究																	卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		12		7		5		10	34
	合計			12		14		15		12		13		9		5		10	90
総　計				24		18		24		16		18		9		5		10	124
教職課程科目			教職論	2	教育学原論	2	美術科教育法概論	2										教職実践演習	2
					教育課程・方法論	2	教育心理学１	2			教育心理学２	2	美術科指導法	2	教育実習事前事後指導	1			
											特別活動の理論と方法	2			教育実習１	2			
											教育相談	2							
											生徒指導・進路指導	2							
	合計			2		4		4		0		8		2		3		2	25
総　計				26		22		28		16		26		11		8		12	149

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

⑤美術学部美術学科景観デザイン専攻の履修モデル

･･･必修科目　　･･･履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	（哲学）	(2)			国際関係論	2											
			法学（日本国憲法	2															
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2 2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2 2	現代芸術演習Ａ２（景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）現代芸術演習Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1 1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習	1													
			写真基礎演習	1	（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	(1)													
			（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	(1)	（又は工芸演習１）（教職課程）	(2)													
			塑像表現１	2	構成演習	2													
			（又は図学・製図演習）	(2)	（又は工芸演習２）（教職課程）	(2)													
			英語による現代美術評論１	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	2													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	日本建築史１	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2													
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	商品計画演習	1	色彩演習	1							
							油画基礎演習	1	地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ	2			絵画１（教職課程）	1					
							構成論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｻｰﾍﾞｲ	1									
							素材と表現	2	（知的財産と運用	(2)									
							DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	（ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習）	(1)									
							映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎	1	（ﾀｲﾎﾟｸﾞﾗﾌｨ基礎演習）	(1)									
									現代絵画基礎演習	1									
									ﾒﾃﾞｨｱｱｰﾄ基礎演習	2									
		小計		12		14		15		11		3		1		0		0	56
	専門専攻科目	景観デザイン専攻科目									景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１	4	CAD演習２（景観）	2	景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習３	5			
											文化行政学	2	景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	5					
											都市ﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2							
											景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2							
											CAD演習１（建築）	2							
		ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ専攻科目									映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1							
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		13		7		5		10	35
	合計			12		14		15		11		16		8		5		10	91
総　計				24		18		24		15		21		8		5		10	125
教職課程科目			教職論	2	教育学原論	2	美術科教育法概論	2									教職実践演習	2	
					教育課程・方法論	2	教育心理学１	2			教育心理学２	2	美術科指導法	2	教育実習事前事後指導	1			
											特別活動の理論と方法	2			教育実習１	2			
											教育相談	2							
											生徒指導・進路指導	2							
	合計			2		4		4		0		8		2		3		2	25
総　計				26		22		28		15		29		10		8		12	150

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

美術学部美術学科＋教職課程（高校工芸）の履修モデル

①美術学部美術学科アーツ＆ルーツ専攻の履修モデル

…必修科目　　…履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	（哲学）	(2)			国際関係論	2											
			法学（日本国憲法	2															
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化コミュニケーション論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ａ１（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習	1													
			写真基礎演習（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	1		(1)													
			（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	(1)	工芸演習１（教職課程）	2													
			（塑像表現１）	(2)	（又は構成演習）	(2)													
			図学・製図演習	2	工芸演習２（教職課程）	2													
			英語による現代美術評論１	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	2													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	日本彫刻史	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2			近代絵画史	2									
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	塑像表現２	2			ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ基礎演習	1					
							油画基礎演習	1	彫刻素材基礎演習	1									
							構成論	2	現代絵画基礎演習	1									
							素材と表現	2	（ｲﾗｽﾄﾚｰｼｮﾝ基礎演習）	(1)									
							彫刻基礎演習	1	（ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ基礎演習）	(1)									
							日本画基礎演習	1											
		小計		12		16		15		10		2		1		0		0	56
	専門専攻科目	アーツ＆ルーツ専攻科目									ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習１	8	ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習２	6	ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ演習３	8			
													ｱｰﾄﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	2					
		ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ専攻科目																	
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		8		8		8		10	34
	合計			12		16		15		10		10		9		8		10	90
総　計				24		20		24		14		15		9		8		10	124
教職課程科目			教職論	2	教育学原論１	2	工芸科教育法概論	2									教職実践演習	2	
					教育課程・方法論	2	教育心理学１	2			教育心理学２	2	工芸科指導法	2	教育実習事前事後指導	1			
											特別活動の理論と方法	2			教育実習１	2			
											教育相談	2							
											生徒指導・進路指導	2							
	合計			2		4		4		0		8		2		3		2	25
総　計				26		24		28		14		23		11		11		12	149

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

②美術学部美術学科ビジュアルアーツ専攻の履修モデル

…必修科目　　…履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
区分			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	（哲学）	(2)			国際関係論	2											
			法学（日本国憲法	2															
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ａ１（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	1													
			写真基礎演習（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	1 (1)	工芸演習１（教職課程）（又は構成演習）	2 (2)													
			（塑像表現１）	(2)															
			図学・製図演習	2	工芸演習２（教職課程）	2													
			英語による現代美術評論１	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	2													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	日本彫刻史	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2			近代絵画史	2									
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	現代絵画基礎演習	1									
							油画基礎演習	1	ｲﾝｽﾀﾚｰｼｮﾝ基礎演習	1									
							構成論	2	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ基礎演習	1									
							素材と表現	2	ﾃｷｽﾀｲﾙ表現基礎演習	1									
							（日本画基礎演習	(1)	ｲﾗｽﾄﾚｰｼｮﾝ基礎演習	1									
									ﾒﾃﾞｨｱｱｰﾄ基礎演習	2									
									（塑像表現２）	(2)									
									（彫刻素材基礎演習）	(1)									
		小計		12		16		13		13		2		0		0		0	56
	専門専攻科目	ビジュアルアーツ専攻科目									ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習１	8	ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習２	8	ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ演習３	6			
													古美術研究	2					
		ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ専攻科目																	
		卒業研究																卒業研究	10
		小計		0		0		0		0		8		10		6		10	34
	合計			12		16		13		13		10		10		6		10	90
総　計				24		20		22		17		15		10		6		10	124
教職課程科目			教職論	2	教育学原論１	2	工芸科教育法概論	2									教職実践演習	2	
					教育課程・方法論	2	教育心理学１	2			教育心理学２	2	工芸科指導法	2	教育実習事前事後指導	1			
											特別活動の理論と方法	2			教育実習１	2			
											教育相談	2							
											生徒指導・進路指導	2							
	合計			2		4		4		0		8		2		3		2	25
総　計				26		24		26		17		23		12		9		12	149

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

③美術学部美術学科ものづくりデザイン専攻の履修モデル

…必修科目　　…履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
区分			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	（哲学）	(2)			国際関係論	2											
			法学（日本国憲法	2															
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ａ２（景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習	1													
			写真基礎演習	1	（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	(1)													
			（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	(1)	工芸演習１（教職課程）	2													
			（塑像表現１）	(2)	（又は構成演習）	(2)													
			図学・製図演習	2	工芸演習２（教職課程）	2													
			英語による現代美術評論１	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	2													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	近代装飾ﾃﾞｻﾞｲﾝ史	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2													
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	商品計画演習	1	色彩演習	1							
							油画基礎演習	1	地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ	2									
							構成論	2	（ﾃﾞｻﾞｲﾝｻｰﾍﾞｲ）	(1)									
							素材と表現	2	（建築ﾓﾃﾞﾙ演習）	(1)									
							ものづくり製図演習	1	知的財産と運用	2									
							DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1											
							彫刻基礎演習	1											
		小計		12		16		16		9		3		0		0		0	56
	専門専攻科目	ものづくりデザイン専攻科目									地域産業研究	1	ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	4	ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習３	6			
											ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	4					
											ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習２	1							
											ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１	3							
											ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１	3							
											2D・3D CAD演習	1							
		ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ専攻科目																	
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		10		8		6		10	34
	合計			12		16		16		9		13		8		6		10	90
総　計				24		20		25		13		18		8		6		10	124
教職課程科目			教職論	2	教育学原論１	2	工芸科教育法概論	2									教職実践演習	2	
					教育課程・方法論	2	教育心理学１	2			教育心理学２	2	工芸科指導法	2	教育実習事前事後指導	1			
											特別活動の理論と方法	2			教育実習１	2			
											教育相談	2							
											生徒指導・進路指導	2							
	合計			2		4		4		0		8		2		3		2	25
総　計				26		24		29		13		26		10		9		12	149

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

④美術学部美術学科コミュニケーションデザイン専攻の履修モデル

・・・必修科目　　・・・履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	（哲学）	(2)			国際関係論	2											
			法学（日本国憲法	2															
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化コミュニケーション論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	1 (1)													
			写真基礎演習（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	1 (1)	工芸演習１（教職課程）	2													
			（塑像表現１）	(2)	（又は構成演習）	(2)													
			図学・製図演習	2	工芸演習２（教職課程）	2													
			英語による現代美術評論１	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	2													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	デザイン史	2	（近代装飾ﾃﾞｻﾞｲﾝ史）	(2)							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2			近代絵画史	2									
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	1	色彩演習	1	ﾌﾞｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝ	1					
							油画基礎演習	1	ﾀｲﾎﾟｸﾞﾗﾌｨ基礎演習	1									
							構成論	2	商品計画演習	1									
							素材と表現	2	地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ	2									
							DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	（ﾃﾞｻﾞｲﾝｻｰﾍﾞｲ）	(1)									
							映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎（ものづくり製図演習）	1 (1)											
		小計		12		16		15		11		1		1		0		0	56
	専門専攻科目	コミュニケーションデザイン専攻科目									ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ａ	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｂ	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｃ	2	ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2	映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	3D･CG表現演習１	1	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｄ	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｅ	2	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｆ	2	3D･CG表現演習２	1	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	5		
		卒業研究																	卒業研究 10
		小計		0		0		0		0		12		7		5		10	34
	合計			12		16		15		11		13		8		5		10	90
総　計				24		20		24		15		18		8		5		10	124
教職課程科目			教職論	2	教育学原論１	2	工芸科教育法概論	2									教職実践演習	2	
					教育課程・方法論	2	教育心理学１	2			教育心理学２	2	工芸科指導法	2	教育実習事前事後指導	1			
											特別活動の理論と方法	2			教育実習１	2			
											教育相談	2							
											生徒指導・進路指導	2							
	合計			2		4		4		0		8		2		3		2	25
総　計				26		24		28		15		26		10		8		12	149

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

⑤美術学部美術学科景観デザイン専攻の履修モデル

･･･必修科目　　･･･履修モデル上、各専攻共通で選択している科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
区分			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	（哲学）	(2)			国際関係論	2											
			法学（日本国憲法	2															
		歴史と文化	東北造形史	2			文化人類学	2			異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ論	2							
			東北生活文化論	2			食文化論	2											
		外国語	総合英語１	1	総合英語２	1	総合英語３	1	総合英語４	1									
			英会話１	1	英会話２	1													
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１	1	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１	2	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習	1							
			美術の社会実践論	2					ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	1	ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ）	2	現代芸術演習Ａ２（景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
					現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2	現代芸術演習Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1									
		導入科目	色彩論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習	1													
			素描表現	1	絵画材料演習	1													
			写真基礎演習	1	（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習）	(1)													
			（又はｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎）	(1)	工芸演習１（教職課程）	2													
			（塑像表現１）	(2)	（又は構成演習）	(2)													
			図学・製図演習	2	工芸演習２（教職課程）	2													
			英語による現代美術評論１	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習	2													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史	2	日本美術史	2	工芸概論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝ史	2	日本建築史１	2							
			東洋美術史	2	西洋美術史	2													
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２	2	商品計画演習	1	色彩演習	1							
							油画基礎演習	1	地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ	2									
							構成論	2	ﾃﾞｻﾞｲﾝｻｰﾍﾞｲ	1									
							素材と表現	2	知的財産と運用	2									
							DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習	1	（ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習）	(1)									
							映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎	1	（ﾀｲﾎﾟｸﾞﾗﾌｨ基礎演習）	(1)									
		小計		12		16		15		10		3		0		0		0	56
	専門専攻科目	景観デザイン専攻科目									景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１	4	CAD演習２（景観）	2	景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習３	5			
											文化行政学	2	景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	5					
											都市ﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2							
											景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ論	2							
											CAD演習１（建築）	2							
		ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ専攻科目																	
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		12		7		5		10	34
	合計			12		16		15		10		15		7		5		10	90
総　計				24		20		24		14		20		7		5		10	124
教職課程科目			教職論	2	教育学原論１	2	工芸科教育法概論	2									教職実践演習	2	
					教育課程・方法論	2	教育心理学１	2			教育心理学２	2	工芸科指導法	2	教育実習事前事後指導	1			
											特別活動の理論と方法	2			教育実習１	2			
											教育相談	2							
											生徒指導・進路指導	2							
	合計			2		4		4		0		8		2		3		2	25
総　計				26		24		28		14		28		9		8		12	149

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

○美術学部美術学科コミュニケーションデザイン専攻（入学当初からこの専攻に進むことを想定している学生）の履修モデル

資料46

…必修科目　…履修モデル上、各専攻共通で選択している科目　…その専攻を目指している場合、取得するのが望ましい科目

履修年次			1年次				2年次				3年次				4年次				計
			前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期		
区分			科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		
共通教育科目	教養科目	人間と社会	哲学	2			国際関係論	2											
		歴史と文化	東北造形史 東北生活文化論	2 2			文化人類学 食文化論	2 2			異文化コミュニケーション論	2							
		外国語	総合英語１ 英会話１	1 1	総合英語２ 英会話２	1 1	総合英語３	1	総合英語４	1									
		情報					ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ入門	2											
		保健体育	ｽﾎﾟｰﾂと健康１	1	ｽﾎﾟｰﾂと健康２	1													
		小計		9		3		9		1		2		0		0		0	24
	キャリア教育科目		情報ﾘﾃﾗｼｰ１ 美術の社会実践論	1 2	情報ﾘﾃﾗｼｰ２	1			ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ１ ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ演習１	2 1	地域ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ演習 ｷｬﾘｱﾃﾞｻﾞｲﾝ２	1 2							
		小計		3		1		0		3		3		0		0		0	10
	合計			12		4		9		4		5		0		0		0	34
専門科目	専門共通科目	総合科目			現代芸術論Ａ（ｱｰﾂ&ﾙｰﾂ、景観ﾃﾞｻﾞｲﾝ） 現代芸術論Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2 2	現代芸術論Ｃ（ﾋﾞｼﾞｭｱﾙｱｰﾂ） 現代芸術論Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ）	2 2	現代芸術演習Ｄ（ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ） 現代芸術演習Ｂ（ものづくりﾃﾞｻﾞｲﾝ）	1 1									
		導入科目	色彩論 素描表現 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現基礎 塑像表現１ （又は図学・製図演習） 英語による現代美術評論１	2 1 1 2 (2) 2	ﾃｻﾞｲﾝｽｹｯﾁ演習 ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ表現演習 工芸演習１（教職課程） （又は構成演習） 工芸演習２（教職課程） （又はﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習）	1 1 2 (2) 2 (2)													
		美術理論・美術史科目	美術理論・美術史 東洋美術史	2 2	日本美術史 西洋美術史	2 2	工芸概論	2	デザイン史	2	近代装飾ﾃﾞｻﾞｲﾝ史	2							
		専門基礎科目					英語による現代美術評論２ 油画基礎演習 構成論 素材と表現 DTPﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎 ものづくり製図演習	2 1 2 2 1 1 1	ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ基礎演習 ﾀｲﾎﾟｸﾞﾗﾌｨ基礎演習 商品計画演習 地域産業とﾃﾞｻﾞｲﾝ ﾃﾞｻﾞｲﾝｻｰﾍﾞｲ	1 1 1 2 1	色彩演習	1	ﾌﾞｯｸﾃﾞｻﾞｲﾝ	1				
		小計		12		14		16		10		3		1		0		0	56
	専門専攻科目	コミュニケーションデザイン専攻科目									ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ論 ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ａ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｂ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｃ ｳｪﾌﾞﾃﾞｻﾞｲﾝ論 映像ﾃﾞｻﾞｲﾝ演習 3D･CG表現演習１	2 2 2 2 2 1 1	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｄ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｅ ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習１Ｆ 3D･CG表現演習２	2 2 2 1	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾃﾞｻﾞｲﾝ演習２	5			
		卒業研究															卒業研究	10	
		小計		0		0		0		0		12		7		5		10	34
	合計			12		14		16		10		15		8		5		10	90
総　計				24		18		25		14		20		8		5		10	124

卒業要件単位数：【教養科目】「人間と社会」「情報」「保健体育」から８単位以上、「歴史と文化」から６単位以上、「外国語」から６単位以上を含め、計24単位以上
【キャリア教育科目】10単位以上
【専門共通科目】総合科目から10単位以上、導入科目から12単位以上、美術理論・美術史科目から12単位以上、専門基礎科目から14単位以上を含め、計56単位以上
【専門専攻科目】34単位以上
【合計】124単位以上

2013年4月東北初の公立美術系4年制大学が開学します。
秋田公立美術大学（仮称）は、地域の伝統・文化をまちづくりに活かせる人材、既存の芸術分野にとらわれない新しい芸術を創り出すアーティストの育成を目指します。

本学は、基本理念を「新しい芸術領域を創造し、挑戦する大学」、「秋田の伝統・文化をいかし発展させる大学」、「秋田から世界へ発信するグローバル人材を育成する大学」、「まちづくりに貢献し、地域社会とともに歩む大学」とし、これまで秋田公立美術工芸短期大学が培ってきた教育や地域貢献の実績を発展的に継承し、地域と共に歩む公立大学として生まれ変わります。

アドミッションポリシー（入学者受入方針）

『芸術の未知の領域に強い関心を持つ人』
『自ら問題を発見し、積極的に学ぶ意欲のある人』
『芸術分野で自立する意欲のある人』
『芸術を通して、地域社会の発展に貢献する意欲のある人』

学部・学科・専攻

美術学部・美術学科

◆アーツ＆ルーツ専攻	地域の歴史的な文化資源を調査・研究し、新たな芸術表現を探求します。
◆ビジュアルアーツ専攻	現代美術の新しい方向性を探り、媒体にとらわれない現代的な表現を展開します。
◆ものづくりデザイン専攻	ガラス・漆・陶芸などの工芸を現代の視点で学び、新製品を提案します。
◆コミュニケーションデザイン専攻	デザイン表現を幅広く学び、広告表現等を総合的に企画・制作します。
◆景観デザイン専攻	街並や風景のデザインを通し、快適さと賑わいに溢れたまちづくりを企画・提案します。

教育課程の特色

特色1 1～2年次は専攻の枠組みを超えて横断的に学べる仕組みにより、教養科目や専門共通科目を通して初年次教育の充実を図ります。学生の適性に合った専攻選択の準備を進めます。

特色2 3年次に各専攻に分かれ、専門専攻科目や専門共通科目、教養科目を通して学びの質を深めます。

特色3 卒業後の就職や独立を手厚くサポートするキャリア教育を行い、現代社会人として求められる知識や情報処理能力、プレゼン能力などを身につけます。また、キャリアガイダンスや各種講習会を行い、一人一人の進路に合った支援を行います。

※取得できる資格…中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術・工芸）、博物館学芸員資格

入試制度

・学科全体で学生を募集する「総合入試」を実施します。入学定員は100人を予定しています。
・入試日程・出願資格・選抜方法などは、今後ホームページやオープンキャンパスなどでお知らせします。

選抜区分と募集人員（定員100人）

学部・学科	一般入学	推薦入学				社会人特別入学
		一般推薦	県内枠	県内枠	指定校枠	
美術学部・美術学科	75人	12人	5人	5人	3人	若干名

秋田市大学設置準備室ホームページアドレス　http://www.city.akita.akita.jp/city/pl/eu/default.htm

＊秋田公立美術大学（仮称）の内容については、現在設置認可申請中の段階ですので、今後変更される場合があります。

学びの仕組み

1・2年次 共通

アーツ＆ルーツ専攻　ビジュアルアーツ専攻　ものづくりデザイン専攻
コミュニケーションデザイン専攻　景観デザイン専攻

3・4年次 専門5専攻

アーツ＆ルーツ専攻

（教育の概要）
「基礎理論」「作品制作」「フィールドワーク」の三つによって地域文化と歴史や日本固有の技法を学び、調査・研究の成果を作品制作に活かします。

（講義演習例）
- 文化人類学
- 石彫
- テラコック彫刻
- 日本画
- アートプロジェクト

ビジュアルアーツ専攻

（教育の概要）
従来の素材や技法、表現形態にとらわれず、様々な媒体を使って現代的な作品を創ります。

（講義演習例）
- 現代絵画
- 立体造形
- イラストレーション
- デジタルメディアアート
- インスタレーション

ものづくりデザイン専攻

（教育の概要）
「使用感のお届け」をコンセプトに世代を超えて愛される生活耐久財を制作し、家具から装身具まで多様な「もの」を作り、独自ブランド化を目指します。

（講義演習例）
- 木工・家具・漆工
- ジュエリー・金属
- 陶芸・ガラス
- 染色
- グループ制作

コミュニケーションデザイン専攻

（教育の概要）
グラフィック、CG、写真、映像、イラストレーションなどのツールを習熟して、優れた伝達表現やデザイン全体を構築する総合的なディレクションを可能にします。

（講義演習例）
- グラフィック
- 編集デザイン
- イラストレーション
- ウェブデザイン
- パッケージデザイン

景観デザイン専攻

（教育の概要）
まちづくりにおける課題を自ら発見し、ワークショップなどの活動を通して地域社会との実践力を養う中で、新たな提案を行うための、知識と手法を学びます。

（講義演習例）
- 景観デザイン
- 都市デザイン
- 文化行政学
- CAD
- ワークショップ

卒業後の進路

～アーティストとしての自立、専門性を活かした職業から一般職まで～

例）アーティスト、アートディレクター、ギャラリスト、プロダクトデザイナー、工芸作家、家具メーカー、デザイン事務所、広告代理店、建築設計事務所、ガラス製造、陶磁器製造、出版社、ゲーム関連会社、行政関係、学芸員、教員、イラストレーター、ジュエリーメーカー、印刷会社、メディア関連会社など

資料47

資料48

公立大学法人秋田公立美術大学職員倫理規程（案）

平成２５年４月１日
大学規程第〇〇〇号

（目的）

第１条　この規程は、公立大学法人秋田公立美術大学職員就業規則第〇〇条、公立大学法人秋田公立美術大学嘱託職員就業規則第〇〇条及び公立大学法人秋田公立美術大学非常勤職員就業規則第〇〇条の規定に基づき、公立大学法人秋田公立美術大学（以下「法人」という。）の職員が関係業者等（当該職員の職務の性質上、その職務権限と特別の利害関係のある業者及び個人をいう。第３条において同じ。）との接触等にあたって遵守すべき事項等を定めることにより、職務執行の公正さに対する疑惑や不信を招くような行為の防止を図り、もって秋田公立美術大学、法人及び法人の職員に対する市民、学生等の信頼を確保することを目的とする。

２　この規程の運用に当たっては、法人が開かれた大学として社会に貢献していくことが期待されていることに鑑み、職員の適切な社会的活動が阻害されることのないよう十分な配慮がなされなければならない。

（基本的心構え）

第２条　職員は、自らの行動が秋田公立美術大学の信用に影響を与えることを自覚するとともに、日常の行動について常に公私の別を明らかにし、職務やその地位を私的な利益のために用いてはならない。

２　職員は、公立大学法人秋田公立美術大学職員兼業規程に定める手続により兼業を行う場合にあっても、秋田公立美術大学職員の信用を損なうことのないよう留意しなければならない。

（関係業者等との接触にあたって遵守すべき事項）

第３条　職員は、関係業者等との間で、次に掲げる行為を行ってはならない。

一　接待を受けること。

二　会食（パーティーを含む。）をすること。

三　遊戯（スポーツを含む。）及び旅行（職務のための旅行を除く。）をすること。

四　転任、海外出張等にあたって餞別等を受けること。

五　中元、歳暮等の贈答品を受領すること。

六　金銭（祝儀、小切手、商品券等を含む。）、物品（広く配布される宣伝広告用物品を除く。）又は不動産の贈与を受けること。

七　本来自らが負担すべき債務を負担させること。

八　対価を支払わずに役務の提供を受けること。

九　対価を支払わずに不動産、物品等の貸与を受けること。

十　金銭の貸付を受けること。

十一　未公開株式を譲り受けること。

十二　前各号に掲げるもののほか、一切の利益や便宜の供与（社会一般の接遇として容認される湯茶の提供等を除く。）を受けること。

２　前項の規定にかかわらず、職員は、次に掲げる行為を行うことができる。

一　多数の者が出席する立食パーティーにおいて、飲食物の提供を受け、共に飲食をし、又は記念品の贈与を受けること。

二　職務として出席した会議において、簡素な飲食物の提供を受け、又は共に簡素な飲食をすること。

三　自己の費用を負担して飲食をすること。ただし、職務として出席した会議等の際における簡素な飲食以外の飲食で夜間におけるものにあっては、公正な職務の執行に対する疑惑や不信を招くおそれがないと認められるものに限る。

３　第１項の規定は、私的な関係（家族関係、個人的友人関係等職員としての身分に係わらない関係をいう。）がある者であって、関係業者等に該当するものとの間においては、職務上の利害関係の状況、私的な関係の経緯及び現在の状況並びにその行おうとする行為の態様等にかんがみ、公正な職務の執行に対する疑惑や不信を招くおそれがないと認められる場合に限り、これを行うことができる。

４　第一項に規定する行為には、勉強会、研究会、講演会等に付随して行われる行為も含まれる。

（学部等の長の責務）

第４条　学部及び事務局（以下「学部等」という。）の長は、当該学部等における綱紀の保持に関し、必要と認めるときは、職員に対し助言し、又は注意を喚起するものとする。

（違反に対する処分等）

第５条　学部等の長は、当該学部等に所属する職員が第３条の規定に違反するおそれがあると認めた場合は、理事長に報告するとともに直ちに実情調査を行うものとする。

２　理事長は、前項の規定に基づく報告があったときは、当該報告に係る職員について必要な調査を行うものとする。

３　理事長は、第１項の規定に基づく報告に係る職員から退職の申出があったときは、前項に規定する調査が終了するまで、退職の承認を留保するものとする。

４　理事長は、第２項に基づく調査の結果、職員に第３条の規定に違反する行為があったと認めたときは、その行為及び違反の程度に応じ、公立大学法人秋田公立美術大学職員就業規則第〇章に規定する懲戒処分等その他の人事管理上の措置を講じるものとする。

附　則

この規程は、平成２５年４月１日から施行する。

公立大学法人秋田公立美術大学におけるハラスメントの防止等に関する規程(案)

平成２５年４月１日
大学規程第〇〇〇号

目次

第１章　総則（第１条－第３条）
第２章　役職員等の責務（第４条－第６条）
第３章　ハラスメント防止等対策委員会（第７条－第１３条）
第４章　ハラスメント事案への対応（第１４条－第２５条）
附則

第１章　総則

（目的）

第１条　この規程は、公立大学法人秋田公立美術大学（以下「法人」という。）及び秋田公立美術大学（以下「本学」という。）におけるハラスメントの防止及び排除のための措置並びにハラスメントに起因する問題が生じた場合に適切に対応するための措置（以下「ハラスメントの防止等」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第２条　この規程においてハラスメントとは、法人の役職員及び本学の学生（以下「役職員等」という。）、並びに関係者が相手の意に反する不適切な言動により、相手に精神的な面を含めて不利益や損害を与えたり、就労又は修学のための環境を悪化させること等をいう。

２　次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

一　ハラスメント　セクシュアル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント、パワー・ハラスメント等をいう。

二　セクシュアル・ハラスメント　相手を不快にさせる性的な言動をいう。

三　アカデミック・ハラスメント　教育研究の現場において、権限を利用して嫌がらせなどをすることをいう。

四　パワー・ハラスメント　職務権限を使って適正な範囲を越えて圧力を加えることをいう。

五　役職員　法人で勤務する役員、職員、嘱託職員及び非常勤職員をいう。

六　学生　学生、研究生、科目等履修生、聴講生、特別聴講学生その他本学において修学する者をいう。

七　関係者　学生の保護者、卒業生、関係業者その他法人の役職員の職務上又は学生の

修学上の関係者をいう。

（適用範囲）

第３条　この規程は、ハラスメントの発生した時間及び場所を問わず、役職員等又は関係者との間に発生したハラスメントに適用する。

第２章　役職員等の責務

（役職員等の責務）

第４条　役職員等は、ハラスメントがもたらす影響の重大さを深く認識し、ハラスメントを行うことのないよう各人がその発言や行動に十分注意するとともに、ハラスメントの被害を防止し、大学の構成員として良好な職場及び教育環境の維持及び確立に努めなければならない。

（監督者等の責務）

第５条　職員を監督又は学生を指導する立場にある者（以下「監督者等」という。）は、次の各号に掲げる事項に注意してハラスメントの防止等の対策を迅速かつ適切に講じなければならない。

一　日常の執務又は教育を通じた指導等により、職員等に対してハラスメントに関する注意を喚起し、認識を深めさせること。

二　職員等の言動に十分な注意を払うことにより、ハラスメント又はハラスメントに起因する問題が法人に生じることのないよう配慮すること。

（理事長の責務）

第６条　理事長は、法人のハラスメントの防止等について、総括する。

第３章　ハラスメント防止等対策委員会

（ハラスメント防止等対策委員会）

第７条　ハラスメントの防止等にあたり、法人にハラスメント防止等対策委員会（以下「委員会」という。）を置く。

２　委員会は次の各号に掲げる事項を行う。

一　ハラスメントの防止に関する研修・啓発活動の企画及び実施に関すること。

二　相談員及び調査員の研修に関すること。

三　その他ハラスメントの防止等に関すること。

四　ハラスメントに起因する問題が生じた場合の調査及び措置に関すること。

３　委員会は次の各号に掲げる者をもって組織する。ただし、委員がハラスメントの当事者になったときは、会議に出席することができない。

一　副理事長又は理事長が指名した理事１名

二　学部長

三　各専攻および美術教育センターから理事長がそれぞれ指名した教員　１名ずつ

四　事務職員から理事長が指名した職員　１名
五　その他理事長が指名した者
（任期）
第８条　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。
（委員長）
第９条　委員会に委員長を置き、第７条第３項第１号の委員をもって充てる。ただし、理事長は特別の事由があると認めた場合は、第７条第３項第２号から第５号に掲げる委員のうちから、委員長を指名することができる。
２　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
３　委員長に事故のあるときは、あらかじめ委員長の指名を受けた者がその職務を代理する。
（議事）
第１０条　委員会は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
２　委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
（委員以外の者の出席）
第１１条　委員長は、必要に応じ委員以外の者を委員会に出席させ、説明を求め、又は意見を述べさせることができる。
（事務）
第12条　委員会の事務は、事務局において行う。

第４章　ハラスメント事案への対応

（相談員）
第13条　役職員等及び関係者からのハラスメントに関する申出及び相談（以下「相談」という。）並びにハラスメントに起因する問題への対応に当たらせるため、相談員を置く。
２　相談員は、次の各号に掲げる者とし、理事長が任命する。
一　学部長が推薦する者　４名
二　事務局長が推薦する者　４名
三　その他理事長が指名する者　若干名
３　相談員の任期は、２年とし、再任を妨げない。ただし、相談員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。
４　相談員は、氏名、連絡用電話番号等を見やすい場所に掲示するものとする。
５　相談員は、委員会の委員若しくは部会の委員又は別に定める調査員を兼ねてはならない。
（相談手続等）
第14条　ハラスメントの被害者、その代理人、被害を認知した者及び行為者（以下、「相

談者」という。）は、相談員に相談することができる。
２　相談員は、相談者の所属部局に関わりなく、相談を受け付けなければならない。相談員以外の者が相談を受けたときは、相談員に相談を取り次がなければならない。
３　相談員は、当該事案について被害者及び行為者（以下「当事者」という。）双方から相談を受けることができない。
４　相談は、被害者本位で行う。
５　相談は、初回の面談及び当事者が相談員１名との面談を強く希望する場合を除き、２名の相談員で対応するものとし、当事者と同性の相談員が同席するよう努めるものとする。
６　相談員は、相談の開始前に、応対する他の相談員の氏名を当事者に知らせなければならない。
７　当事者は、相談員の交代を求めることができる。
８　相談員は、当事者と利害関係にあるときは、自主的に他の相談員と交代しなければならない。
９　相談者は、相談の取下げをすることができる。相談者は、相談の取下げをした後、別の相談員に同一の相談をすることができる。
１０　相談は、面談、手紙、電話及び電子メール等の方法で受ける。
１１　相談にあたっては、ハラスメントに関する証拠等は必要としない。
１２　相談員は、相談者の了解の下に、相談内容を文書で記録するものとする。
１３　相談員は、相談内容を速やかに委員会に報告し、対処を求めなければならない。

（学外相談窓口）

第１５条　ハラスメント事案への対応のため、必要に応じ学外に相談窓口を置くことができる。
２　前項に係る業務を、顧問弁護士に委嘱することができる。

（調査員）

第１６条　ハラスメントに関する事案の事実関係を調査するため、調査員を置く。
２　調査員は次の各号に掲げる者とし、理事長が任命する。
一　学部長が推薦する者　４名
二　事務局長が推薦する者　４名
三　その他理事長が指名する者　若干名
３　委員長が必要と認めるときには、学外者を調査員に加えることができる。
４　調査員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

（調査委員会）

第１７条　委員長は、事案の調査のため必要と認めるときは、調査委員会を設置することができる。

２　調査委員会は委員長が調査員の中から指名した委員４名で組織する。
３　前項の規定において、事案の当事者が属する専攻又はセンター等に所属する調査員は、委員となることができない。
４　男性の調査員と女性の調査員は原則として同数とする。
５　調査委員会に委員長を置き、委員の互選によってこれを決める。
（調査委員会の任務）
第１８条　調査委員会の調査は、必要に応じて当事者及び関係者から事情を聴取するほか、事実関係を明らかにするのに適当な方法によって行うものとする。
２　当事者は、調査委員会の事情聴取に対して当事者を補佐する付添人（学外者も可）を１名付けることができる。
３　調査委員会の委員長は、原則として調査を２か月以内に終了し、その結果を遅滞なく委員会に報告しなければならない。
４　前項の規定において調査委員会の委員長が必要と認めるときは、事案の解決又は改善のための措置を意見として添えることができる。
（調査の中止）
第１９条　委員会は、次の各号の一に該当するときは、調査委員会の中止を命じることができる。
一　被害者が調査の中止を申し立てたとき。
二　行為者が大学の構成員でなくなり、調査の続行が困難となったとき。
三　調査の開始から２か月以上経過し、相当の期間を延長しても調査が完了する見込みがないとき。
２　前項各号の規定により調査を中止したときは、調査委員会の委員長は、速やかに調査の経過を委員会に報告しなければならない。
（委員会の任務）
第２０条　委員会は、相談のあった事案に関して、相談員又は調査委員会の報告をふまえ、また、被害者の意向を考慮して審査を行い、次の各号に定める措置のほか、必要な措置をとらなければならない。
一　ハラスメントの当事者の一方から要請があり、他方の同意があるときは、話し合いで解決することができるよう当事者に対して助言又は指導をすること。
二　事態が重大かつ緊急のときは、直接当事者に対して助言若しくは指導を行うこと。
三　調査委員会から調査報告を受けたときは、遅滞なくハラスメント解決のために必要な措置を審議し、委員会の責任で実施すべき措置は速やかにこれを実施すること。
２　委員長は、ハラスメントの事実関係及び必要な措置等を速やかに理事長に報告しなければならない。
（理事長のとるべき措置）
第２１条　理事長は、ハラスメントの事実関係の調査及び必要な措置を講じることを委員

長に指示することができる。
２　理事長は、委員会の報告に基づき、職員に職員就業規則、嘱託職員就業規則及び非常勤職員就業規則に定める懲戒等の措置を行うものとする。
３　学長は、学生による加害行為があったと認めた場合には、秋田公立美術大学学則に基づき、その処分を理事会の議を経て行うものとする。
４　理事長は、法人としての対応を被害者に知らせるとともに、被害者への救済措置及び行為者への措置を決定した段階で、当事者の名誉及びプライバシー等の人権に十分配慮した上で、経過及び結果を法人の構成員に公表しなければならない。
５　前項に定める公表を行うときは、被害者の同意を必要とする。

（プライバシーの保護）

第２２条　委員会委員、相談員及び別に定める調査員は、その職務を遂行するに当たっては職員等及び関係者のプライバシーや名誉その他の人権を尊重するとともに、知り得た秘密を他に漏らしてはならない。

（二次被害の防止）

第２３条　理事長及び監督者等は、ハラスメントに関する相談、調査への協力その他ハラスメントに関して正当な対応をした職員等が、そのことをもって報復、妨害、その他不利益な取扱いを受けることのないよう、二次被害の防止に努めなければならない。

（補則）

第２４条　この規程に定めるもののほか、ハラスメントの防止等に関し必要な事項は、別に定める。

附　則

（施行期日）

１　この規程は、平成２５年４月１日から施行する。

資料49

○秋田公立美術工芸短期大学の県内外別就職状況

（単位：人）

年　度	就　職			市内		県内		県外	
	希望者	決定者	決定率						
平成22年度	111	80	72.1%	33	41.3%	12	15.0%	35	43.7%
平成21年度	101	72	71.3%	28	38.9%	10	13.9%	34	47.2%
平成20年度	91	71	78.0%	22	31.0%	10	14.1%	39	54.9%
平成19年度	69	60	87.0%	16	26.7%	3	5.0%	41	68.3%
平成18年度	80	72	90.0%	28	38.9%	9	12.5%	35	48.6%

○平成22年度主な就職先一覧

（単位：社）

業　種	企　業　数			主　な　就　職　先
建設業	2	県内	1	積水ハウス（市）
		県外	1	和光技研
製造業	8	県内	3	秋田木工、比内時計工業、大栄木工
		県外	5	J-one、エフジー工業、米沢織物工業組合、米織会館
情報通信業	2	県内	1	秋田朝日放送（市）
		県外	1	トラストネットワーク
卸売・小売業	20	県内	9	モリタ（市）、シュープラザ（市）、ナイス（市）、ベルモード
		県外	11	東京ベジブル、ヨドバシカメラ、九州三菱自動車
学術研究、専門・技術サービス業	16	県内	10	ノリット・ジャポン（市）マゼンタ（市）、スペースプロジェクト（市）
		県外	6	内藤デザイン事務所、アジタス、山形コミュニティ新聞社
宿泊業、飲食サービス業	7	県内	6	ドリームワールド（市）、イタリア料理ラサラ（市）、わらび座
		県外	1	サービスマート
生活関連サービス業、娯楽業	6	県内	3	NPO法人あきた地域資源ネットワーク（市）
		県外	3	アメニティ、ジェイファクトリー
教育、学習支援業	3	県内	1	スクールIE大曲店
		県外	2	宮城県仙台教育事務所、青森県立美術館
医療、福祉	2	県内	1	角館総合病院
		県外	1	社会福祉法人臥牛三敬会
複合サービス事業	1	県内	0	
		県外	1	花巻農業協同組合
公務	5	県内	4	秋田市役所（市）、鹿角市役所
		県外	1	奥州市役所
計	72	県内	39	
		県外	33	

※企業数と就職決定者数が一致しないのは、1企業に複数人決定したことによる。
※県内のうち、（市）は市内所在企業等。